

63-72



1200600227781

63

72

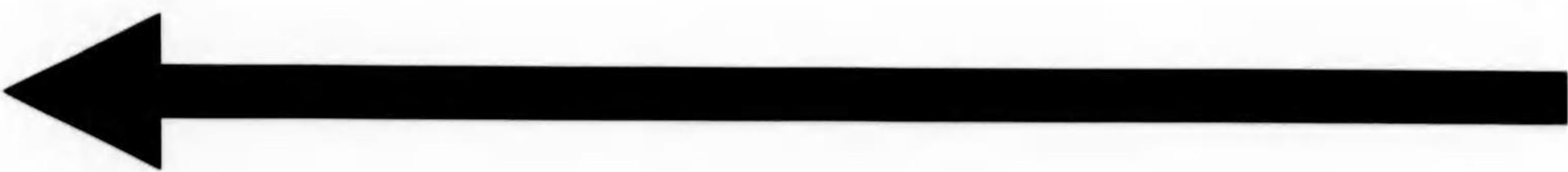
昭和六年五月開催

耕地主任官會議要錄

農林省農務局



始



63
72x



80W39660

耕地主任官會議要錄

目次

農林大臣訓示	一
農務局長指示	三
耕地擴張改良事務取扱方ニ關スル耕地課長注意	八
出席者	一五
本省提出諮問事項及協議事項	一七
議事經過	一八
本省提出諮問事項答申	二一
耕地擴張改良事業ノ現況、趨勢並將來ニ對スル指導獎勵方針如何	二二
全國概況	二二
答申	二八
北海道	二九
青森縣	三〇
岩手縣	三一
宮城縣	三二
秋田縣	三三
山形縣	三四
福島縣	三五
茨城縣	三六
栃木縣	三七
群馬縣	三八
埼玉縣	三九
千葉縣	四〇
東京府	四一
神奈川縣	四二

新潟縣	六	島根縣	一七
富山縣	八	岡山縣	一三
石川縣	七	廣島縣	一五
福井縣	九	山口縣	一四
山梨縣	三	德島縣	一三
長野縣	五	香川縣	一四
岐阜縣	六	愛媛縣	一四
靜岡縣	九	高知縣	一五
愛知縣	四	福岡縣	一五
三重縣	五	佐賀縣	一五
滋賀縣	六	長崎縣	一五
京都府	〇	大分縣	一六
大阪府	三	熊本縣	一六
兵庫縣	三	宮崎縣	一六
奈良縣	八	鹿兒島縣	一七
和歌山縣	三	沖繩縣	一七
鳥取縣	四			

一 本省提出協議事項.....一八三

第一 改正耕地整理法ノ運用ニ關スル事項.....一八三

第二 耕地整理事業資金ニ關スル事項.....一八五

第三 開墾助成ニ關スル事項.....一八五

第四 其ノ他耕地擴張改良事業ノ獎勵監督ニ關スル事項.....一八六

一 地方提出事項及決議.....一八七

決 議.....一八七

第一 耕地整理ニ關スル件.....一八七

第二 事業資金ニ關スル件.....一九三

第三 開墾助成ニ關スル件.....一九六

第四 開墾地移住及經營ニ關スル件.....一九九

第五 用排水幹線改良事業ニ關スル件.....二〇〇

第六 其ノ他ノ事項.....二〇〇

耕地主任官會議要錄

農林大臣訓示(要旨)

茲ニ耕地主任官會議ノ開催セラル、ニ當リ一言所懷ヲ述フルハ予ノ欣幸トスル所ナリ
現下農村ノ經濟事情ニ鑑ミ政府ハ之カ對策トシテ種々施設スル所アリ就中耕地擴張改良事業ノ進展
ヲ期スルカ如キハ最重要ナル事項ナリト信ス

今議會ニ於テハ地租法ノ制定行ハレ從來ノ法定地價ニ依ル課稅ハ貸賃價格ニ依ル事トナリ之ニ伴ヒ
耕地整理法ノ改正行ハレタリ而シテ今回ノ改正ハ主トシテ整理施行地ニ於ケル地租ノ特典ニ關スル事
項ニシテ之カ運用ノ如何ハ直接當業者ノ利益ニ影響スル所頗ル大ナルモノアルヲ以テ此ノ點ニ付十
分留意セラル、ノ要アリ尙改正法中ニハ耕地整理ノ施行地域ニ關シ新ニ規定ヲ設ケ從來ノ規定ト相俟
テ耕地整理事業ノ根本主旨ヲ一層明カナラシメタルヲ以テ諸君ハ本改正ノ趣旨ニ鑑ミ市街地附近ノ耕
地整理ヲ認可セラル、ニ當リテハ名ヲ耕地整理ニ籍リ市街地等ノ造成ヲ行フカ如キモノハ之ヲ避ケ
ラル、様特ニ注意スルノ要アリ尙多年事業者ノ要望スル所タリシ耕地整理組合長ニ對シ組合費強制徵
收權附與ニ關スル耕地整理法改正モ今議會ヲ通過シタルヲ以テ不日公布ヲ見ルコト、ナル可ク組合ハ
之ニ依リ其ノ財務計畫ノ遂行上多大ノ便ヲ得ルコト、信スルモ之カ實行ニ當リテハ運用ヲ誤ラサル様

十分ノ指導監督アラムコトヲ望ム

又耕地整理事務ノ進捗ノ良否ハ耕地整理事業ノ成績ニ係ルコト極メテ大ナルヲ以テ今回政府ハ特ニ事務ノ指導監督ニ關スル施設ヲ爲スニ至レリ地方ニ於テモ之ト相協力シテ事務整理ノ指導監督ニ努メ以テ右施設ノ効果ヲ益々發揮セラレムコトヲ望ム

政府ハ昨年度農山漁村失業救済産業振興ノ爲臨時對策トシテ低利資金ヲ大藏省預金部ヨリ七千萬圓融通シ其ノ内耕地事業ニ對シテハ二千餘萬圓ヲ供給シ尙其ノ利子補給ノ途ヲモ講セリ

次ニ耕地整理事業資金ニ就テハ農村ノ不況ニ伴ヒ借入金ノ償還困難ナルモノ尠ナカラス仍テ其ノ緩和策ニ付テハ豫テ大藏省ト交渉中ノ處相當ノ方法ニ依リ負擔ノ輕減ヲ圖ラル、コトト爲レリ

其他政府ハ開墾事業用排水幹線改良事業等ニ付常ニ其ノ進展ヲ圖リツ、アリト雖財政緊縮ニ際シ十分ナル施設ヲ爲シ得サルハ遺憾トスル所ナルモ之等ノ事業ハ何レモ不斷ノ努力ヲ要スルモノナルヲ以テ諸君ハヨク政府ノ意ノアル所ヲ體シ奮勵以テ斯業ノ發達ニ邁進セラレムコトヲ望ム

之ヲ要スルニ耕地ノ事業ハ國家的ニモ地方的ニモ重要ノ事業ニシテ諸君ノ任務モ亦極メテ重大ナルカ故ニ今回ノ會合ヲ機トシ各種問題ニ付腹藏ナキ意見ヲ吐露シ慎重研究セラレ以テ本會議開催ノ目的ニ副ハムコトヲ望ム

尙詳細ナル事項ニ付テハ農務局長及耕地課長ヲシテ指示セシムヘシ

以上簡單ナル所感ヲ述ヘ各地ヨリ來ラレ此ノ重大ナル會議ニ參集セラレタルコトヲ感謝ス

農務局長指示

茲ニ地方耕地主任官會議ノ開催ニ當リ耕地ノ擴張改良事業ニ對スル本省ノ方針並要望ニ付テハ大臣ヨリノ訓示アルヘキモ予ハ聊カ細目ニ亘リテ諸君ノ留意ヲ希望セムトス

一、耕地整理法ノ改正ニ關スル件

今日地租法ノ制定ニ伴ヒ必要ナル點ニ付耕地整理法ニ改正ヲ加ヘタルカ其ノ注意スヘキ點次ノ如シ

(一) 耕地整理減租年期

從來耕地整理ニ對スル普通ノ地租上ノ恩典ハ地價ノ無期限据置ナリシカ地租法ハ十年毎ニ課稅標準タル賃貸價格ヲ改訂スル制度トナリタレハ獨リ整理施行地ニ付テノ賃貸價格ヲ無期限ニ据置クハ地租法上ノ地租ノ恩典トモ均衡ヲ失スルヲ以テ七十年ノ年期ト改メ十年毎ノ改訂期ニ當リテハ一般改訂期毎ニ調査シタル賃貸價格ヨリ耕地整理ニ因リ生シタル利益ニ相當スル額ヲ減スルコトト爲シタリ而シテ耕地整理ニ因リ生シタル利益ニ相當スル額ヲ計算スル爲施行後ノ土地ニ付假賃貸價格ヲ評定スルコトト爲シタルヲ以テ其ノ評定ハ施行地ノ地租ノ恩典ノ根源ヲナスモノナレハ縣當局ニ於テ之カ指導ニ注意セラレムコトヲ望ム

(二) 賃借價格配賦

賃貸價格ノ配賦ニ關スル規定ハ從前ノ地價配賦ニ關スル規定ト同様當事者ノ利害ニ關係スル所頗ル大ナル事項ナルヲ以テ之カ運用ニ當リテハ十分ナル注意ヲ要スルモノナルカ殊ニ本法施行前ニ

既ニ地價配賦案ヲ作製シ未タ配賦済ニ至ラサルモノ大正十五年四月一日以後昭和六年三月三十一日迄ニ地價配賦済ニ至リタル整理施行地ノ貸賃價格ノ配賦ハ複雑ナル手續ヲ要シ且速ニ貸賃價格配賦案ヲ作製シ稅務署長ニ申請セシムル要アリ於是今回貸賃價格配賦案ノ調査指導ニ關スル府縣ノ施設ニ對スル國庫補助ノ途ヲ開クコトト成リタルヲ以テ縣當局ノ健全ナル運用ニ期待スル所大ナルモノアリ

(三) 市街地附近ノ耕地整理

今回新ニ加ハリタル第三條ノ二ハ從來ノ趣旨ヲ變更シタルモノニ非ス即チ本條ハ耕地整理ヲ施行スルモ到底土地ノ農業上ノ利用ヲ増進シ得ラレサル地域内ニ於テ名ヲ耕地整理ニ籍リテ實ハ市街地ノ區劃整理ヲ爲シ又ハ新ニ市街宅地ノ造成ヲ爲ス行爲ヲ許ササルト共ニ苟モ農業上ノ利用ヲ増進シ得ラルヘキ地域内ノ耕地整理ハ假令市内ノ土地ト雖之ヲ爲シ得ラルヘキ趣旨ノ規定ニシテ從來ト何等異ナル規定ニ非ス近ク市街宅地化スル土地ニ付耕地整理ノ施行ヲ許スハ管ニ同法ノ根本主旨ニ反シ地租上ノ特典ヲ濫用スルノ結果トナルノミナラス耕地整理ノ指導監督ニ要スル費用ヲ其ノ方面ニ使用シ爲ニ純然タル耕地整理ノ指導監督ヲ蔑ニスル結果トモ相成ルヘキヲ以テ市内又ハ市街地附近ノ耕地整理ノ施行組合ノ設立又ハ地區擴張ノ設計書變更等ノ認可ニ當リテハ本改正條項ノ趣旨ヲ誤ラサル様特ニ留意アリタシ

(四) 耕地整理法附則第十六條

耕地整理ハ土地ノ農業上ノ利用ヲ増進スルヲ目的トシ市街宅地ノ造成ヲ目的トスルモノニ非ス耕地整理法上ノ地租ノ恩典ハ此ノ目的ノ爲與ヘラレタルモノナルヲ以テ今ヤ純然タル市街地化シタルモノニ付當該恩典ヲ繼續セシムル要ナシ故ニカカル宅地ヲ大藏大臣ト協議ノ上指定セントスル考ナリ府縣ノ調査ハ之カ重要ナル參考資料ナレハ十分注意セラレ本條ノ趣旨ヲ誤ラサル様セラレタシ

二、耕地整理ノ事務ノ指導監督施設ニ關スル件

耕地整理ノ事務就中費用ノ賦課徵收其ノ他會計事務換地處分、貸賃價格ノ配賦等ニ關スル事務ハ耕地整理事業ノ運命ニ係ルコト極メテ大ナルニ拘ラス從來之カ指導監督ニ關シ中央ノ設備乏シク遺憾少ナカラサル狀況ナリ加フルニ今般地租法ノ制定ニ伴ヒ耕地整理法ノ改正ヲ行ヒ耕地整理法中貸賃價格ノ配賦ニ關スル規定アリ直ニ之カ運用ヲ爲ササルヘカラサルノ實情ニアリテサナキタニ事務指導監督ノ急ヲ要スル場合ニ改正法運用上ニ於ケル適切ナル實務ノ成績ヲ舉タル爲之等耕地整理ノ事務指導監督ニ關シ今回職員ヲ増置シ事務ノ進捗ニカムルコトトナレルヲ以テ地方廳ニ於テモ協力以テ本施設ノ効果ヲ十分發揮セシメラレムコトヲ望ム

三、耕地整理事業資金ニ關スル件

耕地整理事業資金ニシテ借入金ノ償還ニ困難ナルモノニ對シテハ其ノ緩和策ノ大體方針トシテ左記ノ通決定セラルヘキ見込ナルカ就中經營困難ナル地區ノ資金借替ニ際シテハ嚴密ナル内容審査ヲ行フ豫定ナルヲ以テ斯ル地區ニ付テハ其ノ財務計畫ニ關シテ一層ノ注意ヲ以テ償還上支障ナカシムル様之ヲ督勵シ遺憾ナキ様措置セラレムコトヲ望ム

(一) 現下ノ不況ニ依リ特ニ償還困難ニ陥レルモノニ對シテハ一箇年ノ年賦償還額中ノ元金相當額ノ低利資金ヲ融通シ之ヲ年賦ニテ償還セシムルコト

(二) 不測ノ障害其ノ他不得止事由ニ依リ經營困難ナル上現下ノ不況ノ爲一層償還困難ニ陥レルモノニ對シテハ其ノ償還殘元金ヲ三十箇年以内ノ長期低利資金ニ借替得ルコト
尙一般ノ低利資金ノ融通ニ付テハ適當ニ指導セラレ其ノ圓滑ヲ期セラルルハ勿論其ノ貸付年限ノ按配等ノ點ハ勿論之カ償還ニ付テモ今後一層ノ注意アラムコトヲ望ム

四、開墾助成ニ關スル件

開墾助成出願中ノモノニシテ特別ノ事情ノ爲工事開始ニ付助成指令ヲ俟ツ能ハサルモノニ付テハ工事開始ヲ承認シタルモノアルモ是ハ指令ヲ保證スルモノニアラサルハ勿論將來豫算ノ都合就キ指令ヲ爲ス場合ニ於テモ他ノ出願ニ對シ優先的取扱ヲ爲スモノニモアラス又各年度ノ助成金ハ指令ノトキヲ起點トシテ普通ノ例ニ依リ其ノ後ノ年度ニ交付ノ指令相成ルヘキヲ以テ其ノ旨當該事業者ニ徹底セシメラルルト共ニ特ニ指導監督ヲ周到ニシ萬遺漏ナキヲ期セシメラレムコトヲ望ム此ノ事ニ付テハ既ニ地方官宛通牒致置キタルモ重要ナル事項ニ屬スルヲ以テ更ニ各位ノ留意ヲ促カス次第ナリ尙工事開始ニ關シ何等特別ノ事情アリト認め難キモノニ付テモ陳情書ヲ提出セル向アルカ自今ハ眞ニ己ムヲ得スト認め且ツ採算上ニ於テモ支障ナシト認ムルモノノ外可成之カ提出ヲ見合ハサシムルコトトシ之ヲ提出セラルル場合ハ詳細ノ事情ヲ副申セラルル様取扱ハレムコトヲ望ム次ニ開墾助成ニ關スル會計検査ハ助成金ノ實際交付ノ基礎トナルモノナルヲ以テ之ヲ行フニ當リテハ特ニ嚴正

ナル態度ヲ以テシ萬遺漏ナキヲ期セラレムコトヲ望ム

五、開墾地移住及經營ニ關スル件

開墾地ノ移住及經營ハ開墾事業ノ經營ヲ容易ナラシムルト共ニ優良ナル新農村ノ創成ヲ助ケテ事業ノ効果ヲ永遠ニ收ムルノ目的ヲ有スルモノナルカ故ニ其ノ農業經營及生活上諸般ノ事項ニ付テハ細密ナル注意ヲ要ス而シテ地方廳ニ於テモ可成專任者ヲ置キ周到ナル指導獎勵ニ努メラレムコトヲ望ム又畑開墾地ノ經營ヲ有利ニ導カムトスルノ趣旨ニ依リ陸稻ノ優良品種配布、東北諸縣ニ甘藷苗ノ供給斡旋栽培指導等ヲ行ヘルカ地方廳ニ於テモ一層之カ指導獎勵ニ努メララルト共ニ移住及經營ニ關シテハ更ニ各種ノ調査研究ヲ遂ケラレ以テ開墾事業最終ノ措置タル開墾地ノ經營ニ遺憾ナキヲ期セラレムコトヲ望ム

六、用排水幹線改良事業ニ關スル件

用排水幹線改良事業ニシテ補助見込ノ内牒後ニ於ケル正規ノ補助申請及既指令地區ニ對スル國庫補助金請求書ノ提出近來甚シク遲延シ往々年度切迫スルニ至ラサレハ提出セサルモノアリ前者ハ必ス其ノ年度内ニ指令スルヲ要シ後者ハ實地検査期間乏シク爲ニ事務ノ處理上支障不尠爾今速ニ提出セラル可キ様留意アラムコトヲ望ム

七、農用機械ノ利用獎勵ニ關スル件

本省備付ノ農用機械ハ拔根地拵土工等ニ亘リ夫々其ノ效果ヲ顯ハシ來レルハ諸君ノ協力ニ依リシコト多カリシヲ感ス今後一層之カ利用ヲ進メ耕地事業ノ遂行ニ資セラレンコトヲ望ム尙最近ニ於テ漏

水スル水田ノ床締ニ機械ヲ應用シ安價迅速良好ニ施工シ得ルヲ知ルニ至レリ本法ハ用水ノ節約上有
利ナリト思考セラル、ヲ以テ今後之ヲ應用セラレムコトヲ望ム

八、地下水利用並地質調査ニ關スル件

地下水利用並地質ニ關スル調査ハ年々調査ノ件數増加スルノ傾向ニ在リ故ニ本省ニ於テハ職員ヲ繰
合セ増置シ地方ノ要望ニ應ジツ、アル次第ナリ地下水ノ利用ニ就テハ開墾地並早魃被害耕地ニ於テ
新ニ水源ヲ地下水ニ求ムルニ當リ一層仔細ニ本省ト協議ヲ遂ケテ調査ニ遺漏ナキヲ期セラレムコト
ヲ望ム又地質ノ調査ニ關シテハ本省ハ機械ノ利用獎勵ト相俟チテ本省ヨリ貸與スル機械ニ依リ貯水
池築造並地下水ノ利用等ニ關スル地質ヲ精査シ益々其ノ鑑定ノ正確ヲ期セシムルノ方針ナリ地方ニ
在リテハ今後此等ノ點ニ留意セラレムコトヲ望ム

以上諸君ノ留意ヲ請フヘキ要項ヲ陳述セリ

思フニ耕地ノ擴張改良事業タル今後益々多端ニシテ中央地方一致協力シテ銳意其ノ事ニ當ラサルヘ
カラサルハ勿論ナルモ以テ本會議ニ於テハ相互腹藏ナク意見ヲ開陳シ十分ナル講究ヲ遂ケ以テ事業ノ
獎勵ニ貢獻セラレムコトヲ望ム

耕地擴張改良事務取扱方ニ關スル耕地課長注意

一、耕地整理ニ關スル件

(一) 耕地整理及土地改良獎勵費規則並大臣内訓等ニ依リ提出期間ノ定メアル書類ハ必ス期間中ニ

提出スルコト

(二) 耕地整理ニ關スル大臣内訓ニ依ル各種報告ハ兎角粗漏ニ流ル、ノ嫌アリ統計作成上支障少カ
ラサルヲ以テ爾今迅速ニシテ正確ヲ期セラレ度キコト

(三) 設計書記載事項中往々左記事項ヲ脱漏スルモ之等ハ必ス記載セラレ度キコト

(イ) 耕地整理法第一條第三號ノ事業ヲ行フ場合ニハ其ノ計畫ノ内容及費用豫算

(ロ) 用排水幹線改良事業費ニ對シ地元負擔ヲナス場合ニハ負擔金ノ豫算

(ハ) 夫役現品ヲ分賦スル場合ニ於テハ其ノ數量、品目、單價換算金額等

(ニ) 工事着手及完了ノ豫定時期

(四) 耕地整理ノ經費徵收ニ關スル件

今期議會ニ於テ組合長ノ經費徵收ニ關スル法律ヲ可決セリ遠カラス發布ノ運トナルヘシト思考セ
ラル之カ施行ニ當リテハ運用ノ宜シキヲ得ル様十分ノ注意アリタキコト

二、耕地整理事業資金ニ關スル件

現下耕地整理事業資金ノ償還ニ困難ヲ來セルモノ不尠狀況ニ鑑ミ其ノ償還對策ニ付大藏省ト打合中
ノ處大體左記方法ニ依リ之カ緩和ヲ講スルコト、ナレルヲ以テ其ノ實施ニ當リテハ十分ナル指導監
督ヲ行ヒ今後ノ償還ニ支障ヲ來サ、ル様十分督勵セラレタキコト

(一) 農産物價格ノ下落ノ爲特ニ負擔過重ト認メラル、モノニ付テハ其ノ一箇年分ノ年賦償還金中
ノ利子分丈ヲ支拂ハシメ其ノ元金分ハ別ニ預金部資金ヲ貸付ケ(二十箇年以内ノ年賦償還)シ其

ノ利率ハ四分八厘銀行經由五分四厘)之ニ依リ年賦金ヲ完納セシムルノ大體方針ニ依ルモノトス但シ償還ノ餘力アルモノハ其ノ貸付ヲ元金分ノ一部ニ止ムルコト

取扱ハ差當リ一箇年限リトシ次年度以後ハ必要ニ應ジ更ニ詮議スルモノタルコト

(二) 不測ノ障害其ノ他不得止事由ニ依リ經營困難ナル上農産物價格下落ノ爲一層困難ニ陥レルモノニ付テハ三十箇年以内(五箇年以内ノ据置期間ヲ含ム)ノ償還期限ヲ以テ其ノ未償還殘元金ノ借替ヲ爲サシメ償還年限延長ノ大體方針ニ依ルコト本項借替資金ノ利率ハ年四分八厘(銀行經由五分四厘)トスルコト

本項ニ該當スルモノニ付テハ嚴密ナル審査ヲ行ヒタル上之ヲ實施スル豫定ナルコト

(三) 耕地整理事業資金中預金部資金以外ノ高利債ニ對シテハ特ニ本年度ニ於テハ預金部ヨリ相當多額ノ借替資金ヲ供給セラルヽ見込ナルコト

三、開墾助成ニ關スル件

(一) 開墾助成會計検査ニ當リテハ單ニ書類帳簿ノ検査ニ止マルモノアルカ如キモ工事費ノ支出ニ付テハ必ス實地ト對照シテ嚴密ナル検査ヲ行ハレタキコト

(二) 助成地區ニハ各年度別工事竣功部分ヲ示ス見取圖ヲ備ヘ置カシメラレ度旨大正十年十一月食局第一八九七號ヲ以テ通牒セル次第ナルニ實行セサル向アリ今後ハ勵行セシメラレタキコト

(三) 工事其ノ他ノ指導監督ニ付テハ動モスレハ周到ヲ缺クモノアルカ如キモ右ニ付テハ適當ノ方法ヲ講究セラレ其ノ周到ヲ期セラレ度尙右ハ單ニ水源等ノ特種工事ノミナラス開田畑工事ニ付テ

モ十分考慮アリタシ

(四) 開墾助成金ノ交付ヲ受クル事業ニ在リテハ耕地整理タルト否トヲ問ハス其ノ會計ニ關スル書類帳簿ノ費目ノ區分ハ總テ(助成法ニ基キ作成スルモノタルト耕地整理法ニ基キ作成スルモノタルトヲ問ハス)助成願ニ添付セル設計書豫算ノ科目ニ從ヒ彼此一致セシメラレタキコト

(五) 事業ノ停止、廢止又ハ繰延ヲ爲シ居レルモノニシテ手續未了ニ屬スルモノハ速ニ其ノ手續ヲ爲サシメ又今後新ニ右ニ該當ノモノヲ生シタル場合ハ遲滯ナク手續ヲ勵行セシメラレタキコト

(六) 助成指令ヲ以テ助成金交付ノ年度ヲ原則ニ比シ後年度ニ定メラレタル場合(例へハ昭和五年八月迄ノ事業ニ對シ助成金ノ交付年度ヲ昭和六年以降ニ定メタル場合ノ如シ)ニ於テハ之ニ對スル請求書決算書及事業成績書ノ處理ハ從來ハ普通ノ取扱ニ依リタルモ今後ハ本年三月十七日附農局第三七二號開墾助成事業ノ工事開始ヲ承認シタルモノニ關スル通牒第二項及第三項ニ準シ取扱ハレタシ

四、開墾地移住獎勵ニ關スル件

(一) 開墾地ノ移住及經營ニ關スル事業ハ當業者ヲシテ開墾事業ノ當初ニ於テ計畫ヲ樹テ耕地ト宅地ノ配置ヲ適當ナラシメ又ハ移住家屋及共同建造物ノ建築又ハ移住者ノ招致保護獎勵等ニ關スル施設ヲ爲サシムル等當業者ヲ指導セラレタキコト

(二) 開墾地移住獎勵手續第五項ニ基キ移住獎勵金交付指令認可申請書ヲ提出ノ際ハ昭和四年六月二十四日附農第八二九〇號農務局長通牒ニ留意シ不備ナキ様手續ヲナサレタキコト

- (三) 移住者ノ金融、購買、販賣、利用等ノ經濟上ノ機關ヲ整備セシムル様指導セラレタキコト
- (四) 移住紹介及汽車電車汽船ノ運賃割引制度ノ利用方ヲ周知セシメ一層本制度ノ實績ヲ擧ケラレタキコト

五、用排水幹線改良事業ニ關スル件

- (一) 補助申請書ニ添付スヘキ計畫説明書ハ往々簡ニ過キ其ノ要ヲ得サルモノアルヲ以テ提出ニ當リテ注意セラレタキコト
- (二) 用排水幹線改良事業中補助ニ該當セサル部分アル場合ハ之ヲ計畫書ニ明記シ且事業費モ補助非補助ニ區分セラレタキコト
- (三) 計畫書中ニ記載セル地名、河川名、堰名等カ往々ニシテ其ノ添付圖面(現形圖、計畫一般圖等)ニ記入ナキモノアリ斯塔テハ處理上支障ヲ來スコト多キヲ以テ兩者ノ對照ヲ容易ナラシムル様本文中ニ使用セル名稱ハ必ス圖畫ニ記入セラレタキコト
- (四) 用排水幹線改良事業ト發電事業トヲ併セ行ヒ發電事業者ヨリ一定ノ比率ニ依リ事業費ノ一部ヲ徵スルモノニシテ契約上收入ノ時期ヲ明示セサルモノニアリテハ年々交付サルヘキ補助金ハ前年度ノ決算額ヨリ該比率ニ依ル收入豫定額ヲ差引キタル殘額ニ對シ補助セラル可キニ付キ財務計畫樹立ニ當リテハ相當考慮セラレタキコト

六、土地利用計畫ニ關スル件

耕地擴張事業ノ發達ニ資スル爲本省ニ於テハ土地利用計畫ノ一部トシテ全國ノ主ナル水系ニ屬スル

耕地擴張集團見込地ノ狀況其ノ他各水系ヲ一團トスル調査ヲ施行シ將來ニ於ケル土地利用計畫ノ資料ニ供セントス依テ當該技術官出張ノ際ハ調査上ノ便宜ヲ圖リ目的ノ達成ニ助力セラレタキコト

七、農用機械ノ利用獎勵ニ關スル件

(一) 從來本省ニ備付タル農用機械ハ主トシテ地拵用ノモノナリシカ更ニ地層調査用ノ試錐機、隧道掘鑿用ノ鑿岩機^{ロッドリル}水路構造用ノ膠灰噴射機^{セメントガン}、岩隙ノ湧水防止用膠灰注入機^{セメントインフューザ}ヲ購入セリ利用セラレタキコト

(二) 昭和二年以來農用機械管理所ニ於テ農用機械ノ操縦者ノ養成セシモノ四十五名アリ講習日數ハ既ニ本業ニ經驗アリシ者ハ七日間無經驗ノ者ハ二十五日間ナリ特ニ溜池築堤ニ從事スル者ハ一箇所ニ三、四年ヲ費ヤシ一日中ノ運轉時間ハ二、三時間ナルヲ以テ組合員中ノ子弟ニシテ才幹文筆アル溫厚ナル者ヲ選ヒ内業ニハ事務ヲ執リ外業ニハ運轉ニ從フ様教養セリ何レモ歸縣後ノ成績良好ナルカ如シ由來機械ノ運轉ハ教練アル者ヲシテ擔當セシメサレハ成功セサルヲ以テ將來機械應用ノ作業ヲナサントスル場合ハ本省品借用成立前ニ於テ人ヲ派シテ操縦者ヲ教養セラレタキコト

(三) 本省備付ノ十馬力以上ノ大型牽曳機ハ三十九臺アリ轉々貸與シテ各地ノ借用ニ應セリ貸用中破損スル時ハ一旦農用機械管理所ニ引上ケ根本的修繕ヲ加ヘテ返送ス此ノ種ノモノハ昭和二年ヨリ昭和五年迄延二十七臺アリ緊急ノ場合ハ在庫中ノ完全機ヲ交換送付シテ作業ノ進行ヲ妨ケサルニ注意シ其ノ他ノモノハ可成速ニ修繕送付ス何レモ送還後ノ操業良好ナリ管理所ノ設備ハ此ノ種

ノ要求ニ應シ得ルヲ以テ貸與中破損機ノ修繕ハ此ノ途ニ出ラレタキコト

(四) 拔根機ノ備付數ハ六十一臺アリ本機ハ使用久シキニ亘ル時ハ要部磨滅シテ其ノ用ヲ爲サ、ルニ至ルモノナレハ此ノ場合ハ完全機トノ交換ヲ行ハレタシ農用機械管理所ニ於テハ昭和二年ヨリ同五年ニ至ル間ニ修繕ヲ加ヘタルモノ延六十四臺アリ管理所ノ設備ハ此ノ種ノ要求ニ應シ得ルヲ以テ借用中ノ拔根機ノ不良ニ歸シタル場合ハ完全機トノ交換ヲナス様注意セラレタキコト

(五) 農用機械購入ニ對シ補助金交付ノ制度ハ大正十年ヨリ開始セリ昭和二年迄ハ拔根機ニ限ラレシカ昭和三年以後ハ牽曳機、農具類、車輛類ニ對スル購入補助ヲ見ルニ至レリ本省ニ於テハ經費ノ許ス限リ此ノ種ノ冀望ニ應スヘク且適當品ノ選擇、評價検査使用法指導破損ノ場合ノ修理ニ對シ相當斡旋ノ勞ヲ採ルヘキコト

八、地下ノ利用並地質調査ニ關スル件

(一) 地下水ノ利用ハ今後益々盛ニナルヘキ傾向ニ在ルヲ以テ新ニ地下水源ヲ計畫セントスルニ當リ發生シ易キ水利權ノ問題ニ關シテ技術上ノ判斷ノ正鵠ヲ期シ地下水利用事業ヲ進歩發展セシムル爲新ナル地下水源ト既存ノ水利權トノ關係ヲ十分ニ調査スル様注意セラレタキコト

(二) 地下水利用ニ關スル水利上ノ問題ニ付實際ノ資料蒐集ニ努メラレ本省ニ其ノ報告ヲ爲ス等地下水ノ水利權ニ關シ相當ノ考慮ヲ拂ハレタキコト

(三) 一般ノ地質ニ關スル調査ニ付テハ例ヘハ貯水池豫定地ニシテ地質上不安ヲ感スルモノ成績不良ナル貯水池ニシテ之カ改善ニ地質上ノ判定ヲ要スルモノ等ノ如キハ速ニ其ノ實狀ヲ報告シテ本

省ト十分ニ打合セラテ遂ケ事業ノ完成ヲ期セラレタキコト

九、此ノ外本會議ニ於テ從來屢々注意事項トシテ注意ヲ促シ置キタルモ其後ノ事績ニ徴スルニ右注意事項ノ勵行ヲ怠ルモノアルヲ以テ各位歸任後係員ニ徹底スル様特ニ注意アリタキコト

出席者 (七十八名)

地方名	官名	氏名	職名
北海道	道廳技師	山岡茂	耕地課長
屬		一戸孝	耕地課長
青森	農林技師	竹内末五郎	耕地課長
屬		栗田禮藏	耕地課長
岩手	農林技師	坂部重遠	耕地課長
屬		原田嘉種	耕地課長
宮城	農林主事補	岸政雄	耕地課長
屬		齋藤美代司	耕地課長
秋田	農林主事補	石塚欣太	耕地課長
屬		守能邦人	耕地課長
山形	農林主事補	小泉靜雄	耕地課長
屬		東京	地方農林技師
屬		尾崎源一	地方農林技師
市橋友次郎		村岡岩記	
清水敬信		矢島敏彦	
菊地清兵衛		山元昇	
鈴木吉五郎		鈴木純三	
前川純三		佐藤新太夫	
山中謙輔		國安正五郎	
尾崎源一			

出席者

神奈川	新瀉	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	静岡
農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師
地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師
矢儀	大津	富田	堀井	中橋	吉田	牧田	櫻井	遠藤	鷺見
平一	新次郎	幸次郎	信長	憲政	健壁	健治	直樹	正重	昇重
愛知	三重	滋賀	京都	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山
屬	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師
島野	橫田	佐藤	山崎	水野	宮本	小森	上村	木戶	野呂
勝雄	利喜一	米善	周善	憲哲	憲象	谷光	文造	幸三	勇之助
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
島野	橫田	佐藤	山崎	水野	宮本	小森	上村	木戶	野呂
勝雄	利喜一	米善	周善	憲哲	憲象	谷光	文造	幸三	勇之助
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
島野	橫田	佐藤	山崎	水野	宮本	小森	上村	木戶	野呂
勝雄	利喜一	米善	周善	憲哲	憲象	谷光	文造	幸三	勇之助
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

一六

本省提出諮問事項及協議事項

甲 諮問事項

山口	德島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	山口	武富	西島	吾鄉	後藤	柳原	田中	西村	佐藤	野田	山田	戸原	
農林技師	地方農林技師	地方農林技師	地方農林技師	地方農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師
地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師
西島	吾鄉	後藤	柳原	田中	西村	佐藤	野田	山田	戸原	武富	西島	吾鄉	後藤	柳原	田中	西村	佐藤	野田	山田
憲時	精造	與治	鹿松	十三男	殿	主殿	茂人	忠稔	八	憲時	精造	與治	鹿松	十三男	殿	主殿	茂人	忠稔	八
長崎	熊本	大分	宮崎	鹿兒島	沖繩	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師	農林技師
地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師	地方技師
重政	田中	石川	橋本	樺島	林本	藤本	上村	吉田	浦崎	重政	田中	石川	橋本	樺島	林本	藤本	上村	吉田	浦崎
庸德	實雄	房吉	辰男	多賀助	進士	達次郎	友次	忠一	純	庸德	實雄	房吉	辰男	多賀助	進士	達次郎	友次	忠一	純
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

耕地擴張改良事業ノ現況、趨勢並將來ニ對スル指導獎勵方針如何

本省提出諮問事項及協議事項

一七

乙 協議事項

- 第一 改正耕地整理法ノ運用ニ關スル事項
- 第二 耕地整理事業資金償還ニ關スル事項
- 第三 開墾助成ニ關スル事項
- 第四 其ノ他耕地擴張改良事業ノ獎勵監督ニ關スル事項

議事經過

第一日 (五月十五日)

午前十時半開會(中央會議所)各地方ヨリ主任官其ノ他七十八名拓務省ヨリ技師矢島慧及技手大谷信太郎、朝鮮總督府ヨリ技師得熊繁男、技師兒玉啓太郎、屬兼技手笠原光治及屬岡田熊太郎ノ出席アリ石黒農務局長、有働耕地課長以下各係官列席シ冒頭農務局長ノ指示アリ次テ耕地課長ノ耕地擴張改良事務取扱方ニ關スル注意アリテ午後零時半休憩

午後一時半再開別記農林大臣ノ訓示アリ西村政務次官及岡本參與官列席、石黒農務局長議長席ニ着キ諮問事項『耕地擴張改良事業ノ現況趨勢並將來ニ對スル指導獎勵方針如何』ニ關シ宮崎縣及埼玉縣ニ答申セシム次テ本省提出協議事項第一改正耕地整理法ノ運用ニ關スル事項ニ付有働耕地課長ヨリ大要ノ説明アリ更ニ五十子事務官ヨリ詳細ニ亘ル説明アリテ四時散會

第二日 (五月十六日)

午前九時半開會有働耕地課長議長席ニ着キ五十子事務官ヨリ前日ニ引キ續キ改正耕地整理法ノ説明アリ正午休憩

午後一時半再開協議事項第一改正耕地整理法ノ運用ニ關スル事項ニ付福岡、秋田、福島等ノ各縣ヨリ改正法第三條ノ二ノ市街地區指定ノ時期、方法、範圍等ニ關シ又茨城、鹿兒島兩縣ヨリ假貸賃價格ニ關シ夫々質問アリ之ニ對シ本省各係官ノ應答アリ次ニ三須農林事務官ヨリ歐米視察談トシテ『反動國家ノ農政我觀』ナル題下ニ歐洲ニ於ケル二大反動國家ソヴェト・ロシヤ及イタリーニ於ケル農業政策ノ外觀的對照ヲ基準トセル講演アリテ五時半散會

第三日 (五月十八日)

午前九時半開會有働耕地課長議長席ニ着キ地方提出協議事項第四開墾地移住及經營ニ關スル件ニ付香川、宮崎兩縣ヨリ又同第五用排水幹線改良事業ニ關スル件ニ付富山、石川兩縣ヨリ夫々希望並質問アリ之ニ對シ本省各係官ノ説明アリ引キ續キ本省提出協議事項第二耕地整理事業資金償還ニ關スル事項ニ入り大藏省預金部原監理課長、日本勸業銀行和田公共貸付課長等列席シ事業資金償還緩和策ニ關シ原監理課長ヨリ詳細ナル説明アリ其ノ後熊本、大分其ノ他ノ府縣ヨリ質問アリテ正午休憩

午後一時半再開日程ニ先立チ事業資金償還ノ緩和方法を付特ニ地方主任官ニ有働耕地課長ヨリ注意スル所アリ引キ續キ本協議事項ニ付福岡、静岡、秋田等ノ各縣ヨリ夫々質問アリ之ニ對シ原監理課長ノ説明アリ次テ遞信省簡易保險局小林事務官列席簡易生命保險積立金ノ融通ニ關シ静岡、宮崎兩

縣ヨリ希望、意見アリテ夫々應答アリタリ續イテ午前ノ日程地方提出協議事項第五用排水幹線改良事業ニ關スル件ニ付奈良、神奈川、德島等ノ諸縣ヨリ補助金豫算増額ノ要望アリ次ニ地方提出協議事項第六其ノ他ノ事項ニ關シ暗渠排水事業ニ對スル補助金交付ノ希望、農業水利法ノ制定其ノ他ニ付各地方ヨリ具申スル所アリタリ德島縣ヨリ重要ナル問題ニ付テハ決議セラレンコトヲ求メタリ之ニ關シ地方提出協議事項ノ整理ヲ爲スコトトナリ議長ヨリ左ノ整理委員ヲ指名シ午後四時散會

委員氏名

秋田縣	齋藤美代司	富山縣	川村長作	愛知縣	横田利喜一
茨城縣	村岡岩記	長野縣	林直樹	兵庫縣	野呂勇之助
奈良縣	田原剛	德島縣	吾郷精造	宮崎縣	林進士

直ニ整理委員會ヲ開キ協議スル所アリタリ

第四日 (五月十九日)

午前十時開會有働耕地課長議長席ニ着キ本省提出協議事項第四其ノ他耕地擴張改良事業ノ獎勵監督ニ關スル事項ノ協議ニ入ル青森、福島、福井、岐阜等ノ各縣ヨリ從來水利權ノ統一不完全ニシテ企業上支障尠カラサルヲ以テ速ニ全國ノ水系ヲ調査シ農業水利法ヲ制定サレンコトヲ希望シタリ

次テ山梨縣ヨリ最近農業用道路改修ノ必要益多キヲ加ヘツツアルヲ以テ農林省ニ於テハ用排水幹線改良事業ト同様農道ノ改修事業ニモ助力セラレタキコト又耕地整理事務多端トナレルニ伴ヒ特ニ財務官等ヲ設置シ高級事務員ノ養成ニ努力セラレタキコトノ希望アリ島根、德島等ノ各縣ヨリ賛成ノ陳述

アリテ本省係官ヨリ地方ノ希望ニ副ヒ度キ旨應答アリタリ次ニ栃木、鳥取兩縣ヨリ改正耕地整理法ニ付テ徹底ヲ期シツ、アルモ賃貸價格ニ關シテハ大藏省關係ニモ徹底サレ度キ旨ヲ具陳シ又長崎縣ヨリハ賃貸價格ノ決定ニ當リ既ニ換地處分ヲ終レルモノニ對シ之ヲ行フニ要スル費用ハ國家カ負擔ス可キモノナラスヤノ質問アリ之ニ對シ本省耕地課長ヨリ目下財政難ノ折柄可及的組合ノ負擔トサレタキ旨ノ應答アリタリ次テ静岡、埼玉等ノ各縣ヨリ地方職員ニ關スル意見並希望アリ正午休憩

午後一時半再開石黒農務局長議長席ニ着キ本省提出協議事項第三「開墾助成ニ關スル事項」ニ付本省係官ノ説明アリ富山、岐阜、静岡、長崎等各縣ヨリ指令前工事開始ノ認可ヲ熱望セリ石黒農務局長並有働耕地課長ヨリ本件ハ豫算關係アルヲ以テ今直ニ認可シ兼ヌルモ之カ根本解決ハ十分豫算ヲ計上スルニ非サレハ困難ナル旨説明アリタリ次ニ整理委員會ニ於テ審議シタル結果ヲ林委員長ヨリ報告シ別記ノ通可決セリ最後ニ農務局長ノ挨拶アリテ午後四時本會議ヲ閉會セリ

本省提出諮問事項答申

耕地擴張改良事業ノ現況趨勢並將來ニ對スル指導獎勵方針如何

全國概況

全國各地方ヨリノ答申ヲ通覽スルニ各其ノ地方的狀況ヲ異ニスルヲ以テ之ヲ約言スルコト困難ナリ

ト雖其ノ總括的ノ概況ヲ窺ヘハ次ノ如シ

現況

昭和六年三月末現在ニ於ケル耕地擴張改良事業ノ現況ヲ觀ルニ何レモ相當ノ實績ヲ示セリ今其ノ主ナルモノニ付之ヲ示サントス但シ北海道ニ在リテハ開墾助成法、開墾地移住獎勵補助制度、用排水幹線改良事業補助要項等ノ適用ナク專ラ拓殖計畫ニ基キテ施行サレツ、アルヲ以テ之等ハ茲ニ加ヘサルコト、セリ

一、耕地擴張改良共通事業

(一) 耕地整理事業

耕地整合法ノ實施セラレタル明治三十三年以來昭和六年三月末迄ニ認可セラレタル地區數ハ二萬五千九百九十九ニシテ地積九十四萬二千九百九十町步其ノ整理費五億二千四百一萬七千七百三十三圓ヲ算セリ今之ヲ地方別ニ觀レハ地積ニ於テ最モ多キハ新潟縣ノ六萬四千八百八十八町步ニシテ宮城縣ノ五萬一千四百五十四町步之ニ次キ福島、福岡、鹿児島、山形、千葉、秋田ノ諸縣ハ何レモ三萬町步以上ヲ占メ最モ少キハ北海道ノ七百六十二町步次ハ沖繩縣ノ三千四百六十六町步和歌山、徳島兩縣ノ五千町步未滿山梨、香川、東京、長崎、福井、各府縣ノ一萬町步未滿之ニ次ク狀態ナリ而シテ右認可セラレタルモノ、内工事完了セルモノ地區數一萬一千七百二十一其ノ地積四十六萬四千七百六十六町步換地處分認可済ノモノ地區數九千七百二十三其ノ地積四十萬五千二百二十五町步事業終了セルモノ地區數五千六百三十二其ノ地積二十一萬九千九百七十二町步ヲ示セリ

(二) 耕地整理事業補助

地方ニ於ケル耕地整理事業補助(北海道及宮崎縣ニハ補助規程ナシ)ハ耕地整理事業獎勵ノ爲豫算ノ範圍内ニ於テ交付スルモノニシテ其ノ交付標準及交付歩合ハ各府縣ニ依リ相違スルモ昭和五年度ニ於テハ其ノ豫算額百六十四萬五千五百三十三圓ニシテ之ニ對シ國庫補助額三萬五千六百三十圓ヲ受ケタリ府縣ニ於ケル此ノ豫算ノ多キハ福岡、岡山、福島、三重、長崎、大阪、山梨、各府縣ニシテ何レモ六萬圓以上ヲ計上セリ

(三) 農用機械ノ利用獎勵

農林省ニ於テ農用機械ノ貸與ヲ開始シタルハ大正八年度以降ナルカ昭和六年三月末迄ニ地方ニ於テ之カ貸與ヲ受ケタルモノハ牽曳機三十二道府縣、拔根機三十八道府縣ニシテ大正十四年度ヨリ貸與ヲ開始セル孤輪車ハ二十七府縣ニ亘レリ更ニ大正十年度以降農林省ヨリ開墾地用機械購入費補助ヲ受ケテ機械ヲ購入シ又ハ事業者ノ購入ニ對シテ補助ヲナシタルモノ十八府縣ニ及ヘリ

(四) 其ノ他ノ指導獎勵

各地方共事業ノ指導獎勵ノ爲各種ノ調査研究、設計並工事ノ監督、事務指導等ニ努メ尙一面ニ於テ耕地協會等ト提携ヲ圖リ以テ斯業ノ普及ト之カ完成ヲ期シツ、アリ

二、耕地擴張事業

(一) 開墾助成事業

開墾助成法ノ施行セラレタル大正八年六月以來昭和六年三月末迄ニ農林省ヘ助成ノ出願ヲナシタ

ルモノハ地區數三千九百二十二其ノ面積十萬五千六百三十町步ニシテ之ヲ地方別ニ觀レハ面積ニ於テ最モ多キハ神奈川縣ノ六千二百四十二町步青森、岩手兩縣ノ五千町步以上、宮城、岡山、兩縣ノ四千六百町步以上之ニ次キ最モ少キハ大阪府ノ百二十六町步、東京、奈良、德島、各府縣ノ五百町步未滿京都、島根、和歌山、愛媛、福井、石川、香川、各府縣ノ一千町步未滿之ニ次ク狀態ナリ而シテ右出願セルモノ、内指令ヲ受ケタルモノハ地區數三千三百四十九其ノ面積九萬二千五百八町步成功面積六萬四千四百十二町步ヲ算セリ

(二) 開墾地移住獎勵補助

大正九年度以來府縣ニ開墾地移住獎勵規程ヲ設ケ開墾地移住家屋及共同建造物ノ建築ニ對シ獎勵金ヲ交付シ來レルモノ四十一府縣ニ及ヒ昭和五年度迄ニ之カ爲國庫補助ヲ受ケタル額百七十二萬五千四百七十五圓其ノ補助家屋八千四百七十戸、共同建造物九十八棟ニシテ其ノ最モ多キハ千葉縣ノ一千五十九戸宮崎、福島、長野各縣ノ五百戸以上栃木、岡山兩縣ノ三百戸以上之ニ次ク狀態ナリ尙本施設ニ伴フ開墾地移住紹介ノ取扱ハレタルモノ九縣開墾地移住者ニ對スル汽車、電車、汽船ノ運賃割引ヲ利用セルモノ十三府縣ニ及ヘリ

三、耕地改良事業

(一) 用排水幹線改良事業

用排水幹線改良事業補助要項ニ依リ農林省ヨリ補助金ノ交付ヲ受ケ府縣營ヲ以テ施行スルニ至リタルモノハ大正十二年以來昭和六年三月末迄ニ百八十三箇所其ノ受益面積二十一萬四千八百三町

步ニ及ヒ四十一府縣ニ亘レリ而シテ受益面積ニ於テ最モ多キハ千葉縣ノ二萬三千一町步ニシテ埼玉、岐阜兩縣ノ三萬町步以上新潟、富山、愛知、長崎、各縣ノ一萬町步以上之ニ次ク狀態ナリ

趨勢

最近ノ財界不況ト農村經濟ノ逼迫トハ耕地擴張改良事業ニ影響ヲ及ス所尠カラス農産物價ノ低落ハ事業ノ經營ヲ困難ナラシメ事業費ノ償還ニモ支障ヲ來サシムル等斯業ノ獎勵普及上障害ヲ與ヘタルモノアリ

然リト雖一面ニ於テ勞銀其ノ他諸材料ノ低落ノ爲ニ事業費ノ低下ヲ來シ又失業者ノ續出ハ歸農者ノ數ヲ増シ勞力ノ供給ヲ潤澤ナラシメ却テ企業ヲ容易ナラシメタルモノアリ加フルニ農村振興ノ對策トシテ或ハ農業經營改善ノ目標トシテ耕地擴張改良事業ニ對シ農業者ノ自覺ヲ促シ各所ニ事業ノ勃興ヲ見ルモノアリ昭和五年度ニ於ケル政府ノ失業救濟農山漁村臨時對策低利資金ノ割當ハ更ニ事業ノ企畫ヲ助長セルカ如シ

耕地擴張事業ハ小規模ナルモノニ在リテハ自發的ニ相當行ハレツ、アリ殊ニ近年養蠶業ノ不振ハ却テ開田事業ヲ盛ナラシメ或ハ園藝作物栽培ノ爲畑開墾ノ行ハル、地方アル等ハ着目スヘキ現象ナリ開墾助成ニ在リテハ曩ニ同法ノ改正ニ伴ヒ其ノ機運ヲ醸成シタリト雖財政ノ緊縮ニ因ル指令遲延ト水利問題ノ伏在トハ一般ニ斯業ノ進捗ヲ阻害スルコト尠ナカラサルカ如シ大規模ナル開墾事業ハ殊ニ經濟界ノ不振ニ際シ民間ニ於テ實施困難ナル關係ヨリ之ヲ國營ヲ以テ施行センコトヲ要望スルモノ益多キ

ヲ加ヘツ、アル状態ナリ

耕地改良事業ニ付テハ近年打續ク早魃ノ爲ニ用水源設備ノ改修ヲ行フモノ多ク成績亦見ルヘキモノアリ殊ニ用排水幹線改良事業ノ実績ニ徴シ各地方共之カ企業ヲ要望スルモノ甚々多キ状態ナリ此ノ外交通運搬ノ利便ノ爲農道ノ改修等ヲ行フ耕地整理事業モ相當起リツ、アル趨勢ニアリ

將來ニ對スル指導獎勵方針

將來ニ對スル指導獎勵方針ハ固ヨリ各地方ニ依リ事情ヲ異ニシ其ノ事項ハ甚々多岐ニ別ルト雖其ノ主要ナルモノニ付茲ニ類別スレハ次ノ如シ

一、耕地擴張改良共通ノ方針

(一) 從來ノ方針ヲ踏襲シ益調查設計並工事ノ監督ヲ嚴密ニシ同時ニ事務指導ヲ周到ナラシメ斯業ノ圓滿ナル發達ヲ圖ラントス

(二) 各種指導獎勵施設ノ普及徹底ニ努メ更ニ諸設備費ノ新設、豫算ノ増額ヲ圖リ其ノ充實ニ努メ

(三) 諸般ノ調査研究ニ努メ或ハ産業調査會等ノ活動ヲ促シ以テ斯業ノ根本的計畫ノ確立ヲ期セン

(四) 農業水利ニ關スル調査ヲ行ハントス

(五) 農業水利ノ改善指導並取締ヲ勵行シ或ハ水利組合ノ指導監督及助成ニ努メ以テ農業水利ノ圓滿ナル解決ヲ期セントス

(六) 各種補助金ヲ増加シ斯業ノ促進ヲ圖ラントス

(七) 事業資金ノ斡旋ヲ爲シ之ヲ潤澤ナラシメントス

(八) 組合ノ經營並財務計畫ニ對スル指導監督ヲ行ハントス

(九) 經營困難ナルモノ工事ノ成績不良ナルモノ及事務澁滞セルモノニ付テハ之カ指導救済ニ努メントス

(十) 工事終了後ノ事務促進ヲ圖ラントス

(十一) 講習、講話又ハ協議會等ヲ催シ或ハ視察ノ援助、印刷物ノ刊行ヲナシ斯業ノ指導普及ニ資

セントス

(十二) 耕地協會ノ充實發展ヲ助成シ以テ事業ノ進展ヲ期セントス

(十三) 農事試驗場又ハ農會等各種團體ト連絡提携シ斯業ノ圓滑ナル發達ヲ圖ラントス

二、耕地擴張ニ關スル方針

(一) 開墾事業ノ促進ヲ圖ラントス

(二) 小規模開墾ニ付テハ指導獎勵ヲ行ヒ其ノ助長ニ努メントス

(三) 大規模開墾ノ促進ヲ圖ラントス

(四) 開墾又ハ干拓地ノ水利調査ヲ行ヒ開田事業ノ促進ヲ圖ラントス

(五) 開墾用機械ノ利用ヲ勸奨シ之カ設備ノ完成ヲ圖ラントス

(六) 開墾地移住獎勵ニ努メントス

- (七) 開墾地利用並經營ノ指導ニ努メントス
 - (八) 開墾地經營ノ試驗地及模範地ヲ設定セントス
- 三、耕地改良ニ關スル方針
- (一) 農業水利改良計畫ノ達成ヲ期シ特ニ用排水幹線改良事業ノ促進ヲ圖ラントス
 - (二) 濕田ノ改良ヲ勸奨シ暗渠排水事業ノ指導獎勵ニ努メントス
 - (三) 水旱害又ハ鑛業ニ依ル被害耕地等ノ災害復舊ニ努メントス
 - (四) 農業經營改善ノ爲ニ比較的事業容易ナル古田整理及道路ノ改修ニ努メントス
 - (五) 其ノ他灌溉排水施設ノ改善ヲ圖ラントス

答申

北海道

現況並趨勢 本道ニ於ケル耕地ノ開拓ハ北海道拓殖計畫中最モ樞要ナル事業ニシテ北海道土功組合法、北海道國有未開地處分法及各種獎勵、補助規程ニ基キ施設シ其ノ進展著シキモノアリ現在本道ノ開發見込面積百五十八萬町步ノ中既ニ開發セラレタルモノ田二十萬一千八百町步畑六十三萬六千九百町步合計八十三萬八千八百町步ニシテ特ニ水田造成事業ハ近時補助制度ヲ設ケ指導獎勵ヲ行ヒテヨリ其ノ面積頓ニ増加シ最近十箇年ニ在リテハ一箇年平均増加反別一萬町ヲ超ユルニ至リ昭和五年度ノ作

付反別十九萬八千餘町步其ノ米產額二百八十八萬石ヲ算ス今昭和五年度末各事業別施業面積ヲ擧クレハ左ノ如シ

事業名	施業面積	事業名	施業面積
國營工事		二、同設計	一四三、五七七
一、排水溝工事	七五、六三八	三、排水溝設計	一一、二〇八
國費補助		四、農業水利調査	二七、三〇三
一、排水溝補助	一六、三七三	土功組合	
二、灌溉溝補助	一一一、五五〇	組合數	二二七
三、造田補助	四二、一三六	灌溉反別	一五六、八七六
四、酸性土壤改良補助	二、二〇二	排水反別	二〇、二五六
五、客土補助	八、四一七	耕地整理組合	
六、開墾(畑)補助	九〇、一八七	組合數	四
七、移住獎勵補助	六、四二一	區域反別	七六一
調查及設計	四、八六〇	民有未墾地開發	
一、灌溉溝基本調査	一七八、五九四	開發済民有未墾地	五八、六一三

將來ニ對スル指導獎勵方針 耕地擴張改良事業ニ對スル本廳ノ獎勵施設ハ主トシテ國費(拓殖費)ヲ以テ調査設計、工事及事務ノ指導監督、補助金ノ交付、特種土壤ノ改良指導、國營排水工事施行等又

地方費施設トシテ土地改良工事ノ測量、設計ヲ爲シ其ノ他活動寫眞ヲ利用スル獎勵講話、印刷物ノ配布等ニ依リ益々其ノ發展ヲ圖ラムトス然レトモ産米計畫ハ本道拓殖上又國策上ヨリ觀テ最モ重要ノ施設ナルモ最近産米ノ需給關係又ハ米價低落ノ狀勢ヨリ觀察シ最モ慎重ヲ要スルヲ以テ本道産米計畫ノ中樞ヲ成ス土功組合ノ指導監督ニ付キテハ特ニ意ヲ茲ニ用ヒ財政基礎確立ニ特別ノ努力ヲ拂ヒ以テ其ノ緊實ナル發達ヲ期セムトス而シテ新規計畫ハ其ノ工事ト經濟調査ヲ嚴密ニシ鞏固適確ナルモノヨリ漸次ヲ誘導シ所期ノ目的達成ニ努力セムトス

青森縣

現況並趨勢

一、耕地ノ擴張

本縣ニ於ケル國土總面積八十七萬一千町步中耕地面積十三萬一千餘町步ニシテ内田面積七萬一千八百三十町步、畑五萬九千七百七十町步ヲ算ス(米産額百十五萬六千七百石)而シテ耕地整理法實施以來認可ヲ與ヘタル地區數三百四十、面積一萬六千一百八十三町步ニシテ大部分ハ耕地ノ擴張ニ屬シ其ノ面積一萬三千町步ヲ越ヘ殊ニ昭和四年ニアリテハ一千町步以上ニ達シ益々増加ノ趨勢ニ向ヒツ、アリシモ米價暴落ニ伴ヒ農村ノ疲弊著シク加之助成指令前ノ工事開始ヲ認メラレサルコト、ナリシ結果多少手控ヘノ狀態ニアリ縣内ノ大部分ハ國有地及御料地ニシテ其ノ面積五十二萬五千町步ヲ算シ耕地擴張見込地五萬五千町步中、國有地及御料地多ク幸ニシテ近時比較的容易ニ國有林野開

墾適地モ開放セラレ御料地ノ拂下問題モ熟シツ、アルヲ以テ斯業ノ發展期シテ待ツヘキモノアリト信ス

更ニ大集團地ハ水利及事業費等ノ關係上實施至難ナルヲ以テ農林省ニ於テ現ニ調査中ニ屬シ多年地方民ノ熱望シツ、アル三本木平野ノ大規模開墾計畫實施ニ至ラハ本事業モ今後尙一層ノ發展ヲ見ルノ趨勢ニアリ

開墾助成法實施以來ノ趨勢次ノ如シ

年次	地區數	田開	畑開	計
自大正八年年度	九三	二、八六八町	一、一八〇町	四、〇四八町
昭和元年年度	一七	二七五	一〇〇	三七五
昭和二年年度	二二	三二三	一四二	四六五
昭和三年年度	三九	五三〇	五二五	一、〇五五
昭和四年年度	一四	九六	二六二	三五八
昭和五年年度	四	三〇	五〇	八〇
昭和六年度(四月末迄)	一九〇	四、一二二	二、二五九	六、三八一
計				
以上ノ中未指令	四一	五五二	六一八	一、一七〇
昭和六年度中出願見込	三一	二九一	二四三	五三四

二、耕地改良

前記ノ如ク耕地整理認可地區中其ノ大部分ハ耕地擴張事業ニ屬シ耕地ノ改良ハ僅ニ三千町歩ニ過キス然レトモ將來改良ヲ要スヘキ古田四萬四千町歩畑一萬町歩ヲ算シ水利ノ改良ト整理ヲ要スルコト眞ニ切ナルモノアリ

近來旱害續出シ用水源施設ノ出願ノ亦漸ク多キヲ加ヘツ、アル状態ニアリ然レトモ旱害及水害地ハ總テ大集團ヲナシ小規模ニテハ到底救済不可能ノ状態ニアルヲ以テ縣管排水排水改良事業ニ依リ旱害ヲ除去シ併セテ大規模ノ古田整理實施ノ要アリ

三、用排水改良事業

本縣ニ於ケル用排水改良事業ハ漸次進展シツ、アリ其ノ状態次表ノ如シ
イ、既ニ着手セルモノ

事業名稱	支配面積	事業年度	事業費	備	考
馬淵川沿岸用水改良事業	八〇〇町	自大正十五年 至昭和二十一年 年度	一五九、〇〇〇円	揚水機新設工事完了、古田整理中	
淺瀬石川筋用水改良事業	六、六〇〇	自大正十三年 至昭和十四年 年度	三一七、〇〇〇	貯水池新設ニシテ工事完了セリ	
小田川沿岸排水改良事業	八、〇〇〇	自昭和七年 至昭和十四年 年度	四六二、〇〇〇	提防新設及水門新設工事中	

ロ、計畫中ノモノ

事業名稱	支配面積	事業年度	事業費	備	考
七戸川沿岸排水改良事業	一、六五〇町		九〇〇、〇〇〇円	昭和七年度ヨリ工事開始ノ見込	
駒込川用水改良計畫	一、〇〇〇			毒水排除	
土淵堰用水改良事業	五、〇〇〇			貯水池新設	
六羽川用水改良事業	七〇〇			貯水池新設	

以上ノ如クシテ用排水改良事業將來益々多望ナル状態ニアリテ縣管ヲ以テ事業ノ遂行ヲ期セントス
將來ニ對スル指導獎勵方針 上記ノ如ク將來益々發展ノ機運ニ向ヒツ、アル状態ニシテ本事業ノ興廢ハ本縣産業ノ消長ニ重大ナル關係ヲ有スルヲ以テ將來尙一層ノ努力ヲ要スルニ依リ從來ノ指導獎勵方針ヲ踏襲スルノ外左記各項ニ依リ斯業ノ振興ヲ期セントス

- 一、農業水利調査ヲ續行シ旱水害地ニ對シ免害計畫ヲ樹立シ其ノ被害ヲ除カントス
- 二、比較的事業容易ナル古田整理ヲ獎勵シ用水ノ公平ナル分配有效ナル使用ヲナサシム
- 三、苹果園ノ改良擴張ヲ獎勵セントス
- 四、財政ノ許ス限リ縣ノ設備ヲ充實シ設計調査工事監督ヲ周到ナラシム
- 五、工事完了後ノ事務ニ關シテハ耕地整理協會ヲ督勵スルト共ニ一層其ノ進捗ヲ期ス
- 六、開墾地利用ニ關シテハ専ラ之ニ當ル職員ヲ置キ之カ完全ナル利用ヲ圖ラントス

岩手縣

現況並趨勢 財界ノ不況ハ耕地事業ニ多大ノ影響ヲ及シ既成地ノ經營甚困難ナルモノヲ生シタルノミナラス新ニ事業ヲ企畫セムトスルモノニ少カラサル脅威ヲ感セシメタリ

然リト雖縣下耕地擴張及改良見込地ハ約九萬三千町ヲ算スルモ一戸當耕作面積漸ク一町四反一畝ヲ有スルニ過キササル本縣農業者ハ當面ノ問題タル主要食糧ノ自給自足ヲ目標トシテ耕地ノ擴張及改良ヲ要望スルコト甚切ナルモノアリテ縣ハ出願ニ依リ年々一千町乃至二千町若ハ二千五百町ノ設計調査ヲ行フモ尙且現在八十餘箇所ノ測量未著手地區アリテ其ノ面積七千五百町ヲ算ス

四月末日ノ調査ニ依レハ耕地整理施行認可地區數三百一、關係面積一萬八千三百三十二町ニシテ事業進捗ノ程度次ノ如シ

區分	地區數	面積
工事未着手	三十七	二千六百八十二町
工事中	二百三	一萬三千二百五十八町
工事完了	六十一	二千三百九十二町
換地處分濟	三十九	二千五百五十五町
同上中事業終了	十三	七百九十二町

而シテ右認可地區中開墾助成出願濟ノモノ百二十地區、關係面積開田四千三百九十四町、開畑八百

三十五町合計五千二百二十九町ニシテ本年度未迄ニ出願セムトスルモノ五十一地區、其ノ面積ハ開田一千一町開畑三百六十七町合計一千三百六十八町ノ見込ナリ

開墾助成地移住家屋所要數四十地區六百戸ノ内既ニ獎勵金交付濟ノモノ二十地區八十二戸ナリ前記ノ他縣營農業水利改良事業ニ關シテハ次ノ如シ

施行済ノモノ	一箇所受益面積	二千四百町
施行中ノモノ	二箇所受益面積	一千六百九十町
調査中ノモノ	一箇所受益面積	五千三百町

將來ニ對スル指導獎勵方針 事業ノ計畫調査、實施並經營及維持管理等ニ關シテハ既ニ前年來答申セラル通ナルモ工事未著手事業ノ中水利改良事業ヲ除クノ他ノ大部分ハ開墾助成出願準備中ノモノ及未指令地區ニ屬スルヲ以テ其ノ促進ニ就テハ一ニ國ノ豫算増加ニ俟ツ可キモ將來反當事業費比較的低廉ナル五町歩以上ノ開田畑施行地區ハ可成開墾助成ノ恩典ヲ受ケスシテ直ニ工事ヲ開始セシムル方針ナリ

宮城縣

現況並趨勢

一、耕地整理事業

本縣ニ於ケル耕地ノ擴張改良ハ縣產業ノ消長ニ關スル唯一ノ事業ナルヲ以テ耕地整理法施行以來整

理ヲ獎勵シタル結果漸次普及發達シ組合設立又ハ施行認可ヲ與ヘタル地區數五百八十六其ノ面積五萬七千九百七十一町步ヲ算スルニ至リタルモ近時農產物ノ價格暴落ニ基因シ農村ノ經濟ハ著シク疲弊シ爲ニ斯業ノ發達ヲ阻害スル傾向ヲ呈スルニ至リタルモ勞銀及物價ノ低落ヲ利用シ一面低利資金ノ増配ヲ求メ獎勵スルニ於テハ大ナル影響ナキカ如シ

二、開墾助成事業

開墾助成法改正ニ伴ヒ俄然勃興ノ機運ニ向ヒタルヲ以テ機ヲ逸セス獎勵ニ意ヲ注キタル結果助成出願ヲ爲スモノ著シク増加スルノ趨勢ニアルヲ以テ急速助成指令ヲ受クルニ於テハ益々普及發達スルニ至ルヘシ

三、用排水幹線改良事業

農業水利改良ヲ要スル集團地五百町步以上ノモノ十五箇所一萬八千町步ニシテ用排水幹線改良補助要項ニ依リ政府ノ補助ヲ受ケ完成セルモノ二箇所面積千二百餘町步施行中ニ屬スルモノ六箇所面積一萬七十餘町步ニシテ其ノ成績極メテ良好ナルヲ以テ低利ナル事業資金供給充分アルニ於テハ益々發達スヘキ傾向ニアリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 現況並趨勢ノ概要ハ前述ノ通ニシテ耕地ノ擴張改良事業ノ消長ハ直ニ本縣產業ニ及ホス影響重大ナルヲ以テ今後一層ノ努力ヲ拂ヒ從來ノ方針ニ基キ指導獎勵シ以テ所期ノ目的ヲ達セントス

秋田縣

現況並趨勢

一、耕地改良事業

本縣ニ於ケル既耕地面積ハ田畑合計十三萬九千三百四十四町五反步米生産額二百萬石内外ニ達シ東北地方第一ノ農業國ナレトモ一般的ニ灌溉排水ハ其ノ組織不完全ナルヲ以テ利用充分ナラス殊ニ最近耕種法ノ改良ヲ爲スカ爲乾田ノ實施激増シ著シク要水量ニ不足ヲ來シ年々旱害ヲ被ル土地尠カラサルヲ以テ其ノ改良ハ緊急事項ナルヲ以テ經濟ノ許ス範圍ニ於テ銳意斯業ノ獎勵ヲ努メタル結果本年三月迄ノ施行認可地區總數四百四十五其ノ總面積三萬四千九百九十三町四反步ヲ算スルニ至レリト雖モ之ヲ本縣耕地總面積ニ比スレハ漸ク四分ノ一ニ達シタルニ過キス而シテ斯業ノ健實ナル發展ヲ遂クルニ伴ヒ現今失業者救濟ノ目的ヲ以テ企業者續出シ來リ現在ニ於テハ財界ノ不況ト反比例ヲ爲シ到底其ノ希望ヲ充スコト不能ナル盛況ナリ之ヲ表示スレハ左ノ如シ

種目	地區數	面積	附記
實地踏查出願中ノモノ	八五	三、〇二四・五〇〇町	昭和六年一月ヨリ四月末日迄分
設計調査出願中ノモノ	三〇	八五〇・六五〇〇	同上
設計中ノモノ	二〇	二五〇・〇〇〇〇	設計書交付次第施行認可申請ノ見込アルモノ
計	一三五	四、一二五・一五〇〇	

而シテ既往ノ實例ニ徵スレハ大正十一、十二年度迄ハ比較的大面積ノ耕地整理施行セラレタルモ爾後比較的施行面積狭少トナルニ至リ最近漸ク一團地ヲ十町歩内外ヲ一區域トシテ施行スルノ傾向ヲ生シ從テ完全ナル計畫ヲ樹ツルコトヲ得斯業ノ效果一層顯著ナルニ至レリ而シテ又縣營農業水利改良計畫ニアリテハ現在工事施行中ノモノ三箇所灌溉面積七、三三三町歩既ニ工事完了セシモノ二箇所灌溉面積二、四〇四町歩其ノ他縣費補助ニ依ル用排水改良事業ハ本年度ニ於テ二十一箇所此ノ受益面積一、五〇八町歩ニシテ一層斯業ノ勃興ヲ爲スヘキ趨勢ナルヲ以テ明年度以降更ニ之カ實現ニ相當方法ヲ講セサル可ラサル狀況ナリ

二、耕地擴張事業

本縣ニ於ケル耕地面積ハ土地總面積ノ一割一分八厘ニ當リ全國ノ平均一割五分八厘ニ比シ猶及ハス隣縣青森、山形、宮城ノ諸縣ヨリ遙ニ低位ニアリ故ニ利用可能ノ未墾地ハ頗ル多ク民有國有ヲ合シ無慮十萬餘町歩ヲ算シ地味概ネ肥沃ニシテ各種ノ作物其ノ栽培ニ適セサルハ無ク前途無盡ノ寶庫ヲ有スルヲ以テ縣ニ於テモ斯業ノ獎勵ニ努力シ開墾助成金ノ交付ト相俟テ漸次順調ノ發展ヲ遂ケ助成認可地區總數九十七其ノ總面積二千四百二十四町一段歩ニ達セリト雖モ財界不況ノ影響ヲ受ケ大地積ノ企業ハ漸次減退シ二十町歩以内ノ小面積ノ事業ハ稍々有望ニ進行シツ、アル狀況ナリ今之ヲ表示スレハ左ノ如シ

種目	地區數	面積	附記
助成出願準備中	七	三五六・〇〇〇町	設計書ヲ交付シ施行準備中
助成出願中	二	一八・三七〇町	昭和六年一月ヨリ四月末日迄ノ分
調査出願中	三二	二、一一二・〇〇〇町	
小開墾	五一〇	一、〇〇〇・〇〇〇町	
計	五五一	金額一五〇、三三九・六〇〇町 三、四八六・三七〇町	失業救済資金借入希望額

而シテ開墾ノ如キ普通多クノ資金ト多少ノ危険ヲ伴フヲ常トスル事業ニアリテハ本縣一般ノ傾向トシテ土地所有者直接斯業ノ經營ヲ回避スルカ如キ狀況ナルモ漸次事業ノ健實ナル發達ヲ爲スニ伴ヒ直接土地所有者ニ於テ企業スルモノ多キヲ加ヘ今後一層順調ナル發達ヲ爲シ得ラルヘキ趨勢ナリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 前述セル如ク本縣ニ於ケル斯業ハ失業者救済並勞賃低落ノ影響ヲ受ケ當面ノ財界不況ニ不拘頗ル發展ノ趨勢ニアルヲ以テ縣財政ノ許ス範圍内ニ於テ從來ノ施設ノ運用ニヨリ着々其ノ進捗ヲ計リ豊源ノ開發ヲ企圖スル豫定ナルモ差當リ左記ノ方針ニ依リ斯業ノ指導獎勵ニ當ラントス

然レトモ一方既成地區ハ一般ニ好景氣時代ノ企業ニ係ルモノハ農産物ノ價低落ノ爲年賦金ノ償還ニ著シク困難ヲ來シ居ル爲組合費ノ納入成績頗ル不良ニシテ四月ノ調査ニ依レハ八十八地區其ノ金額一

四九、三九六・五二〇圓ニ達シ爲ニ勸業銀行ニ對スル年賦金ノ滯納モ本年ニ於テ最モ多ク本年三月末決算期ノ調査ハ二十四地區其ノ金額六二、七七一、一三〇圓ノ多額ヲ算セリ

而シテ之カ未納整理ニ關シテハ縣ニ於テモ指導ノ爲吏員ヲ派遣シ極力整勵ニ努メ居ルモ中ニハ財務ノ根本的計畫變更ヲ爲サ、レハ之カ整理ノ實績ヲ舉クル能ハサルモノモアリ之等ハ償還年限ノ延長或ハ中間据置等ノ方法ヲ講セサレハ如何トモ方策ナキ状態ニアリ

(一) 開墾助成地區ノ内現在著シク經營難ニ陥レル組合ニ對シテハ政府ノ方針決定ヲ待チテ財務計畫ノ立直シ竝ニ其ノ救済ノ方法ヲ講スルト共ニ未納整理ニ關シ極力督勵スルコト

(二) 新ニ開墾事業ノ出願ニ對シテハ可成工事容易ニ經營ノ安固ナルモノニ對シ確實ナル設計竝ニ財務計畫ヲ樹立シ嚴重ニ執行セシムル様指導監督ヲ充分ナラシムルコト

(三) 旱害地ノ救済ニ關シテハ大面積ノモノハ用排水改良事業費國庫補助ヲ得縣營ニテ施行シ小面積ノモノニ對シテハ縣費ニテ其ノ工事費ノ三分一以内ノ補助金ヲ支出シ急速ニ之カ工事ヲ施行セシムルコト

(四) 農業水利ノ取締ヲ嚴ニシ水利ノ紛争ヲ未然ニ防止スルト共ニ新墾地ノ用水利用ニ關シ特ニ指導ヲ爲スコト

山形縣

現況竝趨勢 昭和四年九月實施セル農業調査ニ依ル本縣耕地面積ハ十四萬千三百四十六町步ニシテ土

地總面積ノ一五%ニシテ我國ノ土地面積ト耕地面積トノ比ニ一致セリ之ヲ人口トノ割合ヲ見ルニ一人當一反四畝步又農家戸數ニ對比スルトキハ一戸ニ付一町四反七畝步ニ當ル而シテ田ハ十萬六百四十五町ニシテ耕地面積ノ七割一分畑ハ四萬七百町步ニシテ二割九分ニ當ルノ状態ニシテ其ノ農家一戸當リノ耕地面積ハ全國平均ノ一反一畝步餘ニ對比シ大ナリ

由來本縣ハ主要産業タル農業ハ米作ヲ主トスル關係上耕地擴張改良事業ノ普及發達ヲ計ルハ農業ノ振興ヲ期スル上ニ於テ最モ緊急要事タルハ論ヲ俟タサル所ナリ

而シテ本縣ニ於ケル耕地擴張改良事業ノ現況ヲ見ルニ明治四十一年耕地整理ニ關スル職員設置規程竝ニ事業實施規程ヲ發布シ爾來國ノ獎勵方針ニ策應シ各種獎勵規程ヲ制定スル等之カ助成補助ノ途ヲ啓キ專ラ斯業ノ發展ニ努メタル結果良好ナル成績ヲ收メツ、アリ今各事業別ニ其ノ狀況ヲ舉クレハ左ノ如シ

種別	地區數	面積	其ノ他	摘	要
基本計畫調査	三一		八二、三四九	内水積調査五地區三、九二〇町ヲ含ム	
灌溉水源調査	三二		二二、四三二		
實施設計調査	四〇二		五〇、九〇七		
一、發起施行又ハ組合設立認可	二八六		四一、〇八五		
二、工事完了	一五二		二五、六五六		

三、換地處分認可	一四四	二四、六四二
四、事業終了	一一五	一三、二八一
土地改良調査	三二五	九九七
耕地整理工事補助	一〇二	八三四、八三〇 ^四
土地改良補助交付	一三七	一五、〇〇九
耕地整理協會補助	一	三、五九〇
面積四八〇・一五町		

用排水改良事業調

地區名	費用	愛益面積	摘要
吉田堰	二五四、〇〇〇 ^四	一、二五三・八〇 ^可	揚水機ニ依ル用水補給 昭和三年度竣工
最上堰	三二五、〇〇〇	一、〇〇一・四〇	幹線改良ニ依リ用水量ノ増加ヲ計リ用水補給 大正十四年度着手 昭和三年度竣工
大町堰	二二七、〇〇〇	一、六二〇・二四	揚水機設置、幹線新設ニ依ル用水補給 大正十四年度着手 昭和三年度竣工
笹川堰	二四一、六〇〇	八二七・〇〇	揚水機設置幹線新設ニ依ル用水補給 昭和二年着手 昭和五年竣工
高島町外一ヶ村用水改良事業	九四六、〇〇〇	八八四・二〇	溜池新設幹線水路設置ニ依ル用水補給 昭和四年着手 昭和十一年竣工ノ見込
中川堰	三一〇、〇〇〇	二、七九〇・〇〇	揚水機設置幹線新設ニ依ル用水補給 昭和六年着手 昭和十年竣工ノ見込

開墾助成地區調

種別	地區數	面積		備考
		開田	開畑	
助成指令済	一〇四	三、一七七・五一 ^可	四五一・七三 ^可	三、六二九・二四 ^可
同上未指令ノモノ	一〇	三六七・二一	七四・三六	四四一・五七
將來出願セントスル見込	四九	一、二〇四・六一	五三八・一七	一、七四二・七八
計	一六三	四、七四九・三三	一、〇六四・二六	五、八一三・五九

開墾地移住家屋調

種別	戸數、棟數	補助額	備考
移住家屋	二一四	八二、八〇〇 ^四	
共同建造物	五	二、一九二	
計	二一九	八四、九九二	

以上ノ通りノ現況ニ在ルモ近時農村經濟異數ノ不況ハ直接本事業ノ發展ヲ阻止スルノ傾向アルハ誠ニ遺憾トスル所ナリ蓋シ積極的ナル耕地改良擴張事業ハ多額ノ資金ヲ投スルモ利益ヲ一時ニ回收シ得サルト相當困難ナル事情ノ伴フコト多キ關係上今日ノ如キ經濟狀態ニアル農村トシテ容易ニ企圖シ得サルノ狀態ニアリ然レトモ本縣ニ於ケル耕地ノ擴張ハ其ノ水源ノ關係上大規模ノモノハ其ノ費用多額

ヲ要シ實行容易ナラサルモ規模大ナラサル開墾ヲ希望スル者比較的多キモ開墾助成認可指令ニ接スルニ相當ノ時日ヲ要スル爲時期ヲ失シ事業ヲ阻止セラル、モノアリ又山間部ニ於テハ耕作田地極メテ僅少ニシテ食糧ハ多ク購入セル状態ナルヲ以テ五町歩以下ノ開墾ヲ希望スル者續出スルノ傾向アリ

又耕地改良事業ハ近年比較的早害多カリシ結果ニ鑑ミ應急ヲ要スル水源設備及水路ノ改修等ノ事業及投資比較的少額ニシテ施行シ得テ其ノ利益ノ速ニ實現スル暗渠排水事業ハ漸次増加セントスル趨勢ニアルハ昨年ヨリ實施セラレツ、アル農山漁村臨時對策低利資金ノ貸付ニ對スル申込ヲ見ルモ明カニ其ノ事實ヲ述フルモノトス今該資金ノ申込額並ニ配當額ヲ示セハ左ノ如シ

事業別	申込額	配當額	配當額ニ對スル申込額ノ割合
小開墾	一、八四四、四九〇	一〇四、〇〇〇	一七・七
水害復舊	五五九、六二四	一七三、〇〇〇	三〇・二
小設備ノ改良新設	三〇〇、二九四	一九七、〇〇〇	一・五
暗渠排水	八三三、五九七	一五五、〇〇〇	五・四
小用排水改良	二一六、三一五	九八、〇〇〇	二・二
耕地整理	二七五、七三八	二〇二、〇〇〇	一・三
計	四、〇三〇、〇五八	九二九、〇〇〇	四・三

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣ニ於テハ將來ノ産業獎勵方針ヲ調査研究スルノ目的ヲ以テ産業調査

會ヲ設ケ耕地關係ニ對シテハ此ノ際過去現在ノ状態ニ基キ將來ノ方針及ヒ施設方法等ヲ定メ以テ堅實ナル發達ヲ期セントスルモノナリ

尙左ノ事項ニ對シテモ特ニ注意ヲ拂ヒ指導獎勵セントス

- 一、事業獎勵及指導、監督ノ施設ヲ充實スル爲縣財政ノ許ス範圍内ニ於テ縣豫算ノ増額ヲ計ルコト
- 二、事業遂行ヲ容易ナラシムル爲工事補助並ニ土地改良等ノ増額ヲ計ルコト
- 三、地下水利用ノ方法ヲ講シ灌溉用水ノ充實ヲ計ルコト
- 四、從來調査セル農業水利改良計畫ハ可成速カニ實施スル様勸誘スルコト
- 五、現在ニ於テハ企業稍不振ノ状態ニアルモ將來經濟界ノ好轉ニ伴ヒ反動的ニ企圖計畫スルモノ勃興スルヲ豫想セラル、ヲ以テ豫メ此ノ點ニ注意シ苟クモ投機的企業ヲ誠メ健實ナル發達ヲ期セントス
- 六、財務計畫ニ對シテハ特ニ周到ナル指導ヲ爲シ實際ニ適應スル様作製セシムルハ勿論之ヲ各組合員ニ周知セシメ確實ニ實施セシムルコト
- 七、工事ノ監督ハ尙一層嚴ニスルハ勿論特ニ財務状態ニ留意シ工事ノ圓滿進捗ヲ計ルコト
- 八、經費ノ輕減ト組合員ノ權利義務ノ明確ヲ期スル爲工事終了後ハ速ニ工事完了後ニ於ケル手續ヲ履行セシムルコト

福島縣

現況並趨勢 本縣ノ人口及戸數増加ノ狀況ハ過去十箇年前ト對比スルニ大正九年末ニ於テ百三十九萬六千二百二十三人、二十三萬八千七百六十四戸ニシテ内農家戸數十三萬百六十四戸ナリ而シテ人口ニ於テ九千九百二十人、戸數ニ於テ二萬八千六百五十戸内農家戸數ニ於テ九千七百七十八戸ノ増加ヲ示セリ然ルニ同期間ニ於ケル縣下耕地擴張ノ實數ハ二千五百五十三町步ニシテ前記増加農家戸數ニ依リ假ニ一戸當リ平均耕作面積ヲ算出スルニ僅ニ二反七畝二十一步ニ過キササルナリ

由來本縣ハ主要産業タル農業ハ米作ヲ主トスルモノナルニ近時前述ノ如ク人口ノ増加ニ伴ヒ農家一戸當耕作反別ノ減少ヲ來スハ必然ノ事由ニシテ現下農村ノ經濟狀態ヨリ考察スルモ亦耕地擴張改良事業ノ普及發達ヲ計ルハ農業ノ振興ヲ期スル上ニ於テ最モ緊急要事タルハ論ヲ俟タサル所ナリ

而シテ本縣ニ於ケル耕地擴張改良事業ノ現況ヲ見ルニ明治三十五年ヨリ縣農會事業トシテ獎勵シ同三十九年ヨリ縣事業ニ移管シ耕地整理補助規程ヲ發布シ助成補助ノ途ヲ啓キ專ラ事業指導獎勵ニ努メタル結果各種事業左記ノ如キ現況ヲ見ルニ至レリ

耕地整理

地區數	面積	工事完了		換地處分		事業完了	
		地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
1271	11,410.11110	230	17,813.71111	208	13,127.41111	129	11,323.11111

開墾助成事業

地區數	施行面積		計
	開田	開畑	
八九	一、六〇六・六〇〇〇	八七〇・八〇〇〇	二、四七七・四〇〇〇

土地改良事業

種別	箇所	水掛面積	
		種別	面積
溜池	一七三	五、六五二・〇〇〇〇	
掘井	四	一六四・〇〇〇〇	
揚水機	六	二二九・七〇〇〇	
水門	八	六五九・二〇〇〇	
用水路	二〇	三、七七九・九〇〇〇	
其他	四一	二、九三九・七〇〇〇	
合計	二五二	一三、四二四・五〇〇〇	

用排水幹線改良事業

事業地名	繼續年度	事業費	支配面積
石城郡愛谷堰農業水利改良事業	自昭和六年年度	二六五、〇〇〇・〇〇〇	九九八・〇〇〇〇

町村名	自昭和三年	自昭和四年	自昭和五年	自昭和六年	自昭和七年	自昭和八年	自昭和九年
相馬郡石神村外二ヶ村	四六八、七七七・〇〇〇	五九七、〇〇〇					
西白河郡關平村二ヶ村	二五九、六八四・〇〇〇	八六五、〇〇〇					
會津大川筋	七四九、五〇〇・〇〇〇	一、七七八、〇〇〇					
相馬郡金房村外二ヶ町村	八七、五〇〇・〇〇〇	五七二、〇〇〇					
阿武隈川疏水	一、三二九、〇三〇・〇〇〇	一、一七九、〇〇〇					
安達郡本宮町外一ヶ村	四七六、〇六三・〇〇〇	七五九、〇〇〇					
石城郡鮫川堰	三八〇、〇〇〇	六九二、〇〇〇					

從來耕地整理ハ單ニ耕地其ノモノヲ主トシテ整理シ土地ノ交換分合區劃形質ノ變更若ハ道路畦畔溝渠等ノ變更廢置ヲ目的トスル所謂田區改正ニ過キサリシカ近時漸ク發達ノ域ニ進ミテ灌溉排水ニ關スル根本的設備又ハ地目變換、開墾干拓等今ヤ耕地ノ擴張形質ノ改良ニ最モ力ヲ注クニ至レリ殊ニ大正八年開墾助成法施行以來濱通地方ノ干拓及開墾事業ノ企業サル、アリ大正十三年及同十五年ノ兩度地方稀有ノ旱魃ニ遭遇シタル爲水路、堰堤、溜池、揚水機等水源工事ノ勃興ヲ來シタリト雖昨今財界ノ不況ハ漸ク事業上大ノ影響ヲ及スニ至レリ然レトモ水田ニ乏シキ會津方面ノ山間部地方ニアリテハ自然食料自給ノ必要ヲ悟リ小面積ノ開墾事業續出シ中通地方就中田村郡ニ於テハ濕田改良ノ暗渠排水等漸ク隆盛ニ赴キ耕地整理事業トシテ施行スルノ外小規模ノ濕田改良專ラ施行サル、ニ至レリ縣ハ之等小開墾事業ニ對シテハ大正十三年縣令ヲ以テ簡易土地改良獎勵規程ヲ發布シ勸奨ニ努メタル結

果成績頗ル良好ニシテ年ト共ニ事業増加スルニ至レリ
將來ニ對スル指導獎勵方針 前述ノ狀況ニ鑑ミ從來ノ方針ヲ踏襲スルノ外更ニ近ク縣下產業ニ關スル權威者、有力者等ヨリ成ル縣產業調查會ヲ組織シ將來縣產業ノ方針ヲ樹立スルコト、ナレルヲ以テ耕地擴張改良事業ノ將來ニ付テモ充分ナル考究ヲ遂ケ一層事業ノ進展ニ努力セムトス
 縣下用排水不良地ニシテ將來施行ヲ要スヘキモノ二萬一千町歩ニ對シテモ農林省ノ獎勵施設ト相俟テ用排水幹線改良事業トシテ大ニ之カ實行ニ努メムトス
 尙大規模開墾事業ハ政府ノ施設ト相俟テ速ニ其ノ實施ノ域ニ達センコトヲ期ス特ニ現下失業者救済事業トシテモ農村救済ノ意味ニ於テモ其ノ促進ヲ希望シテ止マサルナリ
 小面積ノ開墾事業ニ就テハ縣内ニ於ケル地方的食糧自給ノ關係ヲ見ルニ從來水田面積ノ過少ナル地方ニ於テハ著シク窮乏ヲ訴ヘツ、アル狀況ニシテ開墾助成法ノ恩典ヲ受ケ益々事業ノ獎勵ヲナシテ農村ノ救済ニ資セムトス
 更ニ濕田改良事業ハ縣下中通地方ニ於テ將來一層ノ獎勵ヲ試ミムトス之亦農村救済ノ上ニ最モ緊要ナル事項ナリト思惟スルヲ以テナリ

茨城縣

現況 本縣ノ東北部ハ阿武隈山脈ノ餘勢ヲ受ケ概シテ山岳重疊スト雖西南方ニ至ルニ從ヒ漸次廣濶トナリ所謂關東平野ノ一部ヲナス

平野ハ臺地部低地部ニ分タル畑地ハ主トシテ臺地部ニ水田ハ低地部ニアリテ其ノ面積田九萬四千百十八町步畑十二萬七千七百三十三町步計二十二萬一千八百三十二町步ニシテ土地總面積ノ四割三分ヲ占ム

全面積ノ半ニ近キ耕地ヲ包擁スト雖尙各所ニ山林原野ノ開發沼澤ノ埋立干拓或ハ地目變換等ニ依リテ開墾見込面積三萬餘町步ヲ有ス而シテ既耕地中臺地部ハ灌溉水ニ乏シク常ニ旱害ヲ被リ低地部ニアリテハ排水不良ニシテ且水害地多ク水田ノ反當收量ノ如キモ平均一石七斗ニ過キスシテ之カ改良上用排水路ノ變更、改修、溜池、揚水機、農道ノ改善新設區劃ノ整正等耕地改良事業ノ必要見込面積ハ五萬五千八百町步アリ

本縣ハ明治三十四年以來耕地擴張改良事業ノ指導獎勵ノ爲ニ諸般ノ施設規程ヲ設ケ銳意斯業ノ發達普及ニ努メタル結果時ニ經濟界等ノ影響ニヨリ消長アリシト雖漸次良好ナル成績ヲ收メ昭和六年三月末ニ於ケル耕地整理施行認可面積ハ三萬三千五百一十一町步地區數二百五十箇所ニシテ内工事完了面積一萬三千八百八十五町步地區數百二十六換地處分濟面積一萬一千七百十五町步地區數百十箇所事業完了面積八千七百四十町步五十箇所ナリ

又開墾助成出願地區數九十五箇所其ノ面積三千八百五十八町步ニシテ既ニ工事終了セルモノ五十二地區千五百三十町步ニ及ヘリ尙大正九年以來開墾移住家屋建築獎勵金交付ノ累計戶數ハ百九十三戶ニ達セリ

用排水幹線改良事業ハ目下起工中ノ新利根川農業水利改良事業（關係面積五、八六七町步）ヲ始トシ

小場江農業水利改良事業（關係面積九九・町七反）ハ本年度ヨリ五箇年ノ經續事業トシテ着手スヘク尙近ク事業開始豫定ノモノ二箇所（關係地域二、八〇三町步）アリ

更ニ本縣ハ既成田中六萬四千町ハ濕田地ニシテ之カ改良ヲ認メ昭和四年暗渠排水獎勵規程ヲ設ケタルニ既ニ實施セル個所四十六地區面積百町步餘ニシテ平均反當收量モ三割五分ノ増加ノ好成绩ニテ其ノ效果顯著ナルコト一般ニ認識セラレツ、アリ

尙失業救濟農山漁村臨時對策資金中耕地擴張改良事業ニ對スル本縣ノ割當額ハ四十六萬四千圓ニシテ内十九萬ハ小開墾（開墾豫定四百九十町步）水害復舊（十二町步）小設備ノ改良新設（十九箇所）小用排水改良事業（二箇所）暗渠排水（二十町步）へ二十七萬四千圓ハ普通耕地整理資金トシテ夫々事業償還共確實ナルモノニ對シ既ニ大部分貸付ヲ了シ本年度内ニ工事完了ノ豫定ナリ

既往ニ於ケル耕地事業中特ニ好況時代ニ施行セルモノ若ハ豫期セサル支障ノ爲工事ノ齟齬ヲ招致シ多額ノ事業費ヲ要シタルモノハ一般經濟界ノ不況ト米價暴落ノ爲事業經營困難ニ陥レルモノアリ之カ對策トシテ主務省ノ救濟施設ト相俟テ縣ニ於テモ補助金ノ増額、舊債借替、財務計畫ノ樹立經營方法改善等ニ關シ一般ノ努力緩和ノ途ヲ講シツ、アリ

趨勢 本縣ノ耕地事業ハ年ト共ニ好調ヲ示セルモ輒近普通ノ耕地整理事業ハ稍減少ノ状態ニアリコレ畢竟局部的ノ事業施行ニテハ效果少キニ基因セルモノ多シ故ニ將來耕地事業遂行上先ツ大區域ニ涉リ根本的ニ農道、用排水幹線等ノ設備確立ハ最モ緊喫トスルトコロニシテ即チ臺地部耕地ノ如ク用水不足シ常ニ旱害ヲ被リ收穫モ亦確定セサル個所ニハ用水ノ施設ヲ要シ低地部ノ如ク濕潤地ニシテ水害

地ニハ排水幹線ヲ完備スヘキモノニシテ農業水利改良事業、用排水幹線ノ國營工事等ノ實施ハ刻下ノ急務ニシテ夫々目下調査計畫中ニアリ

尙實施中ノ農業水利改良事業完成ノ曉ハ必然的ニ其ノ區域内ニ於テ第二次的ノ用排水改良事業又ハ耕地事業相伴ヒテ施行セララルヘシ

本縣ハ各所ニ廣汎ナル山林、原野、湖沼アリテ其ノ收益ハ農家經濟ノ一部ヲナセルモ最近經濟界不況ニ依リ山林薪炭業モ其ノ影響ヲ被リタルヲ以テ諸物價ノ低落、勞銀ノ低廉ナルヲ期トシ却テ山林、原野ノ開墾主トシテ開畑及干拓事業ヲ企圖スルモノ頓ニ増加ノ傾向ニアリ

現況ニ記セシ如ク數萬町歩ノ過濕地ハ排水幹線ノ改良ト共ニ暗渠排水工事ノ要アリテ暗渠排水補助規程制定以來日尙淺シト雖其ノ效果著シキヲ以テ年々施行者増加スルノ趨勢ナリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 前記ノ如キ現況並趨勢ニ鑑ミ斯業ノ促進達成ヲ計ル爲既往ノ方針ヲ踏襲スルノ外時勢ノ進運ニ順應シテ指導獎勵ノ施設ヲ一層完備シ大規模ノ用排水工事ノ實現ヲ期スルト共ニ小規模ノ改良擴張事業ニ對シテモ指導獎勵ヲ一層徹底セシメントス

尙最近ノ實狀ニ徴シ左記事頁ニ就キテハ特ニ留意セントス

一、目下政府ニ於テ調査中ニ屬スル那珂川沿岸大規模開墾計畫ハ將來本縣ノ耕地事業中最モ重要視スヘキモノニシテ之カ實現ノ促進ヲ計ルコト

一、調査、設計、工事監督ヲ一層周到嚴密ニシ確固タル年次、財務計畫ヲ樹テ事業ノ遂行上萬遺憾ナカラシメントス

一、本縣耕地協會ト連絡ヲ保チ特ニ工事完了後ニ於ケル事務ノ進捗ヲ期スルコト

一、工事中ノ事業ニシテ成績不良ナルモノニ付其ノ原因ヲ探究シ適切ナル救済ノ途ヲ講シ事業ノ達成ヲ期スルコト

一、從來組合費ノ滯納整理不完全ノ爲組合財務經理上遺憾ノ點多カリシカ組合費強制徴收ニ關スル耕地整理法ノ改正法律發布セララル、ニ於テハ組合財務ノ監督指導一層容易ナルノ見込ナリ

栃木縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地面積ハ一三七、〇〇〇町歩ニシテ總面積六十五萬町歩ニ比シ僅ニ二割一分ニ過キス平坦ナル山林原野等耕地擴張ノ適地面積尙七萬五千餘町歩ヲ有シ開墾事業ノ前途遼遠タルモノアリ

然レ共本縣ハ水利ノ便惡ク土地滲透性ニ富ミ多量ノ水量ヲ要スル關係上那須原野ヲ始メ比較的人口稠密ナル鐵道沿線ニ於テスラ山林原野トシテ放置スルモノ多キ現狀ニアルヲ以テ縣ハ之カ促進ニ關シ調査設計、工事監督、事務指導等設備ニ遺憾ナキヲ期シ斯業ノ普及發達ニ努メツ、アリ今事業ノ現況ヲ概説スレハ次ノ如シ

(イ) 耕地擴張事業

(一) 開墾助成事業

本縣ニ於ケル耕地擴張事業ハ開墾助成法施行以來昭和五年度迄ニ出願ノモノ百四十五地區開田二

千八百六十八町步開畑八百六十七町步計三千七百三十五町步ヲ算シ近年頓ニ増加ノ傾向ヲ示シツ、アリト雖モ將來ニ於ケル開墾可能面積七萬五千町步ニ比スレハ僅ニ五分ニ過キス然レ共大面積ノ開墾事業ハ水利關係複雑ナルト其ノ水源施設ニ多額ノ費用ヲ要スルヲ以テ縣ハ周到ナル計畫ノ下ニ急施ヲ要スル方面ヨリ漸次縣下各地ノ事業ヲ企畫シ開墾助成金ノ交付ト相俟テ斯業ノ發達ヲ計リツ、アリ尙昭和四年度ヨリ開墾水利調査費ヲ計上シ開墾見込地ト基本調查查ヲナシツ、アリ特ニ昭和四五兩年度ニ涉リ那須野ヶ原開墾ニ關スル調査ヲ進メ略計畫ノ大綱ヲ樹テ得タルヲ以テ近ク其ノ調査完成ヲ俟テテ之カ實施ニ著手スル豫定ナリ

(二) 耕地擴張補助事業

開墾助成事業ノ外耕地整理及土地改良補助規程ニ依リ面積五反步以上五町步未滿ノ小耕地擴張事業ニ對シ補助金ヲ交付シ之カ獎勵ヲナシツ、アリ其ノ面積昭和五年度末ニ於テ四百四十一地區開田三百三十町步開畑三百二十三町步ヲ算シ年々増加ノ傾向ニアリ

(ロ) 耕地改良事業

(一) 耕地整理事業

本縣ニ於ケル耕地改良事業ハ明治三十三年耕地整理法施行以來銳意之カ獎勵ニ努メタル結果年ト共ニ増加シ昭和六年三月末日現在ニ於テ地區數六七八地區其ノ面積二萬八千八百町步内工事中ノモノ九三地區三千六百町步工完了ノモノ五〇三地區二萬一千七百町步ヲ算スト雖モ尙改良ヲ要スルモノ頗ル多シ即チ用水不足田一萬一千町段排水不良田七千六百町步其ノ他耕作道ノ新設區劃整

理等ヲ要スルモノ約一萬町步ニ達スルノ狀況ニシテ更ニ一段ノ努力ヲ要スルモノト信ス縣ハ之カ指導獎勵ニ萬遺憾ナキヲ期シ特殊ノ工事ニ對シテハ補助金ヲ交付シ尙調査設計事務ノ指導、工事監督等ヲ行ヒ着々其ノ獎行ニ努メツ、アリ

(二) 用排水改良事業

本縣ニ於ケル用排水改良事業ハ大正十二年調査ニ著手シ銳意之カ勸獎ニ努メタル結果昭和四年ニ二地區千九百七十一町步同五年ニ一地區千三百六町步ヲ施行スルノ運ヒニ至リ内二地區二千二百二十二町步ハ工施行中ニ屬ス然ト雖モ尙集團地ニシテ排水不良ノモノ四箇所其ノ面積三千五百町步用水不足ノモノ八箇所六千六百町步排水不良ノモノ三箇所二千五百町步ヲ算シ更ニ一段ノ努力ヲ要スルノ狀況ニアルヲ以テ縣ハ之カ調査獎勵ニ着々其ノ歩ヲ進メ目下一地區二千五百町步施行計畫中ニアリ本年度ニ於テ實施ノ見込ナリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣ニ於ケル耕地ノ擴張改良事業ハ前述ノ如キ情勢ニアリ更ニ擴張ヲ要スルモノ七萬五千町步改良ヲ必要トスルモノ三萬八千餘町步ヲ有ス之カ指導獎勵ニ就テハ從來ノ指導獎勵方針ニ基キ尙過去數年ニ涉リ鬼怒川、那珂川、思川及渡良瀬川等主要河川ノ水利調査ヲナシ水利流域ノ狀態耕地ノ狀況等詳細ナル調査完了シタルヲ以テ將來擴張改良ニ際シテハ之ニ鑑ミ水利ノ圓滑ヲ計ルト共ニ從來比較的等閑ニ付サレタル溜池、揚水機、地下水利用等ニ就キ極力勸獎ニ努メントス即チ耕地ノ擴張ニ關シテハ前述ノ方針ニ基キ利用開發ニ必要ナル根本的調査ヲ行ヒ實行比較的容易ナ

ルモノニ對シテハ實施計畫ヲ樹テ事業者ヲ指導誘掖シ開墾助成法ニ依ル助成ト相俟テ事業者ニ對シテハ懇篤ナル指導監督ヲ行ヒ比較的大區域ノモノニ就テハ繼續的ノ調査ヲ進メ萬遺憾ナキヲ期セントス
 那須野ケ原開墾ニ就テハ昭和四年度ヨリ調査ニ着手シ本年度ニ於テモ引キ續キ調査ノ豫定ナリ耕地ノ改良ニ就テモ亦前述ノ方法ニ依リ大區域ニ渉ルモノハ用排水幹線改良事業補助根要項ノ恩典ニ浴セシメントシ調査ヲ進メツ、アリ小規模ノモノニアリテハ耕地整理特殊工事費ノ補助等ニ依リ極力事業者ノ負擔ノ輕減ヲ圖ルコトニ努メ斯業ノ發達上遺憾ナキヲ期シツ、アリ

群馬縣

現況 本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ昭和六年四月現在地區數六百二十六面積一萬九千六十五町步ニ達スト雖モ管内耕地面積十一萬九千六百四十二町步ニ對シ僅ニ一割六分ニ過キス將來改良ノ餘地尠カラサルモノアリ

開墾助成事業ハ其ノ地區數五十五面積二千三百六町步ニ達ス然ルニ本縣ニ於ケル開墾見込地一萬三千四百二十三町步ニ比スレハ僅ニ一割七分ニ過キス

次ニ用排水幹線改良事業ハ逐年増加シ既ニ工事完了セルモノ四箇所目下工事中ノモノ三箇所アリ尙計畫中ノモノニ大正用水及谷田川排水改良事業等アリ

趨勢 近時米價下落シ農業不振ヲ極メ農村ノ疲弊甚シキニモ拘ラス耕地ノ擴張改良ヲ企ツルモノ逐年激増ノ趨勢ニアルコト左表ニ示スカ如シ

年次	耕地整理施行認可		開墾助成出願		農業水利 用助金交 付地區數	失業救濟事業	
	地區數	面積	地區數	面積		地區數	面積
昭和二年	四	五八町	四	三〇町	一		
昭和三年	九	一九六八	三	二四	五		
昭和四年	二九	一、三一二	一五	二五二	一四		
昭和五年	三二	六三五	二五	四〇四	二一		

備考

農業水利改良事業ハ用排水幹線改良補助金ヲ受ケサルモノナリ失業救濟事業ハ昭和五年末ヨリ六年初ニ涉リタル分ナリ

而シテ之カ原因ヲ檢スルニ左ノ如シ

(イ) 本縣ノ主要産業タル機業カ近時著シク機械化シ多數ノ賃機業者カソノ職ヲ失ヒ歸農セル結果耕地ノ狹隘ヲ感スルニ至リタルコト

(ロ) 近時蠶業林等不況ノ結果農家ノ收入著シク減少セシハ從來ノ單一ナル農業組織ノ不可ナコトヲ語ルモノニシテ蔬菜果樹特用作物ノ栽培其ノ他副業ヲ多ク取入レ所謂多角農業ニ推移スルニ至リ自然耕地擴張ヲ必要トスルニ至リタルコト

(ハ) 一般經濟界不況ノ結果勞銀諸材料ノ價格低下シタルヲ以テ之ヲ利用シテ農業土木事業ヲ起サントスルモノ多キコト

(ニ) 失業救済ノ意味ヲ以テ耕地事業ヲ企ツルモノ多ク殊ニ最近救済資金ノ融通ヲ受クルコト、ナルヤ企業者俄ニ増加シ新設地區三百四十餘ニ達シタリ之ニ依リテ見ルモ如何ニ農村ニ於テ此種ノ事業ヲ要望シ又一面如何ニ資金ノ涸渴セルカラ知ルヘシ

(ホ) 農業水利改良事業ノ増加セルハ用排水幹線改良事業實施ニ伴ヒ一般ニ其ノ效果ヲ認メタルコト元ヨリ其ノ原因ノ主ナルモノナレトモ昭和三年度ヨリ農業水利補助金ヲ交付シテ之カ獎勵ニ努メシ結果之カ企業ヲ申請スルモノ多キニ依ル

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣ニ於テハ現況ニ述ヘシ如ク將來耕地ノ擴張改良ヲ要スヘキ面積尙多ク且目下ノ趨勢ニ鑑ミ耕地事業ヲ獎勵シ以テ農家生活ノ安定ヲ圖リ農村ノ堅實ナル發展ヲ期セムトス 輒チ之カ具體的方針トシテ事業ノ獎勵及事務ノ指導監督ニ付從來採リ來レル方針ハ其實行ニ力トルト、モニ特ニ左ノ事項ハ極力實施ヲ圖ラムトス

(イ) 本縣多作ノ懸案タル大正用水事業ヲ實施シ東毛一帶數千町ニ渉ル旱害ヲ防クト、モニ一千餘町歩ノ開田ヲ行フコト

(ロ) 赤城、榛名、淺間等ノ山麓ニアル廣大ナル開墾見込地ニ對シテハ之カ利用調査ヲ進メ將來縣營若クハ國營事業トシテ多數ノ移住者ヲ招致シ以テ理想的新農村ヲ樹立セムトス

(ハ) 山間ニ於ケル耕地少キ地方ノ開發ヲ圖ランカ爲小規模ノ開墾ニ對シテハ相當補助ノ途ヲ開キ農家經濟ノ安定ヲ期セシメムトス

埼玉縣

現況並趨勢

一、用排水幹線改良事業

本縣下ニ於ケル用排水幹線改良事業ハ大正五年以降水利調査ヲ行ヒ此ノ結果ニ基キ既往ニ於ケル灌溉排水ノ被害ヲ除キ縣民福利ノ増進ヲ企圖スヘク首尾一貫セル計畫ヲ樹立シ爾來着々其ノ工ヲ進メ成績極メテ良好ニシテ之カ改良事業完成ノ曉ニハ積年ノ禍害其ノ跡ヲ絶チ能ク豫期ノ目的ヲ達スルモノト信ス今事業ノ概況ヲ列舉スレハ左ノ如シ

用排水幹線改良事業名	事業費總額	年度	割合
大落古利根川筋 用排水改良事業	一、九九九、四七三	至自昭大	至自昭大
元荒川筋同	四、五九六、九三九	至自昭大	至自昭大
芝川筋同	七八二、三五二	至自昭大	至自昭大
福川筋同	一、七二〇、九五九	至自昭大	至自昭大
大場川筋同	五一八、九七二	至自昭大	至自昭大
新方領堀同	六四八、一九二	至自昭大	至自昭大
埼玉縣		五九	

埼玉縣		六〇	
大里用水路同	一、四二四、〇三五	至自	昭和十二年
兒玉用水同	七二一、三七五	至自	昭和九年
羽生領用水路同	一、五九三、一三〇	至自	昭和九年
入間郡北部第一用水同	二八〇、六〇一	至自	昭和十三年
荒川左岸用排水同	七一〇、〇〇〇	至自	昭和十一年
北河邊領用水同	四四、二四三	至自	昭和十五年
入間郡北部第二用水同	九七〇、〇〇〇	至自	昭和十五年
會川用排水同	三一五、〇〇〇	至自	昭和十六年
計	一六、三二五、二七一	至自	昭和十六年

右表ニ示スカ如ク用排水幹線改良事業箇所數十四箇所ヲ算シ内

(イ) 事業ノ竣功セルモノ芝川筋用排水改良事業

(ロ) 事業進捗中ノモノ大落古利根川筋外七用排水改良事業

(ハ) 事業着手準備中ノモノ羽生領用排水外四用排水改良事業

等ニシテ之カ事業費總額費實ニ金千六百三十三萬圓餘ニ達シ年々ノ事業費支出額金百四十萬圓ヲ算ス而シテ之カ財政計畫トシテハ用排水幹線國庫補助金、縣費並關係水利組合又ハ地元町村等ノ負擔

金寄附金ヲ以テ充當スルノ計畫ニシテ目下夫々豫定ノ通り着々進捗中ニ屬ス尙縣下農業水利改善ノ極メテ緊要ナルモノアルヲ認メ新ニ左記用排水改良事業ヲ計畫シ昭和六年度ヨリ之カ實施スルコトトナレリ

用排水幹線改良事業名	事業費總額	年度	割	同上年數
會川用排水改良事業	三一五、〇〇〇 <small>円</small>	自昭和十六年	五箇	年
入間郡北部第二用水改良事業	九七〇、〇〇〇	自昭和十六年	八箇	年

以上ノ如ク本縣ニ於ケル用排水幹線改良事業ハ頗ル進捗セルノ現況ニアルモ尙農業水利ノ改良ヲ要スヘキ面積十二萬二千町歩ヲ算シ且ツ關係水利組合並關係町村ニ於ケル事業實施ノ希望極メテ熱烈ニシテ之カ實現ノ一日モ速ナランコトヲ希望スルヲ以テ本事業ノ前途洵ニ遼遠ノ狀況ニアリ

二、耕地整理事業

本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ明治三十四年其ノ端ヲ發シ爾來逐年其ノ發展ヲ見ルニ至レリ近時用水改良事業ノ進捗ト共ニ本事業ノ實施ヲ希望スルモノ年一年ニ増加シツ、アルハ農村振興上洵ニ欣フヘキ現象ナリトス今其ノ一班ヲ舉クレハ昭和五年十二月末日ニ於ケル耕地整理施行及耕地整理組合設立認可ヲ與ヘタル總面積二萬八千三百二十七町歩、地區數二百六十箇所ニシテ面積ニ於テ全國第十一位ニアリ工事ノ完了セル總面積二萬七百二十四町歩餘換地處分認可済ノ總面積一萬八千八百

便利少カラス豫期ノ成績ヲ收メツ、アリ

五、昭和六年度耕地關係豫算

開墾及耕地整理費

耕地整理補助費

耕地協會補助

開墾地移住獎勵補助

大落古利根川筋外一二用排水改良事業本年度支出額

合計

- 八九、八三〇圓
- 一九、六〇〇圓
- 七二〇圓
- 一六、六五〇圓
- 一、三七四、七二四圓
- 一、五〇一、五二四圓

將來ニ對スル指導獎勵方針

- 一、用排水幹線改良事業ニ關シテハ縣財政ノ許ス限リ實施シ以テ耕地改良ノ根本的解決ヲナサムトス
- 二、耕地整理事業ニ關シテハ基本調査、土地改良調査、旱害地救濟調査等繼續施行ノモノニアリテハ引續キ調査ヲナスハ勿論出來得ル限リ新規地區ノ調査ヲ實施セムトス
- 三、耕地整理工事費補助ニ付テハ縣經濟ヲ考察シ出來得ル限リ増額ヲナシ且特種工事ニ對シテハ一層補助率ヲ増加セムトス
- 四、耕地整理工事完了後ノ事務ニ關シテハ縣耕地協會ヲ督勵シ一層之カ指導ヲ加ヘ以テ事業ニ依リ得タル利益ヲ減損セサル様努メトス
- 五、耕地整理組合ノ財務ニ關シテハ一層周密ニ指導監督ヲナサムトス

- 六、水利組合ノ管理ニ關シテハ組合ノ狀況ニ鑑ミ一層適切ニ之ヲ管理シ且出來得ル限リ組合ニ於テ施行スル事業ニ對シテモ相當助成ノ途ヲ講セムトス
- 七、開墾用機械ニ關シテハ縣財政ノ許ス限リ一層機械ノ増加ヲ計リ尙將來ハ農業土木用諸機械ノ設置ヲナスト共ニ開墾機械管理所ノ充實ヲナサムトス
- 八、開墾事業獎勵ノ爲開墾機械實習會ノ開催ヲナシ事業ノ普及徹底ヲ期セムトス
- 九、耕地整理工事完了後ノ維持管理ニ關シテハ一層指導獎勵ヲ加ヘムトス

千葉縣

現況並趨勢 本縣ノ耕地擴張改良事業ハ耕地整理創始以來順調ニ普及發達シ昭和六年三月末現在ニ於ケル耕地整理施行地區ノ狀況左ノ如シ

區	別	地	區	數	面	積
工	事	中		二三九		一九、一九三
工	事	完		五二		三、三〇〇
換	地	交	分	九五		一一、八三六
事	業	完	了	三三		二、五六五
計				四一九		三六、八九四

而シテ本縣ノ地勢ハ南房總ヲ除クノ外ハ概ネ土地平坦ニシテ用水及排水共ニ不良ニシテ水田十萬五千餘町歩中惡水停滯地水田六萬二千四百餘町歩用水不足地水田二萬四千餘町歩ニ達シ其ノ生産力極メテ少ナク惡水地帯ニ在リテハ反當僅ニ一石五斗三升用水不足地帯ニ於テ一石七斗三升ニ過キス斯ノ如キ状態ナルニ鑑ミ耕地五百町歩以上ヲ支配スル地域ニ對シテハ大正十二年ヨリ排水幹線改良事業補助要項ニ基キ排水改良事業ヲ縣營ニ依リ根本的改善ヲ期スヘク既ニ縣下十大河川沿岸用排水幹線改良事業（此關係面積一萬四千八百八十四町歩事業費四百七十九萬五千八百五十圓）ヲ繼續事業トシテ縣會ノ議決ヲ經目下五河川沿岸改良地區事業ニ對シテハ政府ノ補助ヲ受ケ實施中ニ屬スル外用水源並用水幹線改良事業地區トシテ二箇所（此關係面積三千三百六十五町歩事業費百二十九萬八千圓）及用水並排水幹線改良事業地區（此關係面積千三百五十二町歩事業費三十八萬圓）ノ繼續事業ハ縣會ノ議決ヲ經是亦政府ノ補助ヲ受ケ夫々事業ヲ開始セントシツ、アルノ外繼續事業地區中ニ屬スル五河川沿岸改良事業ニ對シテハ着々實施ノ準備中ニアリ而シテ小地域ニ對スル耕地擴張改良就中用水不足地帯ニ在リテハ用水源設備ノ改良ヲ先決ノ目的トシテ特ニ工費ノ四分ノ一以內ノ補助金ヲ增加交付シ之カ收善ノ促進ヲ期シツ、アリト雖モ輓近世界の經濟不況ハ惹テ農村經濟ニ至大ノ影響ヲ與ヘ斯業ノ改善發達ヲ阻止スルコト尠ナカラサルハ甚タ遺憾トスル所ナリシカ今回政府ヨリ農山漁村失業救濟事業資金トシテ耕地擴張改良事業資金八十三萬四千圓ノ配當ヲ受ケタルヲ以テ之カ救濟施設事業ト相俟テ排水改良事業タル農村百年ノ大計ニ對シ豫期以上ノ進展ヲ期シツ、アリ

開墾事業ニ在リテハ其ノ見込地六萬三千八百餘町歩ヲ算スト雖モ開田ニ屬スル適地ハ概ネ千拓或ハ

埋立ニ依ルヘキ大規模開墾ニシテ一般的組合事業トシテ企畫經營容易ナラサルヲ以テ國營事業ノ實施ヲ要望シテ止マサル所ナリ其他小規模ノ開墾事業ハ歸農者増加ノ趨勢ニ鑑ミ獎勵大ニ努メタリト雖モ現時不況ノ大勢ト共ニ助成指令下附セラレサル結果事業ノ進展ヲ期スル事ヲ得サルハ誠ニ遺憾トスル所ナリ昭和六年三月末日現在ニ於ケル開墾助成地區ノ狀況次ノ如シ

開墾助成終了地區	地	區	面積
同上	助成	中地	區
計			
			七九
			二九
			一〇八
			一、二三三町
			九〇七
			二、一四〇

又小規模ノ排水事業タル暗渠排水事業ハ一萬町歩以上ヲ算スルヲ以テ技術的指導監督並工事費補助ノ途ヲ設ケ斯業ノ普及發達ヲ期シツ、アリト雖モ當業者ノ負擔過重ナルト不況ノ影響ヲ受ケ事業ノ進展亦容易ナラス

將來ニ對スル指導獎勵方針 農業水利改良計畫トシテハ海上、香取、匝瑳三郡ニ跨ル利根川導水計畫關係面積一萬町歩ハ目下農林省ノ調査中ニ屬スルヲ以テ其調査完了ヲ俟テ獎勵ニカムヘク其他五百町歩以上ニ屬スルモノ一萬町歩ニ對シテハ目下夫々調査中ニ屬スルヲ以テ順次用排水幹線改良事業補助要項ニ基キ縣營農業水利改良事業ノ實施ヲ期セントス而シテ耕地五百町歩以下ノ耕地改良事業ニ對シテハ用排水幹線改良事業ノ完成ニ伴ヒ支派線用排水路ノ改良ト相俟テ耕地ノ改良ヲ計ルヘク用水不足

地帯ニ對シテハ水源設備改善ヲ主眼トシ耕地ノ利用増進ヲ期スル計畫ヲ確立シ事業ノ實行ニ關シテハ指導監督ヲ勵行シ事業ノ適確ト經濟ヲ期スルハ勿論尙事業資金運用ノ圓滑ヲ圖リ事業費ノ負擔輕減ヲ圖ルヘク事業完了地區ニ對シテハ完了事務ノ敏活促進ヲ促シ事業ノ經營ヲシテ容易ナラシムルノ方針ヲ採リ以テ益々斯業ノ發展助長ニ努メ以テ一面失業救済ノ實ヲ舉クルト共ニ現下キ詰マレル農村ノ振興ヲ期セント欲ス

東京府

現況並趨勢

耕地擴張 本府ニ於ケル開墾助成事業ハ比較的不振ニシテ地區數僅ニ二十五箇所面積三百五十七町歩内六箇所面積四十六町歩ハ未タ開墾助成ノ指令ヲ受クルニ至ラサル現況ニアリ然シテ事業ハ殆ト山林原野ノ開畑ヲ目的トシ小笠原島ニ於ケル地區ハ全部製糖會社ノ經營ニ係リ甘蔗栽培ヲ主トセリ今府下ニ於ケル斯業ノ概要ヲ示セハ次ノ如シ

所 在	助成出願ノモノ		同工事中ノモノ		助成指令未済ノモノ	
	地區數	開畑面積	地區數	開畑面積	地區數	開畑面積
小笠原島	七	二五三町	七	二五三町	一	一
伊豆大島	二	二三	一	一三	一	一〇

在 郡	計		南 多 摩 郡		計	
	地區數	開畑面積	地區數	開畑面積	地區數	開畑面積
南 多 摩 郡	一五	三五七	一	四五	一	三五
計	一五	三五七	一	四五	一	三五

府下ニ於ケル耕地擴張見込地ノ内島嶼部即チ伊豆大島及八丈島等ハ從來漁業ヲ主トシ農業ハ副業程度ニ止マリシ爲土地ノ利用不充分ニシテ適當ナル耕地擴張候補地アルモ之ヲ願ルモノナカリシカ近時島民ノ自覺ニヨリ農業ヲ專業トシ耕地擴張ヲ企畫スルモノアルニ至リ既ニ本年度ニ於テ大島ニ一箇所開墾助成ヲ出願シ尙目下大島ニ二箇所及八丈島ニ一箇所設計中ニシテ不日出願ヲ見ルニ至ル外尙將來相當企畫セラルヘキ見込ナルモ開墾助成法改正以來出願ニ係ルモノハ助成承認指令ノ遅延スル爲企業ヲ躊躇スル傾向アリ現ニ南多摩郡ニ於ケル三箇所ハ助成願書ノ取下ケヲナサムトスルモノアル趨勢ニアリ

耕地改良 本府ニ於ケル耕地改良事業ハ主トシテ道水路變更、地目變換（田ヲ畑ニ變換）及區劃形質ノ改良ヲ目的トスルモノニシテ特種事業ト認ムヘキモノナキモ昭和六年度ニ於テハ目下農林省ニ打合せ中ノ南葛飾郡金町外八箇町村用排水幹線改良事業ヲ實施ノ豫定ナリ今府下ニ於ケル耕地整理事業ノ概況ヲ示セハ次ノ如シ

分布地方	種別		施行又は組合設立認可シタルモノ		組合解散又は事業完了ノモノ		換地處分ヲ認可シタルモノ		工事未完了ノモノ	
	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
東京市附近 (荏原、豊多摩、北豊島)	九三	五、八四五	三一	七五四	五二	一、八三七	六	九三四		
府下東部地方 (南足立、南葛飾)	四二	一、九一九	六	二四五	二一	六五三	五	一一一		
府下多摩地方 (北、南、西多摩)	一一二	三六〇	一	一四	二	七八	九	一八〇		
島嶼部、大島、八丈島	三	四〇					三	四〇		
計	一五〇	八、一六四	三八	一、〇一三	七五	二、五六八	二三	一、二六五		

農家經濟ノ不況ニ原因シ耕地整理事業モ亦一般ニ不振沈滞ヲ來シ從テ新事業ヲ企畫セムトスルモノ
尠ナキ趨勢ニアリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 耕地擴張ハ農家經濟ノ不況ニ原因シ實施困難ノ状態ニアルヲ以テ地元農
業勞力ノ剩餘ヲ考察シ比較的小規模ノ耕地擴張ヲ獎勵シ特ニ島嶼部ニ於ケル開墾適地ニ向テ一層指導
獎勵ヲ加ヘムトス

耕地改良事業ハ現況趨勢ニ於テ述ヘタル如ク一般ニ不振ノ状態ニアルモ反面勞働賃金ノ低下ニヨリ
事業ヲ有利ニ施行シ得ルヲ以テ既成地區ニ對シ工事進捗ヲ督勵スルト共ニ工事完了後ノ事務指導ニ力
ヲ注キ一面南、北、西多摩郡方面ノ耕地改良主トシテ暗渠排水事業ニ向テ指導獎勵ヲ加ヘムトス

神奈川縣

現況並趨勢

一、耕地擴張

近時市街地ノ膨脹、鐵道軌道等ノ著シク發達セル爲耕地ノ潰廢スルモノ多ク之ヲ放任スルニ於テハ
年々耕地面積減少スルノ傾向アリ然ルニ本縣内ニ於ケル山林、原野等ノ開墾ニ依リテ耕地ノ擴張シ
得ヘキ餘地尠カラサルモノアルニ拘ラス從來開墾事業ヲ施行セルモノ甚々僅少ナリ尤モ災害復舊事
業ニシテ開墾助成法ニ依リ施行セルモノ相當多數存在スルモ該事業ハ既ニ工事ヲ終了シ助成金ノ交
付ハ本年度ヲ以テ終焉ヲ告クルノ状態ナルヲ以テ縣ハ開墾適地ト認ムルモノヲ選定シ調査施設ヲ行
ヒ事業計畫ヲ樹立シ獎勵ニ努メツ、アル際偶一昨年開墾助成法改正セラレタルヲ以テ之カ恩典ニ浴
サントシテ開墾事業熱漸ク加ハラントシタルモ昨今指令交付ヲ受クルモノ極メテ稀ナルト共ニ指令
前ノ工事ヲ差止メラレタル結果折角機運ニ向ヒタル該事業ニ對シ大ナル支障ヲ來シ熱望セル企業者
ヲシテ啞然タラシムルノ情況ニ在ルノミナラス將ニ開墾ヲ行ハントスル者モ之カ企業ニ躊躇スルニ
至リタルハ事業獎勵上甚々遺憾トス然レトモ出願後直ニ指令アルカ又ハ指令前ノ工事開始ヲ承認セ
ラル、ニ於テハ從來養蠶業ヲ主業トセル地方ハ事業不振ノ爲困窮セルヲ以テ食糧自給ノ爲開墾セン
トスルモノ漸次増加セントスルノ趨勢ニアリ

二、耕地改良事業

本縣耕地改良事業ハ年ニ依リ幾分消長アルモ大體ニ於テ近年順調ニ發達シツ、アリ
今最近ニ於テ施行セラレツ、アル主ナル事業ノ種類ニ之ヲ述フレハ次ノ如シ

(一) 泥混田ノ暗渠排水工事、高座郡ヲ中心トシテ各郡ニ散在シ其面積數千町歩ノ見込地アリ由來
本縣内ニ於テ暗渠排水工事ノ施行セラレタル箇所極メテ少キモ此ノ種工事ノ利益多キハ既往ノ實
績ニ依リ明ナル所ナルヲ以テ一昨年來本工事ノ獎勵ヲ加ヘタル結果其施行ヲ試ントスルモノ數箇
所ニ現レ昨年來施行シタル工事ノ成績極メテ優良ナルヲ以テ今後此種工事ノ發起ヲナスモノ續出
セントスル傾向アリ

(二) 溜池ノ増築、新設、三浦郡ハ地勢上水源ニ乏シク郡内水田約二千町歩ノ大部分ハ天水田ニシ
テ其他ハ僅ニ不完全ナル溜池又ハ細流ニ依リテ灌漑シ來リタルヲ以テ降雨極メテ適順ナル年柄以
外殆ト毎年旱害ヲ蒙ラサルコトナク普通ノ年柄ニ於テモ二三割ノ減收ヲ見ルノ狀況ナリ之カ爲同
郡ノ溜池ノ増築、新設ハ數年來ノ懸案タリシカ偶一昨年古來稀有ノ旱魃ニ遭遇シテ收穫皆無ノモ
ノ全土ノ三分ノ一又五割以上ノモノ三分ノ一、其他モ殆ト損害ヲ見サルモノナキニ到リタルヲ以
テ玆ニ溜池ノ増築、新設ノ機運漸ク到來シ昨年秋季以來耕地整理組合ヲ設立シテ目下工事ヲ施行
シツ、アルモノ二十數箇所ニ及ヒ今後尙施行セントスルモノ多數ニ及フ情勢ナリ

三、豆相震災被害耕地復舊事業

關東大震災ニ因ル耕地ノ復舊事業ハ今日迄約八箇年ヲ經テ漸ク本年度ヲ以テ終結セントスル際亦々
昨年十一月突如トシテ襲來セル震災ハ伊豆ヲ中心トシテ相州ノ一部即チ足柄下郡ノ大部及足柄上郡

ノ一小部ニ及ヒタリ今回ノ地震ニ依リ本縣内ニ於テ被害ノ最モ甚タシカリシハ箱根芦ノ湖畔ニ位ス
ル箱根町芦ノ湯村ナルモ是等町村ハ耕地少ク寧ロ耕地ノ被害トシテハ一般震災ノ激烈ナラサル地方
即チ足柄下郡、足柄上郡、兩村十九箇町村ニ亘リ六百五十町歩ノ被害ヲ見タリ其主ナルモノハ柑橘
園五百七十町歩ノ畦畔石垣ノ崩壞ニシテ其柑橘園ノ大部ハ足柄下郡湯ケ原町ヨリ吉濱村、眞鶴町、
片浦村ヲ經テ小田原町ニ達スル海岸一帶ノ急傾斜地ニシテ高サ四 五尺ヨリ十數尺ニ達スル粗造ノ
石垣ヲ築タル階段狀ノ畑地ナリ其ノ被害ノ程度ハ湯ケ原町、吉濱村最モ烈シク眞鶴町ヨリ以北小田
原町ニ向フニ從テ漸ク輕微ナリ其他ハ水田ノ被害ナルモ局部的損害ナリ

是カ復舊計畫ハ震災後直ニ縣及農林省ニ於テ被害箇所及其ノ程度ヲ調査シテ復舊計畫ヲ樹立セルカ
其復舊費約三十萬圓ヲ要シ今後滿二箇年間ニ復舊セシムル豫定ニテ目下工事著手準備中ニ屬ス

四、農業水利改良事業

縣管排水改良事業ハ小出川沿岸、目久尻川沿岸ノ二地區ハ既ニ工事竣功シ玉川沿岸及酒匂川沿岸
兩地區ハ本年度ヲ以テ工事終了ノ見込ニシテ相模川左岸ノ地區ハ今年度ヨリ工事著手ノ運ヒニ至レ
リ尙事業開始ニ至ラサル面積ノ數地區ニ對シテ其開始ノ速進ニ努力中ナルモ一般財界不振ノ爲ト
國庫補助ヲ受クルニ容易ナラサル爲事業意ノ如ク開始ニ到ラサルヲ遺憾トス

認可地區數面積及事業費

地區數	面積	積	事業費
三三七		二一、二〇七 ^町	一五、四六四、四三六 ^円

事業進捗別地區數面積

工事完了セルモノ	地	面積	積
換地處分済ノモノ	區	數	面積
事業終了セルモノ			
		一三四	六、六三二 ^町
		一一八	五、四七九
		三七	一、一九八

開墾助成願

地區數	開田面積	開畑面積	合計	事業費	摘要
普通助成地區 震災助成地區 計	二〇 九四 一一四	一三九 ^町 三、三二一 三、四六〇	一二四 ^町 二、六六五 二、七八九	二六三 ^町 五、九八六、八〇一、一七一 六、二四九七、六〇三、二七二	八〇二、一〇二 ^町 (内指令済一三 外二一地區震災ニ因リ書願燒失不明 事實ニ於テ事業廢止)

移住獎勵金交付

地區數	面積	戶數	獎勵金	摘要
普通助成地區 震災助成地區 計	四 一九 二三	一〇八 ^町 一、五三二 一、六四〇	三五 ^戸 一九六 二三一	六、八〇〇 ^町 三九、二〇〇 四六、〇〇〇

獎勵金ハ震災前二戸ニ對シ二〇〇〇圓交付其他ハ全部一戸當 二〇〇〇圓

用排水幹線改良事業現況

地區數	面積	積	事業費
五		九、七〇〇 ^町	三、〇九四、〇〇〇 ^円

用排水幹線改良事業豫定

地區數	面積	積	事業費
多摩川右岸 酒匂川左岸 引地川沿岸		六、〇〇〇 ^町 一、〇〇〇 七五〇	一、五〇〇、〇〇〇 ^円 六五〇、〇〇〇 未定

將來ニ對スル指導獎勵方針

一、企業獎勵ニ關スルモノ

(一) 縣下ノ灌溉排水ニ關スル調査ヲ行フコト

(二) 大面積ヲ支配スル幹線水路ノ改良ハ縣營ヲ以テ施行スルコト

二、事業資金ニ關スルモノ

(一) 特種ノ耕地整理組合ヲシテ債券ヲ發行セシムルコト

(二) 大正十二年ノ震災復舊工事ハ成功セルモ債務ニ苦メル地區尠カラス依テ之等ノ地區ニシテハ償還計畫ヲ樹テ其ノ實行ヲ督勵スルコト

三、完了事務ニ關スルモノ

完了事務ヲ指導スル爲職員ヲ縣ニ増置セントスルモ目下ノ縣財政ハ之ヲ許サ、ルヲ以テ專ラ縣耕地協會ヲ利用セシムルコト、シ委託ノ方法ニ依リ之カ促進ヲ圖リツ、アリ

四、開墾事業ニ關スルモノ

(一) 開墾ニ關スル水利調査ヲ行フコト

(二) 相模原國營開墾ノ實現ニ向テ努力スルコト

新潟縣

現況 耕地擴張事業中開墾、地目變換荒地復舊等ハ耕地整理事業トシテ施行セラル、モノ多ク又耕地改良事業ト併施セラル、モノ尠カラサルモ小規模ノ開墾開田等ハ從來主トシテ地租條例ニ依リ施行

セラレ河川ノ高水敷等ニシテ現況原野ノ状態ニアルモノハ占用ノ許可ヲ受ケ耕作地トシテ使用セラル、モノ尠カラス而シテ本縣土地利用ノ狀況ヲ見ルニ民有地總面積五十六萬五千五百餘町步中既耕地ハ二十四萬九千餘町步ニシテ將來耕地トシテ開發シ得ヘキ未墾地ハ約五萬六千八百餘町步ナリトス耕地改良事業即チ既耕地ノ排水、灌溉ノ設備ノ改善水害ノ復舊及之等ニ伴フ區劃ノ整理等ハ明治三十四年始メテ獎勵ニ着手以來年ト共ニ漸次進展シ認可面積全國ノ首位ニ在リト雖猶今後改良ヲ要スル見込面積十三萬八千三百餘町步ニシテ内灌溉水ノ不足セルモノ二萬八千六百餘町步平時排水不良ナルモノ九千五百餘町步洪水ノ場合一時ノ浸水ノ被害アルモノ一萬七百餘町步ハ本縣産米改良上急速改善ヲ要スルモノニ屬シ其ノ他ハ農業經營上區劃ノ整理及諸般設備ノ改良ヲ必要トスルモノニシテ斯業ノ前途ハ未タ遠達ナリトス今耕地改良擴張事業ノ主ナルモノニ付現況ヲ示セハ左ノ如シ

一、耕地整理事業

明治三十三年一月耕地整理法施行以來昭和六年四月末迄ニ認可セラレタル地區數五百七十一ヶ所面積五萬九千九百九十六町步整理費用豫算二千六百七十七萬二千八百五十九圓ニ達シ内工事完了ノ届出ヲ爲シタルモノ四百四十四ヶ所三萬五千五百四十四町步換地處分認可済ノモノ四百二十三ヶ所三萬七千八百四十四町步事業終了シタルモノ三百十八ヶ所二萬五千五百七十三町步ナリ

二、開墾助成事業

大正八年六月開墾助成法施行以來昭和六年四月末迄ニ助成ノ承認指令ヲ受ケタルモノ八十六ヶ所耕地擴張面積二千八百餘町步事業費豫算五百十六萬六千二百餘圓ニシテ内耕地整理法ニ依ルモノ八十

一ヶ所二千七百餘町步其ノ他ノモノ五ヶ所六十餘町步ナリ
三、用排水幹線改良事業

用排水改良事業補助要項ニ依リ國庫補助ヲ受ケ縣營ヲ以テ施行スルニ至リタルモノハ大正十三年度以降昭和五年度迄ニ左記五ヶ所ニシテ右ノ外目下補助申請協議中ノモノハ昭和六年度ヨリ四ヶ年繼續事業トシテ施行スルコトニ既ニ縣會ノ協賛ヲ經タル神納郷用水改良事業ニシテ豫算總額四十一萬圓受益面積八百九十餘町步ナリ

事業ノ名稱	受益面積	事業費 豫算高	財		源	摘要
			國庫補助	地元寄附		
白根郷用水改良事業	五、三三六	五三、六〇〇	二二〇、〇〇〇	三三、七九三	八、八〇七	昭和三年度事業終了
中之島村用排水改良事業	一、八〇三	八八、五五七	二八六、五〇〇	五〇、六〇〇	六、四五六	昭和六年度事業終了ノ豫定
山東郷用水改良事業	一、八九〇	六六、一六〇	二四五、四四五	三六三、三五五	七、〇〇〇	昭和七年度事業終了ノ豫定
白根郷用排水改良事業	三、七一一	九〇八、一四四	三六五、七五五	四七、七三三	七、八三六	同
味方郷用排水改良事業	一、九二二	六六、四〇〇	二六〇、一七五	三六六、八二〇	五、〇四五	昭和九年度事業終了ノ豫定
計	一六、六四三	三六五、〇六〇	一、四七六、九五五	一、九一三、一〇一	三二、六六四	

四、耕地整理及土地改良費補助

耕地整理及土地改良事業獎勵ノ爲明治四十年年度ヨリ昭和五年度迄ニ交付シタル補助金總額ハ百三十八萬四千九百九十六圓ニシテ昭和六年度ニ於テハ一般緊縮方針ニ基キ普通工事費補助ハ前年度ニ比シ

二割減額シタルモ大規模開田地區ノ主要幹線水路費及特別開墾助成地區ニ對シテハ前年度同様交付スルコト、シ豫算三萬七千九百六十圓ヲ計上セリ

五、開墾地移住獎勵補助

開墾地移住獎勵ノ爲大正十年年度ヨリ昭和五年度迄ニ移住家屋ノ建築ニ對シ獎勵金ヲ交付シタルモノ百十八戸其ノ金額二萬四千七百二十圓ニシテ昭和六年度ニ於テハ十戸分三千二百五十圓ヲ計上セリ其ノ他事業獎勵指導ノ爲施行豫定地ノ調査、測量設計ノ補助、工事ノ指導監督、事務ノ助成指導等ヲ行ヒ一面縣耕地協會ト連絡ヲ取り講習會、講話會等ヲ開催シ或ハ印刷物ヲ配布スル等昭和六年度ニ於テハ此等ノ設備費七萬八千二百九十九圓ヲ計上セリ

趨勢 耕地ノ擴張改良事業ハ一般經濟界ノ不況特ニ米價ノ暴落ニ依リ農村ノ經濟ヲ深刻ニ逼迫セシメタルト事業資金ノ梗塞ニ依リ一時新規事業ヲ計畫スルモノ減少スル傾向アリシカ政府ニ於テ失業救濟農山漁村臨時對策低利資金ヲ融通ノコトニ決定セラレタルト現今ノ如キ諸物價低落ノ時期ニ於テ工事を施行スルトキハ企業者ノ負擔ヲ輕減シ一面農業勞働者ノ失業ヲ救濟シ農村振興ノ所以タルコトヲ自覺スルニ至リ中蒲原郡五泉耕地整理組合面積八百四十三町步縣營山東郷用水改良區域ニ屬スル三島、古志二郡ノ七箇耕地整理組合二千四百六十町步、縣營白根郷用水改良區域ニ屬スル白根郷耕地整理組合五千七百七十三町步ヲ始トシ其ノ他右資金ヲ借入レ事業ヲ進行セムトスル普通耕地整理頗ル多ク小開墾、水害復舊、小設備ノ改良新設其ノ他ノ事業ニ對スル借入申請モ亦何レモ配當額以上ニ達シ小開墾、小設備ノ改良新設及小用排水改良事業ノ如キハ漸ク申請額ノ二、三割ヲ供給シ得ルニ過キサ

ル狀況ニ在リ開墾助成金ノ交付ヲ受ケムトスル耕地擴張事業ハ目下組合設立認可申請中ノ南魚沼郡六日町外二箇村五百町歩ヲ始メ相當出願者アルモ助成指令前事業ノ開始ヲ認メラレサルト日本勸業銀行ニ於テハ普通ノ場合指令後ニ非レハ資金ノ貸出ヲ爲サル取扱ナルヲ以テ事業ヲ進捗スルコト能ハサルニ依リ其ノ出願ヲ取消シ失業救済ノ資金ヲ借入レ施行セムトスルモノ尠カラス

次ニ蒲原平野ノ耕地中ニハ水腐地頗ル多ク之カ改良費ハ比較的輕少ナルニ拘ラス其ノ效果極メテ顯著ナルモノアルヲ以テ近時水利組合其ノ他ノ團體ニ於テ惡水排除ノ設備改善ヲ行フモノ又信濃川河狀整理、阿賀野川改修等ニ依リ其ノ沿岸地ヲ占用ノ許可ヲ受ケ耕作地ニ利用スルモノ著シク増加スルニ至レリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 將來ニ於テモ尙大體從來ノ方針ヲ踏襲シ左記ノ通指導獎勵ニ努メ事業進展上萬遺憾ナキヲ期セムトス

- 一、事業施行豫定地調査
耕地整理法ニ依リ耕地ノ改良擴張事業ヲ行フモノ及土地ノ農業上ノ利用増進ヲ目的トシテ灌溉排水ノ設備工事ヲ施行スル豫定地ノ調査ヲ爲スコト
- 二、測量設計及工事ノ指導監督
耕地整理及土地改良施行者ニ對シ設計書ヲ下附シ工事ノ指導監督ヲ爲スコト
- 三、補助金交付
耕地整理及土地改良事業ノ特種工事、大規模開墾開田事業ノ幹線水路及經營困難ナル開墾助成地區

ニ對シ補助金ヲ交付スルコト

- 四、事務指導及助成
耕地整理ニ關スル諸般ノ事務及開墾助成出願其ノ他ノ手續ヲ指導シ耕地整理工事完了後ニ於ケル事務ヲ助成スルコト
- 五、開墾地移住獎勵
開墾地移住獎勵ノ爲移住家屋及共同建造物ヲ建築スルモノニ對シ補助金ヲ交付スルコト
- 六、用排水幹線改良事業ノ縣營
縣下耕地ノ現況ニ鑑ミ用排水設備ノ改善ニ努メ政府所定ノ用排水改良補助要項ニ該當スルモノハ縣營トシテ施行スルコト
- 七、湛水地調査
中蒲原郡龜田郷一町七箇村耕地面積約六千町歩ハ縣下有數ノ湛水地ニシテ各町村毎ニ多數ノ水利組合ヲ組織シ各自揚水機ヲ設置シ惡水排除ニ腐心シツ、アルモ多額ノ經費ヲ要スル割合ニ效果見ルヘキモノナキノミナラス何レモ相當年限ヲ經過シ改造ノ時期切迫セルモノ多キヲ以テ主務省技術官援助ノ下ニ排水改良ノ根本計畫ヲ樹テ實施ヲ獎勵スルコト

富山縣

現況並趨勢

一、耕地ノ擴張

本縣ニ於ケル耕地擴張豫定面積ハ一萬一千九百三十二町歩ニシテ内五町歩以上集團セルモノハ三百一十箇所五千九百八十二町七反歩ニ上リ大正八年六月開墾助成法實施以來助成ノ出願ヲナシタルモノ七十八地區千三百四十九町八反歩ニシテ既ニ開墾竣成シタルモノ開田七百四十三町八反歩開畑六十一町〇反歩計八百〇四町八反歩ニ達シ其他ハ着々事業ノ進捗中ニアリ而シテ開墾助成出願地區ニシテ未タ助成ノ指令ニ接セサルモノ相當アリ之等ハ何レモ工事着手ヲ熱望シ居レル状態ニシテ其ノ運ヒニ至ラサルハ遺憾トスル所ナリ斯クテ之カ利用増進上開墾地移住獎勵ノ必要ヲ認メ大正十年二月縣令第七號ヲ以テ開墾地移住獎勵規程ヲ制定シ建坪二十坪以上ニシテ建築費一千圓以上（昭和三年度迄ハ八百圓以上）ノモノニ對シ一戸四百圓以内ノ獎勵金ヲ交付スル途ヲ開キ移住家屋ノ建設ヲ獎勵シ既ニ獎勵金ノ交付ヲ得テ家屋ノ建築ヲナシ移住シタルモノ百二十一戸ニ上リ尙今後開墾事業ノ増進ト共ニ本規程ニ依リ獎勵金ノ交付ヲ得テ其ノ利用ヲ圖ラムトスルモノ益々多キヲ加フル趨勢ニアリ

二、耕地整理

本縣耕地整理見込面積ハ七萬五千四百五十七町一反歩ニシテ既ニ耕地整理ノ施行認可ヲ得タルモノ五百四十九地區二萬四百六十一町歩（昭和六年三月末日現在）ニシテ内工事ノ完了シタルモノ百四十地區三千七百七十三町歩換地處分濟百十三地區三千三百十八町歩事業ノ終了シタルモノ六十五地區千七百五十町歩ニ上レリ

而シテ之カ獎勵ニ關シテハ明治四十三年九月縣令第五十一號耕地整理獎勵規程ニ依リ測量設計ノ補助事務ノ指導工事ノ指導監督補助金ノ交付等ヲ行ヒ着々其ノ勵行ニ努メツ、アルモ近年米價ノ低落等農村財力ノ疲弊ハ新規企業ヲ阻止シ獎勵上困難尠カラズ

三、旱害地耕地整理

大正十五年ノ旱魃ニヨリテ旱害ヲ蒙リタルモノ一萬一千四百十六町四反歩ニ上リ之カ救済ノ緊要ナルヲ認メ特ニ旱害地耕地整理事業費補助規程ヲ制定シ溜池ノ築造修理ヲ促シ灌溉設備ノ新設改良ヲ策シタル處之ニヨリテ水路ノ改良二四、溜池ノ新設及改良三五五、堰新設改築五、揚水機新設六、水閘新設改築六、横井戸掘鑿四ノ改善ヲ見ルコト、ナリ今ヤ大部分ノ竣成ヲ告ケ何レモ其ノ惠澤ニ浴シツ、アリ

然ルニ昭和四年六七八ノ三箇月ニ亘ル大旱魃ハ大正十五年ノ旱害ニ讓ラサルモノニシテ曩ニ救済策ヲ樹テ、施設ヲ了シタルモノハ其ノ難ヲ免レタルモ尙一町歩以上ノ集團被害町村六十五面積六千七百餘町歩産米減收見積額四萬一千八百餘石ニ上リ之カ救済ハ刻下ノ急務ナリト認メ昭和五年度ヨリ直ニ旱害地耕地整理獎勵費ヲ計上シ臨時職員ヲ特設シテ調査設計及工事指導ノ衝ニ當ラシメ昭和六年度ヨリ旱害地耕地整理補助金豫算ヲ計上シテ工事ニ對シ補助金ノ交付ヲ行ヒテ其ノ竣成ヲ助成シツ、アリ而シテ本事業ハ昭和八年度ヲ以テ終了ノ豫定ナリトス

四、失業救済事業耕地整理及資金ノ償還

米價下落農村不況ノ影響ヲ受ケテ耕地整理事業ノ新規計畫ハ殆ント停頓ノ状態ナルモ昨秋失業救済

農山漁村臨時對策低利資金ノ供給ヲ見ルヤ農村ノ窮乏救濟ト刻下事業費ノ著シキ低落セルヲ機會トシテ事業ヲ企畫スヘシトノ議各所ニ興リ道水路ノ改良新設、溜池ノ修築、小規模開墾其ノ他暗渠排水等相當事業ノ勃興ヲ見農村福利ノ増進ニ相當貢獻ヲ致セリ

尙從來起債ニヨリテ事業ヲ施行シタル地區ニ於テハ米價慘落ノ影響ヲ受ケテ其ノ償還財源タル收益差額金ノ減少ト分賦金ノ徵收至難ニヨリテ其ノ償還頗ル困難ニ陥リ之カ對策ニ苦慮シツ、アリ

五、用排水改良

本縣水田灌溉面積八萬四百二十八町步(免租年期地ヲ除ク)ノ内用水不足ナルモノ七千七百六十九町步アリ又平時ニ於テ排水不良ナルモノ一萬二千三百三十八町步洪水時ニ浸水被害アルモノ一萬一千八百五十六町步計二萬二千餘町步ノ排水不良地アリ之カ改良ハ本縣農業政策上最モ緊要ニ屬ス而シテ大正十二年度ヨリ政府ハ五百町步以上ノ用排水改良事業ヲ縣營ニテ施行スル場合其事業費ノ半額ヲ補助スル途ヲ開カレタルカ本縣ニ於テハ此種ノ事業ハ最モ多ク當業者ニ於テモ之カ實現ヲ熱望シ既ニ事業完成セルモノハ上新川郡廣田用水補給水路開墾事業ニシテ大正十二、三兩年度ニ於テ經費二十五萬七千圓ヲ以テ施行シ三千八百五十間ノ新水路ヲ開墾シ平時百立方尺ヲ通水ヒシメ千四百町步ヲ灌溉シ其ノ成績寔ニ良好ナリトス

次ニ射水郡庄東耕地整理區域ノ排水事業ニ對シテハ大正十五年度ニ到リ事業費百三十一萬圓ニ對シ半額補助金交付ノ指令ヲ得テ事業ニ着手シ今ヤ幹線ノ改修、放生津瀉防波堤修築、排水機ノ設置等頗ル進捗ノ域ニ達セリ又黒部川用水合口事業費二百四十五萬二千三百三十圓ニ對シテハ昭和二年度

ニ於テ國庫補助金交付ノ指令ヲ得テ事業ニ着手シ既ニ幹線水路、取入堰等ノ工作物大部分竣成ノ域ニ達セリ尙庄川用水合口事業費二百八十七萬一千三百三十圓ニ對シテハ昭和二年度ニ於テ佛生寺川沿岸排水事業費五十萬圓銀治川沿岸排水事業費五十八萬五千圓ニ對シテハ昭和三年度ニ於テ小矢部川沿岸用水補給事業費三十五萬圓ニ對シテハ昭和四年度ニ各國庫補助金交付ノ承認ヲ得テ目下夫々縣營事業トシテ施行中又ハ施行ノ準備中ニアリ又神通川用水合口事業費三十二萬圓ニ對シテハ國庫補助金交付申請ノ手續中ニアリ其他縣内大小用排水路ノ改良ヲ要スヘキモノニ付テハ目下調査計畫中ニ屬ス

六、昭和六年度耕地關係豫算

縣職員費	五二、五六一
旱害地耕地整理獎勵費	二五、六三四
耕地整理補助費	二〇、〇〇〇
旱害地耕地整理補助費	二〇、〇〇〇
開墾地移住家屋建設獎勵費	二、〇〇〇
下條川沿岸排水事業費本年度支出額	六五三、五九三
庄川用水合口事業費本年度支出額	六九七、三八〇
黒部川用水合口事業費本年度支出額	一、五六六、五五〇
佛生寺川沿岸排水事業費本年度支出額	二二九、五七〇
同	同
前年度繰越ヲ含ム	

鍛冶川沿岸排水事業費本年度支出額 一一六、六五〇 同
 小矢部川沿岸用水補給事業費本年度支出額 八六、七四二 同
 神通川用水合口事業費本年度支出額 五四、〇〇〇 同

合 計 三、五二四、六八〇

七、耕地關係職員 昭和六年四月一日現在定員

耕地整理	用排水改良	計
農林主事	一	一
農林技師	四	七
屬	一	一
農林主事補	五	一〇
農林技手	二二	二〇
耕地整理技手補	二二	一八
耕地整理助手	六	一
計	六三	五五

將來ニ對スル指導獎勵方針 農閑ノ時期ヲ利用シテ整理見込地ニ於テ講話會、協議會等ヲ開催セシメ吏員ヲ派遣シテ説明獎勵ヲ行ヒ施行セントスルモノニ對シテハ測量設計ノ助成並事務ノ指導ヲナシ且工事施工ニ際シテハ工事ノ指導監督ハ勿論拔根機、輕便鐵軌等ノ貸與ニヨリテ事業費ノ輕減ニ資シ尙

補助金ノ交付ニヨリテ事業ノ經營ヲ容易ナラシメムトス殊ニ旱害地救濟耕地整理ノ如キ急ヲ要スルモノニ對シテハ特ニ其ノ進捗ヲ圖ラシメムトス
 又開墾ニ關シテハ前記ノ獎勵ノ他五町歩以上集團ノモノニ對シテハ開墾助成法ノ特典ニ浴セシメ其事業ヲ容易ナラシムル様指導ヲ加ヘ尙開墾地ノ利用ヲ完カラシメムカ爲獎勵金ヲ交付シテ開墾地移住家屋ノ建設並ニ共同利用ノ設備ヲ獎勵セムトス
 次ニ用排水ノ改良ニ關シテハ其ノ急ヲ要スルモノヨリ漸次調査ヲ進メ計畫ヲ樹テ國庫補助金ノ交付ヲ受ケ地元納金ヲ徴シ縣費ヲ加ヘテ縣營事業トシテ施行シ地方農村ノ振興ニ資セムトス
 尙耕地整理完了事務ニ就テハ大正十年耕地協會ヲ組織シ專ラ同協會ヲシテ之カ助成ヲナサシメツ、アルモ仍ホ其成績良好ナラサルヲ以テ縣ハ財政ノ都合ヲ見計ヒ縣ノ事業トシテ設備ヲ行ヒ完了事務ノ助成ヲ行ハムトス

石川縣

現況並趨勢

一、耕地擴張事業

本縣ニ於ケル耕地擴張事業ハ從來耕地整理事業ト共ニ之カ勸奨ニ努メ來リシカ開墾助成法發布以來殊ニ之カ施行増加ノ趨勢ニ在リ本年三月末日現在ノ開墾助成地區數四十七之ノ面積六百九十町一反步ニシテ既ニ竣成シタルモノ開田四百六十三町四反步開畑三十三町步計四百九十六町四反步ニ達セ

リ而シテ尙他ニ出願中ノモノ十一地區之ノ面積百六十二町三反步アリ之等ノ開墾地ニ對シテハ政府ノ獎勵方針ニ依リ昭和三年度ヨリ開墾地移住家屋及共同作業場建築補助規則ヲ制定シ移住家屋ノ建築ヲ獎勵シタルニ既ニ獎勵金ノ交付ヲ得テ家屋ノ建築ヲ爲シ移住シタルモノ十五戸ニ及ヘリ本事業ハ尙發展ノ餘地尠カラスト雖一般經濟界不振ノ影響ヲ蒙リ新事業ノ施行ヲ躊躇スルヤノ傾向アリシモ助成金四割補助ニ變更セラレタルト最近失業救済資金ノ融通等ニ依リ幾分起業ノ氣運ニ向ヒツ、アリ

二、耕地整理事業

本年三月末日現在ニ於ケル本縣ノ耕地整理事業ノ一班ヲ舉クレハ耕地整理見込面積六萬九千町步ニシテ既ニ耕地整理ノ施行認可ヲ爲シタルモノ六百九十二地區之ノ面積三萬二千七百七十町步ニ達シ内工事完了シ換地處分ヲ終ヘタルモノ四百四十七地區之ノ面積二萬四千四百町步ニ達シ事業完了シ組合ノ解散ヲ爲シタルモノ三百十七地區之ノ面積一萬六千二百九十三町步ニ上レリ

本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ明治二十年耕地區劃改正ニ其ノ端ヲ發シ爾來著シク發展シタルモノナルモ近時農村疲弊ノ結果稍不振ノ狀況ニ在ルヲ以テ本年三月縣ノ耕地整理獎勵規則ヲ改正シ補助金交付額ヲ増加スルコト、爲シ之カ獎勵ニ努メツ、アリ、尙最近區劃整理ノ外ニ旱魃ノ被害ニ備フル爲井堰ノ築造用水源ノ變更溜池ノ設置揚水機ノ設置等ヲ企劃スルモノ稍多キヲ加フルノ趨勢ニアリ

三、用排水改良事業

本縣水田灌溉面積五萬四千五百五十九町步中二萬七千二百四十四町步ノ用排水不良地アリ之カ改良ハ本縣耕地改良上最モ緊要ナルモノナルヲ以テ大正十二年用排水改良事業補助要項ニ關スル通牒ニ依リ之カ實施ヲ勸奨シタルニ昭和五年度迄ニ工事ニ着手シタルモノ四箇所之ノ支配受益面積二千三百三十八町步ニシテ内工事竣工シタルモノ三箇所支配受益面積一千七百七十九町步ニ達セリ本事業ニ關シテハ本縣ノ地形狹少ナルヲ以テ一團地ノ受益面積五百町步以上ヲ支配スル箇所尠ナキヲ以テ之カ制限ヲ低下セラル、ニ於テハ尙發展ノ餘地尠カラサルモノト認ム

將來ニ對スル指導獎勵方針 近時農村ハ經濟界不振ノ影響ヲ蒙リ其ノ經營至難ノ向尠ラサルヲ以テ耕地擴張改良事業ノ指導獎勵ニ關シテモ之ノ方面ニ留意シ設計調査ニ關シテハ堅實ナル計畫ヲ樹立セシメ勞賃等各種ノ單價ニ對シテモ出來得ル限り低廉ナラシメ尙工事ノ種類ニ依リテハ夫役ニ依ラシメ組合員ノ負擔輕減ヲ計ル様指導獎勵セムトス其ノ他縣ハ政府ノ方針ニ基キ本縣トシテ耕地擴張改良上最モ緊要ト認ムル左記事項ニツキ一層力ヲ注キ指導獎勵ニ努メムトス

- 一、五瀉沿岸ノ浸水被害除去
- 二、暗渠排水ノ實施獎勵ヲ爲シ排水不良地ノ改善
- 三、不要存置國有林野ノ開墾促進
- 四、不良地區ノ特別指導

福井縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地擴張改良事業ニ關シテハ創始以來政府ノ方針ニ基キ督勵ヲ怠ラス逐年之カ面積増加ノ傾向ニアリテ坂井郡ノ平坦部ニ於テハ殆ト全地域ニ亘リ起業ヲ了シ足羽、吉田ノ兩郡之ニ次キ其ノ他ノ郡ニ於テモ漸次斯業發達ノ趨勢ニアリ然レ共最近工業ノ發達ニ伴ヒ市街地附近ニ於ケル工場敷地並住宅地ノ埋立或ハ交通道路ノ敷地等時勢ノ推移ニ依ル潰廢地モ亦尠カラス今昭和五年十二月末現在調査ニ依レハ本縣耕地ノ面積ハ六萬一千五百四十四町五反歩ニシテ内田面積五萬七百四十八町二反歩畑面積一萬七百九十六町三反歩農家一戸當平均八反六畝ナリ而シテ是等耕地ハ一般ニ用排水利ノ不便ナルモノ多キカ故ニ縣ハ銳意之カ改良計畫ニ努メツ、アリ一面耕地整理ノ施行ニ關シテハ毎年相當助成ノ途ヲ講シ勸奨シツ、アルヲ以テ漸次施行面積ヲ増加スルニ至リ今ヤ之カ施行認可面積ハ九千五百八十九町歩ノ多キニ達シ此ノ地區數二百七十三目下設計計畫中ニ屬スルモノ十三地區開墾助成法ノ適用ヲ受ケ出願中ノモノ六十八地區此ノ面積七百二十八町二反歩ニシテ近ク出願見込ノモノ十地區此ノ面積六百五十七町歩ニ及フ而シテ將來尙耕地ノ擴張改良事業ニ依ル増加見込面積ハ優ニ六千有餘町歩ヲ算スト雖モ之カ擴張改良ハ地勢上將又舊來ノ慣行上着々其ノ進展ヲ見ルノ機運ニ響ハサルヲ遺憾トス

然レ共輓近農業經營ノ急速ナル進步發達ハ農民ノ自覺ヲ促シ一面政府ニ於ケル用排水主要幹線改良事業ノ計畫ト相容レ農山漁村ヲ問ハス臨時對策失業救濟資金配給ノ結果自ラ斯業開發ノ道程ヲ示ス情勢ニアルヲ以テ今後更ニ地方資金ノ配給潤澤ナルト相當米價ノ鈞上ニ依リ財界ノ安定ヲ期スルニ於テハ倍々本事業ノ進展ヲ觀ントスル趨勢ナリトス

將來ニ對スル指導獎勵方針 縣ハ本事業ニ對シ間絶ナキ指導督勵ヲ加ヘツ、アリト雖モ本縣耕地ノ現況ニ鑑ミ之カ完璧ヲ期スルハ前途尙遠遠ト謂ハサルヘカラス故ニ將來左記各項ニ留意シ益々斯業ノ堅實ナル發達ヲ期サントス

(一) 農業水利ノ基本的調査ヲ進ムルコト

本縣ノ耕地ニシテ尙排水良好ナラサルモノ尠カラス此等水利上ノ基本的調査ヲ爲シ能ク其ノ關係ヲ考慮スルコトハ單ニ將來ノ耕地整理ヲ容易ナラシムルノミナラス農耕上最重要ナル事項ニ屬スルヲ以テ其ノ主要ナル用排水幹線改良事業ハ漸ヲ追テ之ヲ縣營トシ其ノ他小範圍ニ屬スル土地改良事業ノ如キハ關係團體其ノ他ヲシテ起業セシメントス

(二) 縣財政ノ許ス限リ補助増額ヲ爲スト共ニ從業職員ノ充實ヲ圖ルコト

從來縣ハ本事業ニ相當補助ノ途ヲ講シ獎勵ニ努メ來リシカ漸次企業地區數ノ増加ヲ見ルニ至リシヲ以テ今後尙前項ノ調査ヲ進ムルト同時ニ補助増額ニ努メ一面從業職員ノ充實ヲ計リ以テ本事業ノ進展ヲ期サントス

(三) 左記方法ニ依リ本縣耕地整理協會ヲ今一層活動セシムルコト

(イ) 工事完了後ニ於ケル事務助成ノ爲メ專任職員ヲ設置シテ各組合ノ指導ニ當ラシメ以テ組合事務ノ達成ヲ圖ルコト

(ロ) 組合事業ノ圓滿ナル發達ト事務的智識ノ普及ヲ圖ラムカ爲組合役員ノ訓練施設ヲ爲スコト

山梨縣

現況並趨勢

一、耕地ノ擴張

本縣ノ耕地ハ田二萬二千三百五十五町步畑三萬九千二百町步合計五萬九千四百三十五町步アリ而シテ農家戸數六萬七千二百二十三戸ナルヲ以テ一戸當耕作反別ハ僅カニ八反八畝ニ過キス全國平均反別一町一反步ニ比シ著シキ過少ナリ從ツテ年々米穀二十四萬石（内米二十萬石）移入ヲ俟ツノ狀態ニ在リ仍テ人口食糧問題解決上又現下ノ蠶業不振ニ因ル農村ノ失業等ヨリ看ルモ自給自足ヲ主眼トスル耕地ノ擴張改良ハ本縣産業政策上最モ緊要ニシテ縣ノ獎勵施設ト時代ノ進運ニ伴ヒ企劃スルモノ漸ク増加シ開墾見込面積一萬五百二十町步中開墾助成法ニ依ル現在地區數四十八其ノ面積一千三百九十一町步ニ達シタリ内開墾實施成功シタルモノ田九百七十町步畑二百六十町步アルモ此ノ外助成法ニ依ラサル水害復舊等ノ開墾地亦尠カラス

而シテ開墾見込中大集團ヲ爲スモノハ中巨摩郡野呂川ヲ水源トスルモノ七百町步八ヶ嶽山麓三千町步釜無川ヲ水源トスル北巨摩郡菅原村武里村五百町步等アリ何レモ大事業ニシテ未タ起業ニ至ラサルモ最近ノ絲價低落ニ依リ近時頓ニ開墾熱ヲ加ヘ新ニ企業スルモノ頗ル多ク又各地ノ小開墾失業救濟事業ハ本企業勃興ヲ促シタルハ眞ニ喜フ可キ現象ト謂フ可シ殊ニ八ヶ嶽及野呂川開墾ハ本縣重要事業ノ一トシテ多年宿望スル所ナルモ何レモ水源關係並關係地區民無理解ノ爲實現セラレズ今日ニ

及ヒタリ八ヶ嶽山麓ハ縣有地六分ヲ占メ近ク佐久鐵道開通ノ筈ナレハ當開墾地ノ開發ハ國富増進上地方振興上著シキ效果ヲ齎スモノナレハ農林省ノ指導ヲ受ケ大規模國營開墾トシテノ實施機運著シク増進セリ又野呂川地區ハ水源水量ノ觀測及排水關係等調査中ニシテ開墾助成法ノ改正ハ頓ニ事業界ニ活況ヲ與ヘツ、アリ

二、耕地ノ改良

普通耕地整理ハ其ノ施行見込面積二萬町步中認可地區百二十六面積六千六百六十六町步ヲ算シ事業別ニ表示スレハ次ノ如シ

種	目	地	區	數	面	積	附	記
事業完了				二八		八二五・二一四		昭和六年四月未現在
換地認可済				八		一七九・五七〇		
工事完了				一二		四二四・六五二〇		
工事施行中				七八		四、七三七・一九一六		
計				一二六		六、一六六・六三二〇		

是等事業ニ對シテハ相當ノ成績ヲ舉ケ事業ニ對スル償還亦良成績ヲアケツ、アリ而シテ用排水幹線改良事業ニ就イテハ大要調査ノ結果事業施行ノ要アルモノ十五地區面積一萬二千町步アリ本縣ハ山嶽重疊シ地勢峻嶮ナルモ中央部甲府盆地ノ平坦地ハ排水不良地多ク他ハ何レモ山

麓等ノ傾斜地ナレハ河川亦急峻ニシテ用水乏シキモノ尠カラサル状態ナリ而シテ昭和三年度ヲ以テ事業完了シタルハ富士見村外一箇村排水事業一千町歩ニシテ縣ハ大正十四年度以降農業水利調査ヲ繼續シ約六千町歩ハ調査終了セルモ小作爭議ノ爲メ着手ニ至ラサレトモ最近旱魃ヲ蒙リタメニ事業ノ實施方ヲ熱望スルモノアルニ依リ順次國庫補助ヲ仰キ逐次遂行セムトスサレハ用排水幹線改良事業ハ將來相當進展ヲ見ルモノト豫想ス

最近國縣道ノ改修事業ノ勃興ニ伴ヒ耕地内農道ニ自動車又ハ小車ヲ引入レ時代ノ進展ニ伴ヒ農道改修ノ機運著シク是カ現在實施セルモノ約一千町歩ニ及ヘリ將來改良ヲ要スル見込面積二萬町歩アリ本事業ハ農村產業開發上最モ有利ニシテ其ノ效果著シク農村ノ最モ歡迎サレツ、アルヲ以テ本縣ニ於テハ將來有望ナル事業ナリトス

將來ニ對スル指導獎勵方針 現況並趨勢前述ノ如クナルヲ以テ耕地ノ擴張改良ハ食糧政策上ヨリ看ルモ農村不況失業救済問題等ヨリ考フルモ其ノ基調タルヘキ重要問題ナルヲ以テ財政緊縮ノ場合ニモ不拘縣財政ノ許ス範圍ニ於テ耕地整理開墾ヲ獎勵シテ補助金ヲ交付セリ尙政府ノ援助ヲ得順次五百町歩以上ヲ支配スル用排水十五地區ノ縣營事業ヲ起シ併セテ農道改修事業ノ發達ヲ計リ耕地ノ改良ノ實ヲ舉クルヲカメ更ニ八ヶ嶽山麓三千町歩野呂川地區七百町歩ノ大規模開墾ノ實現ヲ計リ尙一般開墾ニ就イテハ開墾助成法ノ普及ニカメ開墾地ニシテ勞力不足ノ地區ニハ移住ヲ獎勵ノ爲移住者ニハ建築補助金ヲ交付シ以テ徹底的ニ耕地擴張ノ實施ヲ獎勵セムトス

更ニ後援團體タル土地改良協會ヲシテ換地處分未濟地三千五百町歩ノ處理ノ促進ヲ計ル方法ヲ講シ

農事試驗場及農會等ト相聯絡シ農用機械動力等ノ普及ヲ圖リ各種農業團體ト協力一致シテ其ノ實ヲ舉ケントス

長野縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地擴張改良施行見込地面積ハ約五萬三千町歩ニシテ昭和六年四月末日現在ニ於ケル耕地整理認可面積ハ一萬五千九百六十九町歩地區數四百四箇所ニシテ内工事完了面積六千四百八十四町歩地區數二百八十二箇所換地處分面積六千三百八十七町歩地區數二百七十七箇所事業完了面積四千五百十町歩地區數百九十八箇所ナリ又開墾助成出願面積ハ三千二百町歩地區數八十一箇所ニシテ内工事完了面積一千八百八十一町歩ニ達ス

本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ明治三十六年創始以來測量設計工事監督事務指導並工事費補助金及移住家屋獎勵金等ノ獎勵施設ニ依リ漸次發達ノ域ニ進ミ開墾助成法實施後ニ於テハ開墾事業頓ニ勃興シ其後助成金四割補助ニ改正セラレタルト一面米價暴落ト養蠶不況トニ依リ開墾事業續出ノ現況ニシテ其ノ他事業ハ一般財界ノ影響ヲ受ケ不振ノ現狀ナリ

用排水組織ノ缺陷ヲ根本的ニ改善スル用排水幹線事業ハ其ノ利益多大ナルヲ以テ曩ニ梓川農業水利改良事業五千四百四十五町歩ノ實施ヲ見多年ノ懸案タル善光寺平農業水利改良事業一千百町歩ノ用水事業ハ昭和五年度ヨリ實施スルニ至リ目下企業計畫中ニ屬スルモノハ小縣郡川西十箇村用水事業一千六百五十町歩ナリ

又政府ハ極度ニ疲弊セル農村救済ノ目的ノ爲失業救済農山漁村臨時對策低利資金融通ノ途ヲ講シ耕地擴張改良事業ノ獎勵ニ努メラレタルモ事業施行豫定ニ對スル事業資金ノ配當額少額ナリシ爲充分ノ效果ヲ擧ケ得サルモ本縣ニ於ケル耕地擴張改良事業中普通耕地整理事業ヲ除キタル他ノ擴張改良事業施行豫定面積ハ約三千町步普通耕地整理事業施行豫定面積ハ約一千八百町步トス

將來ニ對スル指導獎勵方針 現況如斯ニシテ耕地擴張改良見込地面積約五萬三千町步ニ對シ事業施行面積ハ僅カニ三分ノ一ニ過キササルヲ以テ將來ハ既耕地改良事業ノ經費少額ニシテ而モ利益顯著ナルモノヲ選ヒ事業ヲ獎勵スルト共ニ現ニ企業中ニ屬スル用排水幹線改良事業ノ實現ヲ期セムトス又開墾助成事業ニ付テハ從來ノ方針ニ則リ利益顯著ナル地區ヲ選ヒ耕地整理法ニ依リ事業ヲ施行セシメ開墾助成法ノ恩典ニ浴セシメ事業ノ完璧ヲ期セムトスルモ近時ノ如ク助成指令ノ容易ニ承認セラレザレハ事業獎勵上一大支障ナリ

國營開墾豫定地タル野邊山原耕地整理組合一千百町步ノ開墾事業ニ付テハ速カニ主要工事國營ニテ施行ヲ受ケ地區内開墾事業ニ着手セシメムトス

工事終了後ニ於ケル事務ニ付テハ速カニ手續ヲ完結セシムル様本縣耕地協會ト連絡ヲ採リ一層適切ナル指導ヲ加ヘムトス之等總テノ指導獎勵ニ付テハ縣經濟ノ許ス限り設備ヲ擴張スルト共ニ工事費補助金及移住獎勵ニ一段ノ力ヲ致サムトス

岐阜縣

現況並趨勢

一、耕地整理事業

從來ノ方針ニ依リ設計調査工事監督、事務指導並補助金交付等ニ依リ獎勵シタル結果年々逐ヒ發展シ目下認可地區數二百三十五此地積一萬二千四百六十町步ニ達シ工事完了シタルモノ百三十七地區六千九百六十町步換地處分濟百三十七地區七千二百二十九町步事業終了シタルモノ七十三地區四千九百九十四町步ニ上レリ本事業ハ將來用排水幹線又ハ支線改良事業ノ完成ニ伴ヒ企業セムトスルモノ益々増加ノ傾向アリ

二、開墾事業

本事業ニ對シテ普通耕地整理事業ト同シク設計調査、工事監督等ヲ行フノ外古田整理ヨリモ高率ナル工事費補助金ト移住獎勵ノ爲移住家屋建築費補助金ヲ交付シ獎勵ノ結果助成出願ヲナシタルモノ八十八地區千八百八十八町步ニ及ヒ既ニ成功シタル地積九百二十五町步ニシテ其ノ他ハ着々進捗中ナリ而シテ本縣ニハ耕地擴張見込地約二萬五千町步ヲ存シ發展ノ餘地大ニ有リト雖本事業ハ多大ノ勞費ヲ要スルト農村不況ノ影響トニ依リ近年稍減退ヲ示シタルモ輓近勞銀ノ低下等ニ依リ小規模ノ開墾ヲ行ハムトスルモノ各地ニ擡頭セムトシツ、アリ

昨昭和五年七、八月ニ於ケル縣下大水害ノ爲災害ヲ被リタル荒地復舊助成事業ハ指令前工事開始ノ承認ヲ得タルヲ以テ各地區共目下全力ヲ擧ケテ復舊ニ從事シ成績良好ナリ

三、事業困難地區ノ復舊事業

耕地整理地區中成績不良ナルモノ、改善ニ付テハ先年答申セルカ如ク負債償還費ニ對シ毎年一萬圓ツ、補助金ヲ交付シ其ノ他高利債ヲ長期ノ低利債ニ借替ヘタルモノアルモ積極的ニ殘事業ノ遂行及不良工事ノ改善ヲ行ヒ收益ノ増加ヲ計ルコト最モ緊要ナルヲ認メ之カ工事費補助及工事監督並經營指導ノ爲開墾事業特別助成費ヲ計上シ國ニ於ケル開墾助成特別取扱ヒ又ハ新法乘替ヘ等ノ方法ト相俟テ改善ノ策ヲ講シ今ヤ其ノ大部分ハ認可指令ニ接シ組合員ノ意氣又大ニ昂リタルヲ以テ今後豫定計畫ノ遂行ヲ督勵シ所期ノ效果ヲ舉ケシメントス

四、用排水幹線改良事業

縣下耕地ノ大集團地ハ所謂濃尾平野ノ一部ヲ構成スル低地ニシテ木曾、長良、揖斐ノ三大川ニ介在シ灌溉排水共ニ充分ナラス地勢上大規模ノ改善ヲ行フ必要アルヲ以テ銳意本事業ノ發展ニ努メ既ニ完成及完成ノ域ニ達セルモノ六事業此關係地積一萬五千七百三十五町歩目下工事中ノモノ四事業八千六百六十九町歩其他本年度ヨリ開始ノ爲目下國庫補助申請中ノモノ一事業千八百六十九町歩ニ及ヘリ而シテ本縣ニハ尙改良ヲ要スヘキ集團地約二萬數千町歩ヲ存シ之カ調査設計ヲ希望スルモノ増加シツ、アリ

五、農業水利改良事業

用排水幹線改良事業ノ施行ニ伴ヒ支線ノ改良ヲ行フニアラサレハ十分ノ效果ヲ收ムルコト能ハサルカ故ニ市町村其他ノ公共團體ニ於テ耕地五十町歩以上ヲ支配スル支線改良ヲ爲スモノニ對シ四割以內ノ補助金ヲ交付スルコト、シ昭和四年度以來實施シツ、アリ本事業ハ幹線改良事業ノ進展ニ伴ヒ

益々増加ノ傾向アリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 從來ノ方針ニ基キ耕地整理及開墾事業等ニ對スル設計調査、工事監督、事務指導ヲ充分ナラシムルハ勿論一層周到ヲ期シ開墾事業ハ食糧自給ノ關係勞力ノ過不足等ヲ考慮シ可成有利ニシテ成功確實ナルモノヨリ獎勵シ規模大ニシテ調査複雜ナルモノニ對シテハ基本調査ヲ行ヒ且開墾地ノ利用ヲ充分ナラシムル爲益々移住ヲ獎勵シ用排水幹線改良事業ノ緩急地元ノ氣運等ヲ考慮シテ順次企業シ之ト相俟テ關係區域ノ支線改良及耕地整理ノ獎勵ヲ行ヒ事業困難ニ陥レルモノ、復舊事業ハ從來ノ如ク各種ノ補助金ヲ交付スルハ勿論工事及經營ニ對シ一段ノ指導監督ヲ加ヘ其ノ他可成勞力出資ヲ獎勵シテ借入金ヲ減少シ以テ經營ヲ容易ナラシメ又耕地協會ノ活動ヲ促シテ工事後ノ完了事務及一般事務ノ委託ヲ受ケシメ之ニ對シ事務指導ヲ行ハムトス
以上ノ各指導監督獎勵ニ關スル設備並補助金ハ縣經濟ノ許ス範圍ニ於テ斯業ノ健全ナル發達ヲ期セムトス

靜岡縣

現況並趨勢

一、耕地ノ擴張

本縣ノ耕地ハ田六萬一千四百五町歩、畑七萬一千三百八十町歩合計十三萬二千七百八十五町歩アリ而シテ本縣農家戸數十四萬一千九百八十九戸ナルヲ以テ一戸當耕作反別ハ僅ニ九反四畝歩ニ過キス

全國平均反別ニ比シ遠ク及ハサルノミナラス耕地ノ潰廢亦尠カラス年々米穀不足高五十萬石ノ移入ヲ俟ツノ状態ニ在リ依テ人口、食糧問題解決上ヨリスルモ自給自足ノ領域ニ達セシメントシ殊ニ米作地ノ擴張ノ急務ヲ認メ努力ヲ怠ラス

大正八年以降ハ特ニ獎勵ニ盡シタル結果企畫經營スルモノ漸ク増加シ開墾見込面積三萬二千二百七十八町歩ノ中開墾助成法ニヨリ出願シタル現在地區數九十九、其ノ面積二千八百八十一町歩ニ達シタリ内開墾實施成功シタルモノ田七百五十一町歩、畑三百四十五町歩アルモ其ノ外助成法ニ依ラサル開墾地亦尠カラス而シテ開墾見込地中大集團ヲ爲スモノハ三方原五千町歩、小笠郡南部海岸砂地二千町歩、富士並愛鷹山麓及浮島沼開發ノ三千二百町歩、田方郡先原三里五百町歩等アリ何レモ大事業ニシテ未タ起業ヲ見サルモ近時頓ニ開墾熱ヲ加ヘ伊豆地方ヲ始メ各地ニ企業ノ勃興ヲ促シタルハ誠ニ喜フヘキ事象ト云フヘシ三方原或ハ富士山麓及小笠南部海濱關係ハ既ニ期成同盟會ヲ起シ斯業ノ促進ニ就テ研究運動ヲ續ケツ、アリ殊ニ三方原開墾ハ本縣重要事業ノ一トシテ多年宿望スルトコロ從來ニ於テモ地方的ニハ屢々企畫セラレタルコトアルモ巨費ヲ要スル關係ト設計計畫力不充分ナリシ爲實現セスシテ今日ニ及ヒタリ然ルニ三方原ハ氣候風土宜敷ニ適ヒ交通亦開ケ東西ノ要衝ニ當ル濱松市ニ隣接シ極メテ開墾適地ニシテ之カ開發ハ國富増進上、地方振興上著シキ效果ヲ齎スモノナルヲ認メ縣ハ昭和元年度ヨリ昭和四年度ニ至ル四箇年ノ歲月ト縣費七萬三千餘圓ヲ投シテ農林省ノ指導ヲ受ケ之カ設計調査ヲ完了シタリ依テ一日モ速カニ實現セラレンコトヲ望ンテ止マサル状態ニ在リ小笠南部海岸砂地開發ハ之亦本縣耕地擴張上適切ナル事業ノ一ニシテ目下砂濱開墾期成同

盟會ヲ指導シテ氣象觀測ノ設備ヲ爲サシメ是ノ地特有ノ風向ト風力トニ對スル砂ノ異動關係ヲ精査シ以テ開墾ノ基本タル砂防工事ノ統一的设计ヲ樹立セシメントス又先原三里ノ開墾ハ本省調査班ノ出張ヲ得テ施行ノ機運ヲ著シク増進シ來レル等開墾助成法ノ改正ハ頓ニ事業界ニ活況ヲ與ヘ山林原野ノ開發、湖海ノ埋立等本縣耕地擴張上一新機軸ヲ劃セリ

二、耕地ノ改良

普通耕地整理ハ其ノ見込面積五萬一千町歩ノ中施行認可ヲ得タルモノ四百七十六地區、其ノ面積二萬四千五百十町歩アリ而シテ事業完了セルモノ百七十五地區、其ノ面積五千九百四十一町歩ナリ是等事業ニ對シテハ技術ノ力ヲ理想的ニ發揮セシメ天與ノ惠ヲ遺憾ナク利用シ農村計畫ノ基調ヲ完カラシムル比較的大ナル集團面積ノ施行ハ年ト共ニ覺醒セル農民ノ認ムル所ナリ從來相當困難トセラレタル百町歩以上ノモノヲ遂行着手スルノ傾向ヲ呈スルニ至レリ而シテ用排水幹線改良事業ニ付テハ先年大要調査ノ結果事業施行ノ要アルモノ十八箇線アリ本縣ハ北ニ山岳重疊シ南ハ海ニ面シ其ノ間概シテ平野少ク河川亦急峻用水亦乏シキモノ尠カラサル状態ニアリ依テ右何レモ事業施行ノ急ヲ告ケ居ル狀況ニ在リ而シテ事業完了シタルモノ諸井富里用水幹線改良事業及栃山川沿岸用排水幹線改良事業ノ二線、目下事業中ノモノ都田川沿岸用排水改良事業、門池用水改良事業へ磐田用水改良事業及沼川沿岸排水幹線改良事業ノ四線アリ是等事業費總額實ニ四百九十八萬四千五百四十圓ノ多キニ達シ之カ計畫面積實ニ一萬三千町歩ニ達シタリ何レモ圓滿ニ事業ノ進捗ヲ見ツ、アルモ尙コノ外未著手ノモノ十三線コノ計畫面積一萬三千九百町歩アリ夫々實施ヲ熱望シツ、アルヲ以テ順次

國庫補助ヲ仰キ逐次遂行セントスサレハ用排水幹線改良事業ハ將來相當進展ヲ見ルモノト豫想セラ

將來ニ對スル指導獎勵方針 指導獎勵ノ徹底ヲ期スル爲調査設計ニ際シテハ慎重萬遺憾ナキヲ期シ又各種ノ機關ヲ通シテ法ノ精神ヲ全縣下ニ周知セシムルト共ニ一面事業經營者ノ意見ヲ徵シ又ハ視察ノ便宜ヲ供與シ或ハ講話會ヲ開催シ或ハ開墾地移住家屋建築ヲ獎勵シ或ハ指導機關ヲ作りテ事業經營上ノ圓滿ナル遂行ヲ圖リ進テ農家經濟ノ向上ヲ期セントス

從來ノ方針ト根本ニ於テ異ルコトナク耕地整理獎勵費ノ如キ財政緊縮ノ場合ニモ不拘從來ノ補助率ヲ低減スルコトナク獎勵シツ、アリ

更ニ現況前述ノ趨勢ニアルヲ以テ耕地ノ改良カ單ニ其ノ耕地ノ理化學的改良ニノミ止ラス進ンテ農業經營ノ向上ヲ圖リ以テ農村計畫ノ基調完成ニ努メントス暗渠排水事業ニツキテハ國ノ方針ニ添ヒ開墾助成法改正ノ精神普及徹底ヲ圖ルト同様方法ニ依リ其ノ效果等ヲ徹底的ニ周知セシメ斯業ノ勃興ヲ計ラントス尙耕地擴張改良事業者ノ團體タル耕地協會ノ活躍ハ近時著シキモノアルニ鑑ミ縣費補助ヲ交付シ更ニ斯團體ノ發達ヲ助ケ以テ官民共同一致シテ其ノ實ヲ舉ケントス
大正八年以降ノ耕地擴張潰廢ノ狀況ヲ示セハ左ノ如シ

年次	種別		潰		廢		差引		増減	
	田	畑	田	畑	田	畑	田	畑	田	畑
大正八年	6,550.2	1,766.3	1,804.4	2,012.2	5,745.8	1,554.9			1,554.9	
同 九年	2,808.8	7,247.7	2,339.9	1,808.8	7,448.7	5,639.9			5,639.9	
同 十年	2,648.8	9,480.4	2,181.1	3,100.9	7,507.7	7,275.5			7,275.5	
同 十一年	1,970.7	1,300.9	2,228.8	2,600.4	851.1	1,113.5			1,113.5	
同 十二年	2,600.2	9,250.4	2,680.0	4,000.0	449.8	5,250.4			5,250.4	
同 十三年	4,000.8	9,400.0	2,607.7	2,248.8	337.1	4,690.2			4,690.2	
同 十四年	1,500.2	4,950.6	1,908.8	6,400.0	336.0	1,500.4			1,500.4	
昭和元年	3,000.6	1,237.0	4,850.2	7,800.2	1,799.6	4,000.6			4,000.6	
同 二年	1,800.0	8,370.0	2,200.5	3,900.9	6,169.5	8,450.8			8,450.8	
同 三年	1,900.5	5,500.4	2,900.2	1,300.3	6,600.7	4,800.1			4,800.1	
同 四年	900.9	4,700.1	1,900.4	2,200.4	900.5	3,200.7			3,200.7	
同 五年	4,900.3	2,100.6	700.9	1,400.8	2,700.6	5,500.8			5,500.8	
計	3,500.9	11,600.4	3,600.8	6,300.7	1,600.7	5,500.9			5,500.9	

一、表中△印ハ減ヲ示ス

愛知縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地擴張事業ハ本年三月末現在ニ於テ認可地區數六十箇所此ノ面積二千四百五十一町歩ニ達ス近年經濟界不況ノ爲企業ヲ躊躇スル傾向アルモ地區ニ依リテハ農村振興ノ意味ニ於テ事業ヲ發起スルモノアリ渥美、八名二郡ニ亘ル面積四千七百餘町歩ノ國營開墾候補地ハ調査ヲ進メツ、アリ

耕地整理事業ハ三月末現在ニ於テ認可地區數三百四十二箇所此ノ面積三萬二千八百八十二町歩ニ達ス然レ共本縣耕地整理見込面積十萬三千八百町歩ニ對シ前途遼遠ナリ本事業モ亦經濟界不況ニ影響シ發起スル者減少ノ傾向アリト雖此ノ際農村振興ノ意味ニ於テ計畫スルモノアリ

用排水改良事業ハ横須賀排水、汐川沿岸排水、戸田川沿岸排水事業ノ三箇所ハ既ニ竣工シ現ニ工事中ノモノ奥村用水、日光川西排水、宮田用水、廣田川沿岸排水、油ヶ淵沿岸排水ノ五箇所近ク工事ニ着手セムトスルモノ蟹江大濠沿岸排水、安永川沿岸排水ノ二箇所準備中ノモノ福田川沿岸排水、北濱惡水、幸田川用水ノ三箇所調査中ノモノ鹿乘川沿岸排水、五條郷瀬川沿岸排水及逢妻川沿岸排水ノ三箇所アリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 従前ノ通左ノ方針ニ依ルノ外事務澁滯地區及工事完了後ノ事務指導ニ付力ヲ盡サムトス

一、調査設計工事監督及事務指導等ハ獎勵規程ニ依リ補助獎勵シ工事ニ對シテハ補助規則ニ依リ補助

金ヲ交付セムトス

二、必要ニ應ジ講習、講話會ヲ催シ印刷物ヲ刊行シ又ハ耕地整理ニ關スル特殊團體タル耕地協會ノ如キニ對シテ補助後援ヲ爲シ或ハ農會ノ如キモノト提携シテ益々事業ノ普及發達ヲ期セムトス

三、用排水幹線改良事業ニ對シテハ縣費ヲ以テ其ノ區域ノ調査ヲナシ事業ノ遂行ヲ圖リ之ト關聯シ其ノ地方ノ耕地整理事業ヲ促進セシメムトス

四、開墾地移住家屋ニ對シ補助金ヲ交付ス

三重縣

耕地擴張改良事業ノ現況趨勢並將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣ニ於ケル耕地擴張改良事業ニ關シテ

ハ從來政府ノ方針ニ基キ常ニ督勵ヲ怠ラス既ニ認可セラレタルモノ耕地ノ改良ニ在リテハ二一、二七〇町歩ニ達セリコレヲ耕地面積一〇四、三六八町歩ニ比スレハ約二割強ニ過キス今後尙耕地ヲ改良スヘキ見込面積ハ約五〇、〇〇〇町歩アリテ之カ完成ニハ長年月ヲ要スヘシ又開墾可能面積約一六、〇〇〇町歩ニ對シ既ニ開墾助成ノ指令ヲ受ケタル面積一、六六六町歩ニ達セルモ尙前途遼遠ナリト謂ハサル可ラス

頃者財界ノ不況ニ伴ヒ勞銀諸材料費ノ低下セルト農業經營ノ複雑化セルトニヨリ開墾事業ハ頓ニ勃興シ來リ計畫ノ緒ニ就カムトスルモノ續出スルノ現状ナリ

仍テ開墾事業ニ對シテハ適宜ノ獎勵ヲ行ヒテ之カ助長ニ努メ事業ノ實施ニ當リテハ充分ナル指導ヲ行

ヒ以テ該事業ノ遂行ニ違算ナカラシメムトス
 耕地ノ改良事業ニ對シテハ縣管排水幹線改良事業ヲ施行スルヲ最モ急務ト認メ之カ促進ニ努メ昭和
 三年度以來農業水利改良計畫調査ヲ行ヒタルモノ約四、〇〇〇町歩ニ達セリ尙昭和五年度ヨリ二箇年
 ノ繼續事業トシテ施行スヘキ桑名郡長島村排水改良事業ハ目下着々進捗シツ、アリ

滋賀縣

耕地擴張改良事業ノ現況趨勢並將來ニ對スル指導獎勵方針

一、本縣耕地擴張改良事業ハ逐年其ノ施行増加シ大正八年開墾助成法ノ發布以來開墾ト併テ土地ノ改
 良ヲ爲スモノ簇出シ次テ大正十二年用排水幹線改良事業補助要項ノ通達アルヤ相當大區域ニ亘リ改
 良セムトスルノ氣運ヲ生シ殊ニ現下失業救濟農村振興ノ對策トシテ之カ企畫ヲ爲スモノ多ク愈々多
 忙ヲ極ムルニ至レリ本年四月末日現在ノ成績左ノ如シ

耕地整理設計	三六六箇所	一七、八八六町步
同 施行認可	二四七箇所	一〇、七九八町步
同 工事完了	一一七箇所	三、八〇二町步
同 換地處分	九一箇所	二、九八八町步
同 事業終了	四五箇所	一、四九三町步
開墾助成地區	二九箇所	二、九六九町步
		一五町步

用排水幹線改良事業

一箇所

五四〇町步

二、後來本縣ノ耕地整理ハ旱害救濟ヲ主トシ殊ニ溜池ノ増新築及湖水地下水ノ利用ニ依ル揚水機ノ設
 置ハ縣下一圓ニ行ハレ相當效果ヲ收メツ、アルモ尙之カ施設ヲ要スルモノ不尠亦道路用悪水路改良
 ヲ要スルモノ頗ル多ク殊ニ昨年來失業救濟事業トシテ之カ企畫ヲ爲スモノ多ク現ニ設計中ニ屬スル
 モノ四箇所八十七町步本年度内ニ設計セムトスルモノ十四箇所五百五十町步目下工事中ニシテ指導
 ヲ要スルモノ四十一箇所五千町步アリ是等ハ從來ノ方針通り指導助成以テ其ノ普及ヲ圖ラムトス
 三、本縣ハ舊幕時代ニ於テ克ク開拓セラレタルヲ以テ開墾ノ適地ニシテ相當集團セルモノ少ク殆ト耕
 地整理ニ附隨シテ行ハル、ヲ常トシ今後ノ見込地ハ僅ニ耕地間ニ介在スル小面積ノ荒蕪地山間部ノ
 局部的小地及琵琶湖邊ニ存スル寄洲内湖等ニ過キス而シテ前年開墾助成法ノ一部改正セラレタルト
 近時ノ不況對策トシテ荒廢畑地ノ開田ヲ企畫スルモノ簇出ノ傾向ニアルモ容易ニ指令ヲ得難キ爲助
 成ノ恩典ヲ放棄シテ耕地整理法ノミニ依リ施行セムトスルモノアリ現ニ助成願ヲ進達シ指令ヲ待テ
 ルモノ三箇所二十六町步本年度ニ於テ出願見込ノモノ三箇所二十五町步アリ是等ニ付テハ周密ナル
 調査設計ト嚴重ナル監督指導ニ依リ萬全ヲ期スヘク湖邊ノ開拓地ニ付テハ治水方面ノ調査ハ相俟テ
 テ漸次其ノ擴張ニ努ムトス
 四、本縣從來ノ耕地改良ハ其ノ最急務トスル地方ヨリ著手セル爲其ノ規模概ネ小ニシテ早魃又ハ洪水
 時ニ於テ往々其ノ機能ヲ發揮スル能ハサルモノアリ依テ相當大區域ニ亘リ統一セル計畫ニ依リ施行
 セシムルコト、シ曩ニ童子川沿岸ニ於テ其ノ施設ヲ見タルモ猶之カ施設ヲ要スル見込地十四箇所一

萬三千町步アリ而シテ之カ實現ヲ期セムニハ先ツ其ノ現況ヲ調査シ改善策ヲ講スルノ要アリ茲ニ於テ本年度ヨリ之カ調査ニ着手シ其ノ急ヲ要スル地方ヨリ成案ヲ得テ其ノ實現ヲ促サムトス

京都府

現況 本府ニ於ケル耕地總地積ハ昭和四年九月一日現在農業調査ノ結果六萬五百九十八町六段九畝步ニシテ田四萬二千二百二十二町四段六畝步畑一萬八千三百七十六町二段三畝步トス而シテ耕地整理施行可能地トシテ調査濟ノモノ三萬一千町步ハ之ニ含ム

一、耕地整理事業

明治三十年乙訓郡羽束師村ニ於テ田區改正ヲ實施セルヲ嚆矢トシ明治三十二年耕地整理法ノ發布ニヨリ府農會ニ補助金ヲ交付シ整理事業ノ指導獎勵ニ當ラシメ同三十七年耕地整理補助規則ヲ定メ工事費ニ對シ補助金ヲ交付セリ同三十九年ヨリ調査設計ノ事項ヲ府ニ移シ技師以下ノ職員ヲ置キ基本調査、部分調査工事監督手續指導等ニ從事セシムルト共ニ事業ニ對スル一般觀念ノ當業者ニ周知セシムヘク努メ爾來穩健着實ナル發展ヲ爲シ現在施行ヲ認可シタル地區數四百六十四箇所面積一萬二千八十一町步ニ達シ其ノ内工事完了シタルモノ百二十地區面積二千六百八十六町步換地處分認可濟ノモノ百地區面積二千百三十六町步事業終了セシモノ五十八地區面積千九百九十一町步トス

二、開墾助成事業

大正八年以來出願シタルモノ地區數四十一箇所面積五百四町步ニ達シ其ノ内開田四百十七町步開畑

八十七町步ニシテ指令ヲ受ケタルモノ三十八地區面積四百八十町步其内成功面積三百七十町步、工事終了セル地區數二十六箇所面積二百六十一町步助成金交付終了セル地區數二十三箇所面積二百二十八町步トス

三、用排水幹線改良事業

○紀伊郡横大路村外一町三箇村排水改良事業

受益地面積五百九町步

事業費十一萬五千六十四圓（決算）

○南桑田郡曾我部村外一箇町用水改良事業

受益地面積五百三十七町步

事業費十七萬一千九百七圓（決算）

○乙訓郡向日町外六箇村排水改良事業

受益地面積八百二十三町步

事業費二十三萬一千九百三十九圓（決算）

○綴喜郡八幡町外三箇村排水改良事業

受益地面積千二百九十七町步

事業費二十萬五千五百二十一圓（決算）

○乙訓郡羽束師村外三箇村排水改良事業

受益地面積五百五十九町歩
 事業費三萬千七百九十三圓（決算）
 以上何レモ工事竣成セリ

四、開墾地移住費補助

昭和三年度以來開墾地移住家屋建築費ニ對シ補助金ヲ交付シタルモノ二萬三千百圓戸數八十三戸ヲ算ス

五、開墾機械使用費補助

昭和三年度以來農用牽曳機使用ニ對シ二百七十三圓ヲ交付セリ

六、耕地整理費補助

明治四十二年以來府耕地整理費補助規則ニ依リ百萬七千五百十八圓ヲ交付セリ

七、耕地整理事業資金貸付

明治四十三年以來地方低利資金三百十六萬三千九百五十圓ヲ貸付セリ

八、耕地整理調査費決算

明治三十九年以來六十萬二千四百七十八圓八十一錢ヲ支出セリ

趨勢 耕地整理法數次ノ改正ニ依リ事業ノ範圍擴大セラレ開墾、地目變換又ハ埋立干拓等未耕地ノ開發ヲ目的トスル事業漸次勃興シ貯水池ノ築造揚水機ノ設置其ノ他特種ノ工事ヲ施行スルモノ多ク往昔ノ如ク單ニ田區ノ改正ノミヲ行フニ止マルモノ減少ノ傾向ヲ呈シ開墾助成法ノ適用ヲ受クヘキ事業

ヲ企畫スルモノ増加シ地積經濟ヲ考究シテ積極的ニ灌溉排水、交通運搬ノ施設ヲ改善シ土地ノ利用増進ヲ圖リ消極的ニハ勞費ヲ節減シ且ツ小作爭議ノ紛擾ヲ事前ニ防止スヘク農業上ノ收益ヲ可及的有利ナラシムルニ注意スルノ趨勢頗ル濃厚ヲ加ヘツ、アリ既ニ施行セルモノニシテ比較的大面積ニ涉リ顯著ナル效果ヲ齎セルハ用排水幹線改良事業ニシテ何レモ良好ノ實績ヲ舉ケ農業經營上大ナル安定ヲ與ヘタリ

更ニ巨椋池ヲ中心トスル大規模開墾事業ノ實施ヲ促進シ其ノ關係地方ノ面目ヲ一新スヘク頻リニ其ノ着手ヲ期待セルモ地方民力ノミヲ以テハ實現容易ナラス國營施行ノ一日モ速カナランコトヲ切望焦慮セリ其ノ他山岳地方面ノ耕地ハ勢ヒ小區域ニ限界サレ施行面積ノ増加ハ多クヲ望ム能ハサルモ不完全耕地ヲ改良シ生産力ノ増進ヲ目的トスル事業ノ施行續出ノ狀況ニ在リ

將來ニ對スル指導獎勵方針

一、調査設計工事監督手續指導ニ對シテハ從來ノ方法ト異ナルコトナク益々努力シ以テ遺憾ナキヲ期セントス

二、組合ノ工事完了後ノ事務ニ關シテハ専ラ耕地協會ヲシテ之ニ當ラシメ適切ナル活動ヲ爲サシメントス

三、耕地ノ改良ハ主トシテ水利ノ系統、交通ノ組織ニ重キヲ置キ耕地ノ擴張ハ田畑ト林野ノ分布關係ヲ考慮シ農業經營ノ基本ヲ確立安定セシメントス

大阪府

耕地擴張改良事業ノ現況趨勢並將來ニ對スル指導獎勵方針 管内耕地ハ田五萬七千二百四十町歩畑一萬一千三百七十二町歩計六萬一千四百四十四町歩ニシテ明治三十七年以來耕地整理事業トシテ一萬二千二百六十一町歩土地改良事業トシテ四千四百六十六町歩用排水幹線改良事業トシテ七千三百二十町歩計二萬四千四十七町歩ノ改良事業ヲ施行シツ、アリト雖未タ農業上利用完キヲ得サルモノ頗ル多ク殊ニ灌溉排水上ノ施設ノ如キハ水利關係ノ複雜セル農耕地ノ現狀ニ徴シ極メテ緊切ナルモノニシテ最近ノ調査ニ依レハ灌溉不足ノ田一萬八百八十町歩排水不良ノモノ四千六百七十三町歩其他道水路ノ改修區劃整理ヲ要スルモノ五千三百六十町歩開墾見込地面積千三百町歩ノ多キニ達ス故ニ之レカ改良計畫ニ付テハ引繼キ府ノ事業トシテ調査設計工事監督事務指導ヲ行フ外用排水幹線改良事業ノ促進實行ニ努メ耕地整理及土地改良事業ノ工事費ニ對シ

普通耕地整理ノ場合ハ工事費ノ十分ノ三以內
 土地改良事業(工費二千圓以上ノ灌溉排水ニ關スル設備)ノ場合工事費ノ十分ノ二以內
 一町歩以上五町歩未滿ノ開田開畑ノ場合工事費ノ十分ノ四以內
 ノ補助金ヲ交付シ極力斯種事業ノ健實ナル進展ニ努ムトス
 左ニ昭和六年度ニ於ケル耕地改良事業ノ豫算並施行豫定及設備ヲ示サン

事業名	豫算總額	施行豫定	設備豫定								
			農林技師	農林主事	農林主事補	農林技手	農林助手	雇			
耕地改良獎勵費	三五、〇五九	調査設計指導	二								
耕地改良補助費	五〇、五〇〇	耕地整理補助 土地改良補助 耕地協會補助		四	一						
狭山池第一期用排水改良事業費	一〇、四八〇	殘務整理				三					
狭山池第二期用排水改良事業費	一八〇、〇〇〇	用水幹線四千九百七十七間新設改修 用水堰三箇所新設 砂防堰二箇所新設									
泉北郡光明池用水改良事業費	七四、四三〇	溜池及用水幹線一部									
恩智川排水改良事業費	三六、九一九	恩智川改修一部									
計	三八六、八八八		五	一	二	九	二	一	一	四	一

兵庫縣

現況 本縣ニ於ケル土地ノ總面積ハ六十二萬七千七百五十五町歩ニシテ田面積十一萬一千二百五十五町歩畑面積二萬六千七百二十八町歩合計十三萬七千七百五十三町歩(昭和四年末現在)ナリ而シテ改良事業ノ

タメ既ニ認可ヲ與ヘタル地區數五百七箇所面積一萬九千三百二十九町步（昭和六年三月末現在）ニシテ事業ノ成績ハ概シテ良好ナリ今事業開始以來ノ成績ヲ舉クレハ左ノ如シ

年次	發起設立施行認可		工事完了		換地處分箇所		事業終了	
	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積
明治三六年	三	五五						
同三七年	二	四三						
同三八年	六	四三						
同三九年	五	一〇七						
同四〇年	二	八八						
同四一年	七	三四一						
同四二年	一〇	三九二						
同四三年	一九	一、〇四二						
同四四年	二二	一、六二四						
大正元年	一一	二五〇	一五	九七	一三	六二	一一	三五
同二年	九	四五二	七	九	六	一六六	二	二
同三年	一七	五九五	六	九	四	三一三	六	二
同四年	二〇	七八九	七	五五七	八	五五二	二	一
同五年	一四	六二九	〇	一四三	六	一九八	二	三

年次	計		昭和元年		同一年		同二年		同三年		同四年		同五年		同六年		同七年		同八年		同九年		同十年	
	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積
同六年	七	二二二																						
同七年	九	二八六																						
同八年	五五	一、一六三																						
同九年	四二	一、〇〇六																						
同十年	二〇	四二一																						
同一年	一五	一、一八〇																						
同二年	一三	三二〇																						
同三年	一六	六二二																						
同四年	一六	二、六一〇																						
同五年	六八	二、三三五																						
昭和元年	一六	二、三三五																						
同一年	一七	一、三〇三																						
同二年	一八	一、〇一八																						
同三年	一四	七九六																						
同四年	三二	九四四																						
同五年	一八	六六二																						
同六年	一八	一九、三二九																						
計	五〇七	一、九三二九	二六五	七、一三五	一八六	五、五九二	一四七	四、〇一六	一九	一、〇六三	一九	一、〇六三	一九	一、〇六三	一九	一、〇六三	一九	一、〇六三	一九	一、〇六三	一九	一、〇六三	一九	一、〇六三

又本縣ニ於ケル耕地擴張事業ハ開墾見込地二萬六千五百六十四町步餘ニシテ内田ト爲シ得ヘキ見込面積一萬六千六百五十二町六反步畑ト爲シ得ヘキ見込面積九千九百一十一町八反步アリ而シテ田ト爲シ得

ヘキモノ、内第一適地六千七百四十五町八反步第二適地四千八百八十三町六反步第三適地五千七百二十四町步ノ豫定ニシテ有望ナルモノヨリ順次之ヲ施行セムトス昭和六年三月末現在ニ於テ耕地擴張ノ爲開墾助成出願ノ地區數百二十九箇所面積二千七百三町步餘ニシテ其ノ年度別左ノ如シ

年次	地區數	開田	開畑	計
大正八年	七	二八六・五	三二・六	三一九・一
同 九年	四九	一、〇六四・四	八六・一	一、一五〇・五
同 〇年	一八	三三〇・一	二〇・三	三五〇・四
同 一年	九	二三六・六	四一・七	二七八・三
同 二年	一	五・二	二・〇	七・二
同 三年	六	二三三・八	九・五	二四三・三
昭和元年	二	二〇・二	四	二〇・六
同 二年	四	七・三	一五・五	二二・八
同 三年	二	・六	一〇・〇	一〇・六
同 四年	九	一二・八	六九・五	八二・三
同 五年	〇	三九・七	八〇・一	一一九・八
同 六年	一	一四・〇	八四・三	九八・三
同 七年	二	二、二五一・二	四五二・〇	二、七〇三・二
計	二二九			

趨勢 本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ逐年發展ノ機運ニ向ヒツ、アリシニ近時一般財界ノ不振ニ加フルニ最近米價下落ノ著シキ影響ヲ蒙リ爲ニ之カ企業ヲ阻止セラレツ、アルハ頗ル遺憾トスル所ナリ然レトモ本縣ハ昨五年ノ旱害(一局部)竝失業者救済ヲ目的トシ起業ヲ爲ス者尠カラス又耕地擴張事業ハ昭和四年開墾助成法ノ改正ニ依リ一般當業者ニ好影響ヲ齎ラシタルハ勿論ナルモ現下ノ不況ニ依リ開田ヲ目的トスルモノニ在リテハ極メテ少數ナルモ比較的工事費ヲ要スルコト尠キ開畑事業ニ在リテハ相當ノ企業ヲ見ツ、アル狀況ニシテ時局ノ打開策上喜フヘキ現象ニ在リ

將來ニ對スル指導獎勵方針 從來ノ方針ヲ踏襲シ耕地改良可能地及耕地擴張見込地尤モ有利ニシテ且ツ施行容易ナルモノヨリ順次施行セシメ用排水改良ノ大規模ノモノニ付テハ用排水幹線ノ改良事業補助要項ニ依リ縣營トシテ實施スル方針ヲ採リ既ニ三草山溜池及山田池ノ築造工事施行中ニ屬シ尙城崎郡新田堰用水地域(支配面積五百町步)ハ調査ヲ完了シ縣營施行ニ決シ目下本省ト協議中ニシテ又佐治川沿岸用排水改良事業(支配面積二千五百町步)モ縣營施行ノ見込ニテ計畫ノ完了ヲ急キツ、アリ

其ノ他縣ノ施設トシテ左記ノ方法ヲ實行シツ、アリ

- (イ) 耕地ノ改良事業ニ伴フ特殊工事ニ對シ其ノ工事費ノ十分ノ一以内ノ補助金ヲ交付ス
- (ロ) 耕地擴張事業ニ伴フ特殊工事ニ對シ其ノ工事費ノ十分ノ二以内ノ補助金ヲ交付ス而シテ(イ)
- (ハ) 耕地擴張事業ニ對シ其ノ補助率規定ノ三分ノ一位ナリシヲ昭和四年度以降ハ之ヲ五萬圓ニ増額シタル結果大體毎年度規定ノ限度ノ補助金ヲ交付シツ、アリ

(ハ) 縣下ノ地勢及狀況等ニ依リ四箇所ノ出張所ヲ設ケ設計調査、工事監督ノ事務指導等ノ補助ヲ爲シ事業遂行ノ便ヲ計リツ、アリ

(ニ) 事業資金ノ融通ニ就テハ其ノ供給ヲ潤澤ナラシムルニ努メ事業ノ進行ニ支障ナカラシムル様努カシツ、アリ

(ホ) 昭和二年度ヨリ五箇年繼續トシテ地下水ノ調査ヲ行ヒ事業施行上ノ資料ニ供シツ、アリ

(ヘ) 開墾地移住家屋及共同建造物ニ對シ從來前者ハ一戸二百圓後者ハ建造費ノ二割以内ノ補助金ヲ交付シ來レルモ昭和四年度ヨリ規程ヲ改正シ前者ニハ一戸四百圓以内後者ニハ其ノ建造費ノ四割以内ヲ補助スルコト、シ開墾地ノ發展ニ努メツ、アリ

(ト) 昭和四年度ヨリ施設セル農業水利調査ハ用排水不良ナル箇所ニ付其ノ改善ニ對スル根本計畫ヲ樹立シ以テ其ノ起業ノ促進ニ努メツ、アリ

(チ) 縣耕地協會ヲ督勵シ殘務ノ進捗ト事業ノ發展ニ努力セシメツ、アリ

(リ) 機宜ヲ考察シ講話又ハ打合會等ヲ開催シ事業ノ企畫實行ノ獎勵ニ努メツ、アリ

奈良縣

現況並趨勢 本縣耕地ノ總面積ハ昭和四年九月一日ノ農業調査ノ結果ニ依レハ四萬五千三百九十三町步餘内田面積三萬三千六百五十九町步餘畑面積一萬一千七百三十四町步餘ニシテ之ヲ農家戸數ニ割當ツルトキハ一戸當田五反三畝步餘畑一反九畝步ニシテ田面積ニ比シ畑面積著シク僅少ナリ而シテ本縣

耕地ノ狀態ハ平坦部ト山間部トニ依リテ多少ノ差異アリ即チ平坦部ハ所謂大和平野ヲナシ大和川流域ニ屬シ本縣田面積ノ三分ノ二ヲ抱擁シ京、阪、神ノ大都市ニ接近シ交通至便ナルノミナラス往時所謂大和時代、奈良朝時代ヲ通シテ方田ノ制班田收受ノ法等ノ歴史の餘澤ヲ蒙リ概シテ區劃形狀道路水路ノ配置等良好ニシテ地味亦肥沃ナリ然レトモ之カ用水源タル大和川流域ノ山岳ハ一般ニ急峻ニシテ且淺狹ナル爲一朝降雨アルヤ忽チニシテ奔流膨脹ヲ見ルト雖旱天ノ持續數日ナラスシテ枯渴シテ流水ヲ見サル狀況ニ在ルト將又大和川流域ニ於ケル各河川断面ノ狹小ト不自然ナル支派川ノ分布トハ河川ノ缺潰本支川相互流注スル溢水區域間ニ於ケル惡水停滯トナリ斯クシテ大和平野ハ常ニ水ノ過少ト過多ノ兩極端ヨリ慘害ヲ被ルモノニシテ其ノ過少ノ害ニ至ツテハ古來平端部ニ六千餘個ノ溜池ヲ築造シテ(溜池敷地トシテ一千六百餘町步ノ良耕地ヲ費ス)之ヲ救ハムコトヲ企圖スト雖未タ完全ニ其ノ目的ヲ達スルコト能ハスシテ常ニ用水ノ不足ヲ訴ヘツ、アル狀況ニシテ平均四箇年ニ一回ノ割合ヲ以テ旱魃ニ遭遇シ甚タシキ年ニアリテハ其ノ被害高實ニ數百萬圓ニ達セルコトアリ故ニ之カ根本的救濟策トシテ屢々吉野川分水ノ必要ヲ高唱セラレタルニ鑑ミ本縣ニ於テモ昭和三年度ヨリ引續キ三箇年間右調査費ヲ豫算ニ計上シ農林省農業水利改良調査班ノ援助ト相俟テ合同調査ニ着手シタル結果本事業ハ農業土木工事トシテハ有利ニ非ラサルヲ確メ得タリシヲ以テ山間部ニ大貯水池ヲ築造シ以テ用水ノ安全ヲ圖ルヘク調査方法ヲ變更シ目下着々進捗中ニシテ近ク成案ヲ得ル現狀ニ在リ尙去ル大正十五年ノ未曾有ノ旱魃ニ刺激セラレ大和平野用水改良事業ニ先鞭ヲ着ケタル添上郡樺本町、治道村ニ亘ル五百餘町步ノ耕地ヲ灌溉スル縣營白川溜池ハ大正十五年工ヲ起シ本年三月全工事ノ完成ヲ見ルニ到リタルモ土

地買收其ノ他ノ殘務存スルニ依リ全工事ノ終了ヲ見ルニハ尙相當期間ヲ要スル見込ナリ又過多ノ害ニ至ツテハ是レ亦古來局所の河川改修ヲ企圖セラレタリト雖未タ水災ノ齎ラス慘害ヲ防備シ其ノ損失ヲ救済シ治水ノ全キヲ致スヲ得スシテ年々多少ノ水災ヲ蒙ル狀況ニシテ殊ニ昨夏空前ノ豪雨ニ依ル水禍ハ慘害ヲ極メ未タ曾テ其ノ例ヲ見サル所ニシテ耕地ノ著シク荒廢ニ歸シタルモノ實ニ三百三十町歩水源ヲ失ヒタルモノ六百七十町步其ノ復舊事業費總額百十三萬六千餘圓ニ達スルニ至レリ之カ根本的救済策トシテ昔時ヨリ大和川五大幹線改修ノ計畫調査セラレシモ水利關係並工事費ハ共ニ之ヲ許サ、ルノ現狀ニアリ

次ニ平坦部ニ於テハ耕地擴張ノ餘地少ナシト雖近時果樹、蔬菜藝園ノ勃興ニ伴ヒ山林原野ノ開畑漸次隆盛ニ向ヒツ、アルノ趨勢ニ在リ山間部ハ大和平野ヲ北東ヨリ南方ニ圍繞セル山地ニシテ田地ノ大部分ハ卑濕地ニシテ理學的性質不良ナルノミナラス地勢ノ關係上區劃形狀不整、交通不便等ノ缺點多キヲ以テ農道ノ改良區劃整理、暗渠排水等ヲ主目的トスル耕地整理事業最近ニ於テハ著シク増加ノ傾向ニ在リ又山間部ノ土地ハ大部分山林ニシテ耕地少ク從來農家ノ生計ハ林業ヲ主トシ農耕ヲ從トシツ、アリシモ近時財界ノ不況ハ林業ニ大打撃ヲ與ヘ林産物ノ低落ハ山林労働者ノ生業ヲ失ハシメ漸次疲弊ノ度ヲ深メツ、アルノ結果純農ヲ以テ樹ツノ自覺者續出シ一面山林労働失業者ニ職ヲ與フルノ方策上開畑事業著シク増加シ今後ニ於テモ益々進展ノ傾向ニ在リ之ヲ要スルニ本縣ノ耕地擴張改良事業ハ現在ニ於テハ大部分山間部ニ在リテ平坦部ニ於テハ目下調査計畫中ノ大和平野用水改良事業ヲ實施スルニ於テハ各種ノ改良事業モ相伴ヒテ勃興スル趨勢ニ在リ

今昭和五年度末現在ニ於ケル本縣ノ耕地整理及開墾助成出願面積ヲ示セハ次ノ如シ

種目	箇所	數	認可面積
耕地整理事業		三一八	一〇、六七九町
開墾助成事業		四七	四〇六町

將來ニ對スル指導獎勵方針

一、耕地擴張

本縣ニ於ケル耕地擴張見込地面積ハ三千八百餘町步ニシテ地勢及氣象等ノ關係ニ依リ主トシテ開畑ニシテ其ノ大部分ハ山間部ニシテ平坦部ニハ餘地ナシ
前述ノ如ク本縣ハ田面積ニ比シ畑面積僅少ナルヲ以テ將來益々之カ開發ニ努メ主作物ノ如キモ企業地ノ狀態ニ鑑ミ都市ニ販出ノ關係ヲ考察シ夫々適當ナルモノヲ選擇セシメ之カ栽培其ノ他土地利用ニ充分指導監督ヲナシ或ハ移住ヲ獎勵スル等ノ方針ヲ採ラムトス

二、耕地改良

本縣耕地改良上ノ將來ニ對スル重要ナル事項ハ大和平野用水改良事業ニシテ之ヲ完成セハ大和平野ハ用水難ヨリ免レ得ヘク從ツテ各種ノ改良事業勃興シ其ノ成績見ルヘキモノアルヤ言ヲ俟タサルヲ以テ縣ハ極力之カ達成ニ努力スル方針ヲ以テ進ミツ、アリ

山間部ニ於ケル田地ノ大部分ハ過濕地ニシテ區劃形質ノ改良ヲ要スヘキモノ多キニ鑑ミ之カ改良獎勵ノ方針トシテハ各地ニ模範的ノ暗渠排水地區ヲ設置セムトス以上ノ外農道ノ改良區劃ノ改正、土地ノ交換ノミヲ行フ耕地整理等尙見込地多キヲ以テ縣經濟ノ許ス限リ之カ指導獎勵ノ設備ヲ増加シ其ノ進展ニ努ムトス

三、水害耕地ノ復舊

昭和五年度ニ於ケル縣下耕地ノ水害ハ前述ノ如ク被害ノ程度頗ル深刻ニシテ復舊費巨額ニ上リタルノミナラス耕地以外ノ被害モ亦激甚ヲ極メタレハ土地所有者ノ打撃ハ豫想外ニ甚大ニシテ眞ニ經濟的ニ疲弊セル農家ニ對シ復舊事業費ノ全部ヲ其ノ負擔タラシムカ到底急速ニ復舊ヲ見ルコト能ハサル事情アリタルニ鑑ミ縣ニ於テハ國庫補助金ト縣費支出金トヲ以テ事業施行者ニ對シ高率ノ補助金ヲ交付シ直ニ之カ復舊ノ完成ヲ期セシムヘク既ニ昭和五年度ヨリ三箇年繼續ノ補助計畫ヲ樹テ昭和七年度迄ニハ全部ノ復舊ヲ見ル豫定ニテ臨時職員ヲ置キ之カ指導獎勵ニ努メツ、アリ

和歌山縣

現況 耕地整理事務ハ明治四十二年ヨリ縣ノ所管トナリ以來順調ナル成績ヲ舉ケツ、アリテ現在迄事業認可セル地區數二二四面積三、八六七町歩ヲ算ス
事業別ニ表記スレハ次ノ如シ

種目	地區數	面積
事業完了セルモノ	二四	四〇一町
換地處分済ノモノ	四八	六九一
工事完了セルモノ	六〇	一、二一六
工事施行中ノモノ	九二	一、五五九
計	二二四	三、八六七

本縣ノ耕地擴張事業ハ水利及地勢ノ關係上開田事業比較的少ナク開畑事業隆盛ニシテ山腹ノ急傾斜ノ地迄階段ヲ付シ主トシテ柑橘等ヲ栽培スルモノニシテ勞費多額ヲ要スト雖モ各地區共熱心ニ事業ニ從事シ居ル狀態ニシテ其成績優良ナリ

耕地改良事業ハ溜池新設及増築ニヨリ用水ノ補給ヲ爲スモノ多ク從來ノ成績ニ徴スルニ成績一般ニ良好ナリ而シテ何レモ財務關係ニ於テモ頗ル優良ナル結果ヲ收メツ、アリ農業水利調査トシテ大正十四年日高郡御坊町外八箇村地區ヲ調査シ目下紀ノ川沿岸ノ調査中ニ屬ス

趨勢 本縣ハ地勢ノ關係上大規模ノ事業ヲ爲ス個所少ナク從ツテ小規模ノモノ多ク農山漁村經濟界不況ナルニ反シ事業ヲ企劃スルモノ頗ル多ク申請書提出セルモノニシテ昭和五年ヨリ昭和六年度ニ繰越セル地區數三一、面積九一五町ヲ算シ此ノ後申請書提出續出スヘキ傾向ニアル實情ニシテ經濟界不況ナルニ係ラス耕地擴張事業ハ益々隆盛ニ趨カントスル情況ナリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣農家一戸當リ耕作反別ハ田四反三畝歩畑一反九畝歩計六反二畝歩ヲ

算スルニ過キス此ヲ全國平均一町一反歩ニ對比スレハ頗ル過少ナルヲ以テ耕地擴張改良ヲ計ルハ本縣產業政策上重用ナル問題ナルヲ以テ將來極力指導獎勵ヲ爲サントス
 農業水利トシテ調査終了セル御坊町外八箇村地區九五〇町歩及目下調査中ニ屬スル紀ノ川沿岸地區ニ對シテハ漸次獎勵ノ上事業實施セシメントス
 尙未調査ニシテ用排不良地五〇〇町歩ノ集團地ハ四地區ヲ算スルヲ以テ此ニ對シテモ設計調査ノ上用排水幹線補助要項ニ據リ事業實施セシメントス
 小面積ノ用排水不良地及耕地擴張適地ニ關シテハ農會等ト連絡ヲ取り機會アル毎ニ講話勸誘ヲ爲シ耕地整理及開墾助成ノ主旨ヲ徹底セシメ益々事業獎勵ヲ爲ス方針ナリ

鳥取縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地ノ擴張改良事業ハ明治三十二年以降政府ノ獎勵方針ニ順應シテ測量設計工事監督事務指導補助金交付等諸般ノ獎勵施設ヲ爲シ一面縣營ヲ以テ用排水幹線ノ改良工事ヲ施行シ更ニ大山試驗農場ヲ設置シ大山原野ノ開發ノ指針ト爲ス等之カ指導獎勵ニ努力シタル結果逐年其ノ普及發達ヲ來シ昭和六年三月末ニ於ケル成績左表ノ如シト雖之ヲ縣下ノ耕地擴張改良見込面積五萬五千町歩ニ對比スレハ其ノ四割ニ達セサルノ狀況ニシテ斯業ノ前途猶遠遠ナリ

一、耕地整理事業

設立及旅行認可 地區數	工事完了		換地處分認可		事業終了		摘 要	
	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數		
三二二	一八、四九四町	一六七	七、八八〇町	九六	五、四二三町	七一	二、五二五町	明治三十二年度開始

二、開墾助成事業

地區數	面積			計	摘 要
	開	田	畑		
一三二	一、九四八町	五一六町	二、四六四町	大正八年六月開始未指令ノモノヲ含ム	

三、農業水利改良事業

名	稱	受益面積	事業費總額	事業期間
東伯郡山良川沿岸		六八五町	三一〇、〇〇〇円	自昭和四年
氣高郡野坂川湖山池沿岸		一、〇八八町	七〇〇、〇〇〇	自昭和六年
米川及新開川		四、三七一町	一、〇〇〇、〇〇〇	自昭和七年

本縣ハ大正元年七年同十二年ト相次テ大水害ヲ蒙リ縣民ノ疲弊困憊甚シク其災害地ノ復舊ニ寧日ナク爲ニ普通ノ耕地整理及開墾事業ノ進展ヲ一時阻害セリト雖コレカ一段落ヲ告ケタルト共ニ最近ノ農村

不況ノ深刻化ハ反ツテ本事業ノ振興ヲ促スモノ、如クニシテ昭和五年度ニ於ケル豫定地踏査又ハ測量設計ノ補助ヲ申請セル者前年度ノ二倍前々年度ノ約三倍ノ多キニ上レル狀況ニアリ即チ勞銀低下ニ依リ事業ヲ有利ニ施行シ得一面農村勞働者救済策トシテ普通耕地整理事業ヲ企畫スルモノ自給肥料ノ施用農産物ノ運搬ヲ便ナラシメ生産費ノ低下ヲ圖ル爲耕作道ノ改良ヲ行フモノ漸ク多カラントスル趨勢ニアリ又開墾助成法ノ改正果樹園藝ノ勃興、田地ニ桑ノ栽植ヲナスノ不利ヲ自覺セルモノ續出セル等ノ爲大山原野並海岸砂丘地ノ開畑事業著シク増加ノ傾向ニアリ目下吳海軍工廠退職工ヲ西伯郡名和村地内軍馬補充部跡地ニ多數移住セシメ之カ開發ヲ行ハシムヘク計畫中ニアリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 從來ノ方針ヲ踏襲スル外縣財政ノ許ス範圍内ニ於テ縣豫算並補助金ノ増額ヲ計リ左記事項ノ遂行ヲ期セントス

- 一、農業水利改良計畫完成ノモノニ付テハ速ニ實施スル様努力スルハ勿論未調査ノモノニ對シテハ引續キ調査ヲナスコト
- 二、縣營農業水利改良事業行ノ全區域ニ亘リ耕地整理組合ヲ設立セシメ土地改良事業有終ノ效果ヲ收ムヘク内部ノ區劃整理ヲ實施セシムルコト
- 三、大山原野並海岸砂丘地開發ノ基本計畫ヲ急施シ開墾事業ノ促進ヲ計ルコト
- 四、生産費低下ノ基本タル農道ノ改善ヲ極力獎勵スルコト
- 五、五百町歩以下ノ集團地ニ對シ用排水ノ改良事業ヲ極力獎勵スルコト
- 六、事業ノ成效ヲ期スル爲設計工事監督事務指導ヲ一層周到ニスルハ勿論財務計畫ニ對シ一層實際ニ

適應スル様作製セシメ之ヲ確實ニ實施セシムルコト

- 七、組合財務ヲ一層嚴重ニ監督セシメ組合費ノ滯納整理ニ努メシムルコト
- 八、現下ノ農村不況ノ爲借入金ノ償還困難ニ陥レル地區ノ救済ヲ速ニ講スルコト
- 九、經費ノ輕減ト組合員ノ權利義務ノ明確ヲ期スル爲工事完了後ニ於ケル手續ヲ速ニ履行セシムルコト
- 十、開墾地ノ利用ヲ完カラシムル爲移住獎勵ニ努力スルハ勿論農會其ノ他關係方面ト聯絡ヲ保チ其經營ニツキ特ニ指導ヲナスコト

島 根 縣

現 況 本縣ニ於ケル耕地ノ地積ハ昭和五年末現在田五萬七千九百九十九町五反步、畑二萬五千五百十二町步、計八萬二千六百一十一町五反步ニシテ官民有地總地積ノ一割六分二厘ニ相當シ其ノ地積過少ナルニ加ヘ輓近時勢ノ進運ニ伴ヒ道路、鐵道、工場等ノ敷地トシテ耕地ヲ潰廢スルモノ多ク最近五箇年(昭和四年ノ潰廢地積ヲ除ク)間ニ於ケル潰廢シタル地積ハ左表ノ通ニシテ其ノ擴張シタル地積ヲ差引クモ尙千四百餘町步ノ減少ヲ示シ之カ年平均ハ二百八十一町二反步ニ達シ耕地ハ逐年減少ヲ來シツ、アリ

耕地ノ擴張及潰廢狀況

年別	種別		張		廢		差引増減	
	田	畑	計	田	畑	計	田	畑
大正十四年	一四八・一	四〇・六	一八八・七	七三・三	三三〇・八	四〇・一	七四・八	二二・三
昭和元年	一〇〇・八	七二・八	一七三・六	二九・〇	三六六・五	六六・四	一七・三	三三・七
昭和二年	一三三・三	八六・四	二二〇・七	一九・五	三九〇・九	四九・四	二一・五	四〇・九
昭和三年	一三〇・一	八〇・三	二一〇・四	一九・八	三三〇・三	五二・一	七・六	三〇・六
昭和四年	二九七・三	一一一・一	四〇八・四	三〇・二	三七八・二	五・八	二九・八	五・四
昭和五年	一五三・三	一〇〇・四	二五三・七	二二・七	三三九・七	五七・四	五九・四	七九・三
計	九六二・〇	六八二・六	一、六四四・六	一、三三・五	三、〇二二・一	八、四七・六	二、九一・五	六、八〇〇・〇
昭和四年ヲ除キタル 五箇年間ニ於ケル 平均	一三三・九	一一一・一	二四五・〇	一八四・三	三三九・〇	五八・三	五三・三	三九・九

備考
昭和四年ニ於ケル耕地ノ擴張及潰廢狀況ハ農業調査方針等他ノ年ニ於ケルモノト異ニセルヲ以テ之ヲ除外シテ平均値ヲ求メ
タリ

耕地並其ノ潰廢地積ハ叙上ノ如キ狀況ニ在ルニ加ヘ其ノ既耕地中ニハ灌溉排水上ノ施設並耕作道路ノ設備不完全ナルノミナラス區劃亦不整狹小ナルモノ多ク爲ニ土地ノ生産能力ヲ十分發揮スルコトヲ得サルハ勿論之カ經營ニハ多額ノ勞費ヲ費消セサルヘカラサルノ状態ニ在ル等耕地ノ擴張改良事業ノ施行切ナルモノアリ

依テ本縣ニ於テハ常ニ政府ノ指導獎勵方針ニ基キ明治四十二年以來耕地整理技術員及事務員ヲ設置シテ調査設計、工事監督及事務指導ヲ爲シ亦耕地整理補助規程、開墾地移住獎勵規程及耕地災害復舊工事補助規程ヲ發布シテ斯種事業者ニ對シ相當ノ補助金ヲ交付スル施設ヲ講シタル外開墾地ニ對シテハ特ニ陸稻種子ノ無償配付、開墾用器具機械（孤輪車及拔根機）ノ無償貸付ヲ爲シ其ノ指導獎勵ニ努メ一面島根縣耕地整理協會ト連絡提携シテ斯業ノ促進ヲ期シタル結果時ニ經濟界ノ變動ニ伴ヒ消長ナキニシモ在ラスト雖耕地整理法實施以來穩健順調ニ普及發達シ現在次表ノ如キ成績ヲ擧ケタリ

耕地整理事業

年次	發起、設立、施行認可 テ受ケタルモノノ地積	工事ヲ完了シタルモノ ノ地積	換地處分ノ認可ヲ受ケ タルモノノ地積	事業ヲ終了シタルモノ ノ地積
昭和元年	五〇七町	二二六町	二〇八町	六二町
昭和二年	三二九	一九二	三二六	五一
昭和三年	一九四	二一八	一四五	二五二
昭和四年	四〇〇	三四七	三四二	三四
昭和五年	二二二	三八九	四〇四	一〇
計	一、六六二	一、三八二	一、四二五	四〇九
既往ヨリノ累計	一一、二六三	五、六三九	四、八六六	一、八五二

開墾助成事業

年 度	開 田		開 畑		附 記
	町	畝	町	畝	
昭和元年度	二六	八	一八	三〇	未指令
昭和二年度	六五	二四	二六	八九	
昭和三年度	六五	二四	二六	八九	
昭和四年度	六五	二四	二六	八九	
昭和五年度	六五	二四	二六	八九	
計	一六四	六一	一〇五	二六九	
既往ヨリノ累計	五七〇	一一八	六八八		

農業水利改良事業ニ關シテハ昭和元年度ヨリ二箇年繼續事業トシテ神戸川用水改良事業ヲ行ヒ極メテ優良ナル成績ヲ收メタル外斐伊川流域竝穴道湖岸八千三百六十五町歩ニ渉ル排水改良事業及飯梨川流域千二百町歩ニ渉ル用水改良事業ノ調査ヲ終了セリ

耕地事業ニ就テハ叙上ノ如キ成績ヲ擧ケ其ノ效果亦多大ナルモノアリト雖之ヲ縣下ノ擴張見込地積一萬三千三百三十三町歩改良見込地積二萬三千八百六十八町歩計三萬七千二百一町歩ニ比スレハ其ノ認可ヲ受ケタルモノノ地積ハ約三割ニ過キササルノ狀況ニシテ尙開發ヲ要スル餘地多ク將來ノ施設ニ俟ツヘキモノ尠カラサルナリ

趨勢 既往ニ於ケル斯種事業ノ成績ヲ觀ルニ本縣ハ地勢ノ關係上擴張事業施行ニ當リテハ多額ノ事業費ヲ要スルヲ常トスルヲ以テ從來比較的事業費ヲ要スルコト少ナキ區劃整理道水路ノ變更廢置或ハ暗渠排水工事ヲ主トスル所謂改良事業ノ施行多カリシカ近時經濟界ノ不況ニ伴フ農產物價額ノ暴落ハ農家經濟ノ基礎ヲ破壊シ農民ハ生活ノ脅威ヲモ感スルノ狀態ニ在ルヲ以テ斯種事業ハ固ヨリ農村ニ於ケル各般ノ事業ハ茲ニ中止廢止又ハ繰延セラル、モノ多ク事業ノ進捗ヲ阻害シタルコト著シキモノ在リト雖昭和四年四月開墾助成法ノ改正實施セラレタルニ基キ從來不振ナリシ擴張事業ハ茲ニ一新紀元ヲ劃シテ頓ニ勃興セシニ加ヘ農業經營ノ合理化上果樹園ノ經營又ハ筍ノ採取ヲ目的トスル開畑事業竝耕作幹道ノ變更廢置ヲ目的トスル改良事業及昭和五年ノ水災ニ依ル被害耕地並工作物ノ復舊又ハ改良工事ヲ施行セムトスル者多カラムトスルノ折柄失業救濟農山漁村臨時對策低利資金ノ融通セラル、在リテ斯種事業ヲ企畫スル者漸次多キニ達セムトスルノ趨勢ニ在リ

將來ニ對スル指導獎勵方針 耕地事業ノ施行ハ國家ノ食糧政策上重要ナルノミナラス土地ノ農業上ノ利用ヲ増進シ且農業勞力ヲ節約スルコト亦大ナルハ勿論農村ニ於ケル餘剩勞力ヲ生産化シ其ノ事業費ノ大部分ハ地元農民ノ取得スル所ナルヲ以テ現下經濟界ノ不況時ニ際シ最モ適切ナルモノト信ス

依テ之カ施行ノ勸奨ニ就テハ窮迫セル農村ノ現狀竝現下ノ農產物價ノ情勢等ニ鑑ミ大體左ノ方針ニ基キ之ニ當リ以テ土地ノ農業上ノ利用増進ヲ圖ルト共ニ其ノ生産費ノ節減ヲ期シ且農村ニ於ケル餘剩勞力ヲ生産化セムトス

一、水災ニ依ル被害耕地並工作物ノ復舊工事ヲ速ナラシムルコト

昭和五年六月ノ水災ニ依ル被害ハ耕地ノ荒廢シタルモノ地積二十六町七反歩、井堰溜池等灌溉用ノ

工作物ヲ破壊シタルモノ六十六箇所復舊工事費總額九萬六千四百餘圓ニシテ之カ復舊ノ成否ハ地方産業ニ齎ス影響尠カラサルヲ以テ其ノ復舊工事ヲ速ナラシムトス

二、灌溉排水ニ關スル施設ノ改善ヲ圖ルコト

耕地ニ對スル灌溉排水上ノ施設ハ從來頗ル不完備ニシテ之カ爲農家ノ受クル損害並修繕費等ノ負擔少カラサルモノ在リ依テ將來之カ施設ノ改善ニ力ヲ致シ土地ノ生産能力ヲ助長スルト共ニ農家負擔ノ輕減ヲ圖ラムトス

三、耕作道路ノ新設又ハ變更ヲ勸奨スルコト

耕地ニ對スル耕作道路ハ其ノ設備不完全ニシテ其ノ存スルモノハ概ネ迂回屈折シ幅員亦狭小ニシテ車輛ヲ通スルモノ少ク爲ニ農業經營上勞力ヲ費消スルコト頗ル大ナリ依テ將來集團耕地ニ對シ適當ナル耕作道路網ノ設定ヲ勸奨シ以テ農業勞力ノ節約ヲ圖ラムトス

四、耕地擴張事業ヲ獎勵スルコト

耕地ノ擴張事業ノ施行ニ關シテハ常ニ勸奨スル所アルモ現下ノ農家經濟ノ狀態ヲ考慮シ農業經營ノ合理化上必要ナル果樹、苜蓿等ノ栽培ヲ目的トスル開畑事業及農閑期ニ於ケル餘剩勞力ノ生産化ヲ目的トスル開墾事業ニ就キ特ニ其ノ勸奨ニ努ムトス

五、用排水改良事業ヲ施行スルコト

用排水改良事業ノ施行ヲ必要トスル斐伊川流域、宍道湖岸及飯梨川流域ノ地域ハ其ノ關係スル地積廣汎ニシテ之カ實施ノ曉受クヘキ利益大ナルモノ在リ依テ之カ實施ニ關シ地元町村ト善ク協調ヲ遂

ケ其ノ實施ヲ期セムトス

六、經營困難地區ニ對スル指導監督ヲ周到ナラシムルコト

耕地整理施行地區ニシテ不測ノ障礙ニ遭遇シ其ノ成績芳シカラス經營困難ニ陥ラムトスルモノニ對シテハ常ニ指導監督ヲ嚴ニシ其ノ目的ヲ達セシムル様努メツ、アルモ今後一層指導監督ノ周到ヲ期シ以テ所期ノ目的ヲ達成セシムトス

七、耕地整理工事完了後ニ於ケル事務ノ處理ヲ速カ爲ラシムルコト

耕地整理施行者ニシテ其ノ工事ヲ完了シ目下換地處分、貸賃價格配賦及耕地整理登記等所謂工事完了後ニ於ケル事務ノ處理ヲ必要トスルモノ頗ル多シ依テ今後之カ指導ノ徹底ヲ期スルト共ニ一面本縣耕地整理協會ト連絡協調ヲ保チ其ノ促進ヲ期セムトス

岡山縣

現況 本縣ニ於ケル土地總面積ハ五十一萬五千餘町步ニシテ内耕地面積ハ田八萬九千四百餘町步畑

三萬六千三百餘町步計十二萬五千七百餘町步ニシテ之ヲ右土地總面積ニ對比スレハ其ノ割合二割四分強ニ過キス而シテ耕地ノ擴張改良事業ハ耕地整理法並開墾助成法ノ發布セラレテ以來逐年相當ノ進捗ヲ遂ケツ、アル所ナルモ今後ノ計畫ニ俟ツヘキモノ極メテ廣汎ニシテ即チ耕地ノ擴張ニ在リテハ開田見込地二萬二千餘町步開畑見込地一萬一千餘町步ヲ算シ一面既耕地ノ改良ニ在リテハ最近ノ調査ニ依ルニ其ノ急ヲ要スヘキモノト認メラル、モノ、ミテモ尙且用水補給ニ於テ二萬一千七百餘町步惡水排

除ニ於テ五千五百餘町歩ニ達セル狀況ニ在リ
 今耕地ノ擴張改良事業ノ主ナルモノニ就キ現況ヲ述フレハ
 一、耕地整理事業

耕地整理法ノ發布セラレテ以來昭和六年三月迄ニ認可シタルモノハ地區數六百十二面積一萬八千三百三十町歩ニシテ

内工事完了シタルモノ地區數三五六 面積八、一五〇町歩
 内事業終了シタルモノ地區數一四〇 面積三、八八九町歩

二、開墾助成事業

開墾助成法ノ施行セラレタル大正八年六月以降昭和六年三月迄ニ出願シタルモノハ地區數百四開田豫定面積四千二百三十七町歩開畑豫定面積四百二町歩計四千六百三十九町歩ニシテ内指令地區數百三昭和六年三月末成功面積開田ニ於テ九百二十二町歩開畑ニ於テ百七十一町歩計千九十三町歩ナリ

三、縣管排水改良事業

目下三地區ニシテ概要左ノ如シ

地 區 名	事業ノ目的	關係耕地面積	事業費豫算	附 記
瀬手溜池支配地域用水改良事業	用水補給	五六二町	三九〇、〇〇〇円	昭和四年三月工事終了
黒谷溜池支配地域用水改良事業	同	五七一	四七〇、八〇〇	目下工事施行中昭和七年三月終了ノ豫定

昭和溜池支配地域用水改良事業	同	六一六	四五〇、〇〇〇	目下工事着手準備中
計		一、七四九	一、三一〇、八〇〇	

四、土地改良事業

本事業ハ耕地整理法ニ依ラサル小規模ノ濕田排水事業ニシテ大正十年獎勵費補助規則制度以來昭和四年度迄ニ補助金四萬八千七百五十六圓ヲ交付シ之ニ依ル施行面積三千六十二町歩ニ達シタリ

五、耕地水利事業

本事業ハ町村、水利組合等ニ於テ施行スル溜池又ハ堰ノ新設改築事業ニシテ大正十一年補助規則公布以來昭和四年度迄ニ補助金四十三萬四千十七圓ヲ交付シ左ノ如キ成績ヲ擧ケタリ

溜 池 二二二箇所
 堰 一九四箇所

關係耕地面積 八、二三八町

趨勢 本縣ニ於ケル耕地ノ擴張改良事業ハ明治三十六年乃至同四十二、三年頃迄ヲ濫觴時代トシ爾來累年各地ニ發起施行セラル、ニ至リ降ツテ大正八年開墾助成法ノ公布セラル、ニ及ヒ更ニ一般ノ進展ヲ逐ケタルモノナリ

而シテ耕地ノ擴張事業ニ在リテハ兒島灣干拓事業ノ如キ大面積ノモノハ之ヲ異例トシ小規模ノモノ多ク一地區ノ面積百町歩ヲ超ユルモノハ現在僅ニ二地區ニ過キス而モ縣南部地方ニ於テハ既ニ開拓ノ餘

地ナク其ノ企業地タルヤ主トシテ中部以北ノ山間部ナルカ故ニ費用概シテ多額ヲ要スルモノ多シ耕地ノ改良事業ニ在リテハ其ノ當初ニ於テハ土地ノ交換分合、區劃ノ整理等ヲ目的トスルモノナキニ非サリシモ大正十三年ニ於ケル激甚ナル旱害以來單ニ水源工事ノミヲ行フモノ著シク増加シ殊ニ又其ノ後比年旱魃ノ相次クアリ爲ニ近年ニ於テハ是等旱害對策トシテノ事業益々勃興ノ傾向ヲ示セルモノナリ

然レ共昨秋著シキ穀價ノ下落以來開田事業ニ在リテハ全ク衰微ノ傾向ヲ示シ之ニ代ルニ自家勞力ニ依ル小規模ノ開畑事業續出スルニ至レリ但シ用水補給ヲ目的トスル耕地改良事業ニ在リテハ財界不況ナリト雖其ノ發起依然トシテ減少セス寧ロ不況對策トシテ反ツテ續出スル傾向ヲ示シ現ニ豫定地ノ踏査ヲ申請スル者多數ニ上レル狀況ナリ之ヲ要スルニ本縣ニ於ケル耕地ノ擴張改良事業ハ當業者ノ自覺ニ依リ今後愈々進展スヘキ趨勢ニ在リトス

將來ニ對スル指導獎勵方針 趨勢以上ノ如クナルカ故ニ從來ノ獎勵施設タル調査設計ノ補助、工事並會計事務ノ指導監督、工事費ノ補助及土工器具ノ無償貸與等ニ於テ可及的其ノ周到ヲ期スルコト、シ尙最近財界ノ不況ニ伴ヒ經營困難ニ陥レル地區尠カラサルカ故ニ極力是等地區ノ救濟ニ努ムルコトトシ以テ一面政府ニ於ケル獎勵方針ト相俟テ堅實ナル事業ノ發達ヲ期セムトス

廣島縣

現況並趨勢 本縣耕地總面積ハ一〇、三八五町步ニシテ内田七六、七二四町步畑三三、三六六町步ニ

シテ農家一戸當耕地面積ハ僅ニ五反六畝步(内田三反九畝步畑一反七畝步)ニシテ五反步以下ノ過少經營ノ多キ事本邦ノ首位ニ在リ右ノ如キ耕地面積及農業經營ノ實狀ヨリ見テ耕地擴張ヲ要スル事最モ切實ナルモノアリ

而シテ本縣耕地擴張見込面積ハ二二、三八五町步ヲ算スルモノナルカ地形ノ關係ニ制セラレ事業概シテ小規模ニシテ主トシテ自家勞力ニ依リ開墾開田ヲ遂行スルモノ多ク急激ナル事業面積ノ増加ハ困難ナルモ漸次堅實ナル發達ヲ遂ケツ、アリ

本縣畑地開墾ニシテ特ニ注目ニ値スルモノハ島嶼部及海岸部ニ於ケル柑橘栽培地ノ畑地開墾ニシテ最近ニ於テ顯著ナル發達ヲナシ耕地整理事業トシテ施行セムトスルモノ、ミニテモ二十七地區四百十町步ノ大面積ニ達シ此後益々事業勃興ノ趨勢ニアリ

本縣既耕地ノ狀況ハ花崗岩地方ノ特質トシテ河川性質概シテ惡シク豪雨ニ際スレハ直ニ河川堤防ノ決潰井堰ノ流失耕地ノ埋没作土ノ流失等比年相踵クノ慘狀ヲ呈シ水災ノ危險性アル耕地八千三百町步ニ達シ平時ニ於テハ河川ハ耕地惡水排除ノ機能ヲ缺キ排水改良ヲ要スル濕田ノミニテモ二萬餘町步ヲ算ス又一面ニ於テハ耕地ノ水源ハ概シテ確實性ヲ缺キ連年ノ旱害ヲ受クルモノ多ク昭和四年ニ於ケル調査ニ依ルモ旱害面積二三、〇〇〇町步ノ大面積ニ亘リ而モ三割減以上ノ旱害ヲ受クルモノ殆ト之カ其ノ半ニ達スル狀況ニアリ

而シテ本縣普通整理事業ハ當初主トシテ暗渠排水ニ依リ濕田二萬町步ヲ乾出トナス計畫ヲ以テ獎勵ニ努メタル結果其種工事多數ニ上リ其後區劃整理農道ノ改善等漸次増加シ來リ共ニ相當ノ成績ヲ舉ケツ

ツアリシカ最近大正十三年ヨリ昭和四年ニ亘リ稀有ノ旱魃ニ遭遇シ其ノ被害激甚而モ地域廣汎ニ亘リタルタメ農業水利改善ノ必要ハ農家一般ニ徹底ニ知悉セラル、結果トナリ補水工事ヲ主目的トスル事業類ニ起リ縣ノ設備トシテハ殆ト全力ヲ本事業ニ傾倒シツ、アル狀況ニアリ

縣營ニ依ル農業水利改良ハ本縣ノ如キ耕地ノ分布點在セル地方トシテ受益面積ニ於テ不足スル憾アルモノ多ク一般ニ見テ受益面積ヲ二百町步程度ニ低下セラレン事ヲ希望スル切ナルモノアルカ曩ニ著手シタル大谷池服部池ノ兩大池ノ水利改良事業ハ既ニ五年限リヲ以テ其ノ工ヲ竣工世羅郡神田池關係及福山市外十箇村地區ノ芦田川改修ニ伴フ水源改築事業ノ二箇地區ニ於テ事業遂行準備中ナル外尙二三地區ノ見込地ヲ算シ共ニ順次施行ノ見込ナリ

廣島市ヲ中心トスル一市三郡ノ耕地ハ殆ト周期的ニ洪水ノ被害ヲ受ケツ、アリタルカ大正十五年及昭和三年ニ於ケル大水害ノ後ヲ受ケテ水災耕地復舊耕地整理組合ヲ起シ國庫及縣費ノ補助ノ下ニ徹底的復舊ニ努力シ昭和六年度ニ於テ愈々完了ノ見込ニシテ一面山林土木兩方面ノ復舊工事ノ進捗ト相俟テ耕地ノ危險性ヲ著シク緩和セラレタルカナホ昭和五年八月亦々相當程度ノ被害ヲ受クルノ實狀ニアリテ本縣水災ノ防止ニツキ更ニ一段ノ研究調査ヲ遂ケ根本的施設ヲ必要トスルモノナリ

耕地整理事業成績表 (昭和六年三月末現在)

種別	地區數	面積
組合設立及施行認可	一、〇一九	一八、五九三・〇町

工事	完了	五、六七四・〇
換地 <td>了分</td> <td>四、三四七・〇</td>	了分	四、三四七・〇
事業 <td>了分</td> <td>一、〇〇九・〇</td>	了分	一、〇〇九・〇

開墾助成事業成績 (昭和六年三月末現在)

地區數	耕地擴張面積			附記
	開田	開畑	計	
一〇五	一、〇四八町	二六六町	一、三一四町	未指令地區ヲ含ム

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣既定ノ方針ニ依リ一段ノ努力ヲナシ耕地擴張改良事業ノ堅實ナル發達ヲ期セムトスルモノナルカ將來ニ於テ特ニ留意セムトスル點ヲ舉クレハ次ノ如シ

(一) 開墾助成事業

本縣開墾事業ハ概シテ地形惡シク水源計畫特ニ困難ニシテ反當負擔少ナクトモ五六百圓以上ニ達スル現況ナルヲ以テ此後地區ノ撰定ヲ適確ニスルト共ニ關係者ノ自家努力ヲ主體トシテ遂行シ極力現金負擔及借入金ノ減額ヲ計ラムトス

(二) 本縣ノ特色タル柑橘畑ノ開墾ニ關シテハ計畫上必要ナル事項ニ付基礎調査ヲナシ事業ノ發達ニ資スルト共ニ計畫上遺憾ナキヲ期セムトス

(三) 農業水利調査

農業水利ノ改善ハ農業經營ノ安定ヲ期スル所以ニシテ本縣トシテハ最モ緊急ナル事項ナルヲ以テ本事業ノ進捗ヲ計リ事業計畫ノ完璧ヲ期スルタメ縣下農業水利ノ各系統ニ對シ現況調査改良計畫ノ立案ヲナシ獎勵ノ指針トナサムトス

(四) 農業水利組合及類似團體ノ指導監督

從來農業水利組合及類似團體ニ對シテハ何等助長的施設ノナサル、事ナク其ノ本來ノ目的ニ對スル活動ハ極メテ不活潑ニシテ各水利系統ノ荒廢年ト共ニ甚タシカラントスル狀態ナルヲ以テ之ニ充分ナル指導助成ノ方途ヲ講シ農業水利改善ノ進捗ヲ計ラムトス

(五) 暗渠排水

本縣ノ農地經營ノ特色カ小面積農業ニアル實狀ヨリ見テ更ニ集約的經營ヲナス要アルヲ以テ今日多少退嬰ノ狀況ニアル暗渠排水ニ依ル濕田ノ改良ニ付更ニ一段ノ努力ヲナサムトス

(六) 指導監督

當業者ノ指導監督ヲ從來ノ方法ニヨレハ豫算ノ經理ニ制セラレ充分ナル出張指導ヲナシ得サル狀況ニアリタルヲ以テ技術員ヲ地方ニ分駐セシメ産業團體ト聯絡ヲ保チ終始當業ニ直接シテ指導監督ノ徹底ヲ計ラントス

(七) 組合財務監督

組合財務カ各年度限リ計畫處理セラレ一貫シテ各年度ノ財務ヲ牽制スルニ足ル權威アル年度割收支

計畫ヲ缺クモノ又之ヲ有スルモ狀況ノ變化ニヨル更正ヲ怠ルモノ多ク之カタメ財務紊亂ヲ來スモノ多キヲ以テ特ニ之カ指導監督ヲ嚴重ニシ常ニ適正ナル計畫ヲ保有セシメムトス

山口縣

現況竝趨勢 本縣ニ於ケル耕地改良事業ハ二三年來ノ早魃ニ刺戟サレ著シク増加スルニ至リ殊ニ高臺地方ニアリテハ溜池ノ増築新設事業等最モ多ク平坦地方ニ於テハ地下水利用電力揚水機ノ設置、井堰、用水路ノ改築又ハ道路ノ修築等ニ伴フ耕地整理事業續出スルノ現況ナリ

耕地擴張事業ハ近時農產物價格ノ低落ニ依リ一般のニハ不振ノ狀態ニアリ而シテ農產物高價ノ時期ニ於テ事業ヲ起シタルモノニアリテハ現下ノ不況ニ遭遇シ借入金ノ償還ニ苦シムモノ尠カラサレトモ一面特種農產物栽培ヲ主要ノ目的トスル開畑事業勃興スルニ至リ此種ノ開墾助成ノ出願頗ル増加ノ趨勢ナリ

本年三月末日現在耕地整理地區ノ總數ハ八百二十四、其ノ面積二萬六千八百八十八町步ニシテ内工事完了セルモノ六百十八箇所、面積一萬三千八百六十一町步、工事中ノモノ百七十一箇所、面積一萬六百五十五町步トス

縣營事業トシテハ小郡灣干拓事業及井關村用水幹線改良事業アリテ前者ハ既ニ豫定ノ工事ヲ完成シ五十戸ノ移住農家ハ米麥作ヲ主體トスル自作農經營法ニ依リ養鶏糞細工等ヲ副業トシ昭和五年度ニ於テハ稻作付反別百十五町步、收穫量二千三百餘石、麥作付九十五町步、收穫量千八百八十石ヲ得成績良好

ナルモ農産物價ノ下落ノ爲經營上頗ル困難ヲ來セリ井關村用水幹線改良事業ハ本年三月所定ノ工事竣成シ溜池新築ノ結果ハ成績頗ル良好ニシテ既ニ昨年ノ稻作ニ於テモ一部貯水ヲ利用シ目下ハ既ニ満水ニ近キ狀況ニアリ其ノ他縣管用水幹線改良事業トシテ計畫中ノモノニ箇所アリ其ノ一ハ玖珂郡麻里布町及川下村ニテ灌溉反別八百五十町歩ヲ有シ他ハ厚狹郡厚南村及厚東村六百十五町歩ニシテ何レモ用水堰ノ改築及用水路修築ヲ主體トス

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣下耕地ノ用水不足又ハ排水不良ノモノハ二萬二千餘町歩、道路、水路ノ改修及田區ノ整理ヲ要スルモノハ一萬四千五百町歩ニシテ將來耕地ノ擴張見込面積ハ四萬三千餘町歩ナリ此等事業ノ計畫ニ當リテハ有利確實ナルモノヲ選擇シ殊ニ現下農村不況ニ際シ齟齬無キヲ期スルト共ニ農村計畫ノ基調ニ立脚シ最モ適切ナル事業ヲ獎勵シ又規模大ナル用排水改良事業ニアリテハ縣管トシテ施行ノ方針トス而シテ實施ニ當リテハ嚴格ナル監督ノ下ニ適切ナル基準ニ依ラシメ又ハ獎勵金ノ交付、資金ノ斡旋等ヲナスノ外已ニ整理地區ノ利用増進ニ努メ更ニ財務ニ過誤ナキヲ期スルト共ニ農業經營上一段ノ督勵ヲナシ所期ノ目的ヲ達成セシメムトス

德島縣

現況 本縣ノ耕地改良擴張事業ハ大體ニ於テ順調ナル發達ヲ遂ケ來リ昭和六年三月末ノ成績ハ左表ノ如クナリト雖モ尙耕地整理認可面積ハ縣下耕地改良豫定面積ノ三割八分五厘ニ過キヌ又開墾助成出願面積ハ開墾見込面積ノ四分七厘ニ過キヌ之ヲ全國ノ成績タル前者ノ四割五分六厘後者ノ八分五厘ニ

比シ何レモ及ハサルヲ見ル更ニ用排水幹線改良事業ハ既ニ計畫ヲ樹立セルモノニ線受益面積六千三百町歩ニ及ヘルモ未タ實施ニ至ラサルヲ遺憾トス

一、各種事業ノ成績（昭和六年三月末現在）

事業區分	見込面積	認可面積又ハ出願面積	比
耕地整理	一二、六九一町	四、八九四町	三八五
開墾助成	九、八三二	四六三	〇四七
用排水幹線改良	一二、九四三	一	〇〇〇

二、耕地整理事業ノ進捗狀況（昭和六年三月末現在）

區分	地區數	面積	認可面積ニ對スル比
組合設立又ハ施行面積	一八四町	四、八九四町	一、〇〇〇町
工事完了	五八	二、五七九	五二七
換地處分認可	三五	二、〇〇一	四〇九
事業終了	一五	一、一一六	二二八

既設耕地整理組合ノ内其ノ負擔過重ナルモノ又ハ地方思想傾向ノ穩健ナラサル一部ノモノハ現時ノ農村不況ニ遭遇シテ組合費ヲ滯納シ或ハ組合内部ニ紛議ヲ起シ爲ニ經營上支障ヲ來セルモノアリ監督ニ

警戒ヲ加ヘツ、アリ

趨勢

一、農村不況ノ對策並失業救済ノ趣旨ヲ以テ長期借入ニヨリ生産事業ヲ興サントスルモノ多キヲ加ヘタルコト

一、既往二箇年引續キ大旱魃ニ遭遇シ早害及潮害ヲ被リタル區域廣範ニ亘ルコト

一、養蠶業不況ノタメ縣下ニ廣大ナル面積ヲ有スル平地桑園ノ整理ヲ必要トスルニ到レルコト

一、勞銀及諸材料ノ低落ヲ期トシテ企業スルヲ利ナリト思惟スルコト

一、當業者ノ自覺ノ愈々進ミタルコト

以上ノ理由ニ依リ近時果樹其ノ他園藝作物ヲ目的トスル傾斜地ノ開墾、早生蔬菜ヲ目的トスル海岸ノ埋立用水補給ヲ目的トスル溜池、揚水機、鑿泉等ノ施設、潮害防止ヲ目的トスル機械排水、桑畑ノ變換ニヨル開田等ノ事業漸ク勃興シ昭和五年度中調査設計ノ申請アリタル地區數八〇、面積一千餘町歩ニ及ヒ内開墾助成出願見込ノモノ地區數五〇、面積五百四十町歩ニ達シ更ニ今後企業セラレントスルモノ相當多キヲ加フル狀勢ニアリ依テ從來ノ縣設備ニ於テハ到底指導ノ任ニ當ルコト困難ナルヲ以テ本年一月臨時設備ヲ増置スルニ至レリ用排水幹線改良事業ニアリテハ那賀川南岸一千三百町歩ノ用水統一ハ久シキ問題ナルカ既ニ内務省ニ於テ施行スル那賀川改修工事着手セラル、ニ至レルヲ以テ問題ノ決定ハ此期ニ於テナスヲ要シ目下協議進行中ナリ又吉野川北岸東部三千町歩ハ近年旱魃ト潮水ニヨル被害著シク剩サヘ昨年ノ如キハ關係町村ノ間ニ一大水論ヲ惹起シ一時騷擾ヲ極メタルカ最近大ニ

協調ニ向ヒ今回其ノ解決ヲ農業水利ノ改良ニ俟ツコト、シ既ニ組織的ニ進行ヲ圖リツ、アリ

要スルニ現時農村不況ニ際シ一般事業ハ概シテ萎縮ノ狀勢ニアリト雖耕地事業ハ敢テ不振ヲ稱ヘス寧ロ勃興ノ傾向ニ在リ若シ政府並縣ノ助成適當ニシテ特ニ事業資金並補助金ノ供給絶エサルニ於テハ相當事業ノ發達ヲ望ミ得ヘシ

將來ニ對スル指導獎勵方針

一、現在ノ趨勢ヲ益々助長シ特ニ傾斜地ノ開墾、桑園ノ變換旱魃地方ノ用水補給事業ニ力ヲ注クコト

二、用排水幹線改良事業中先ツ那賀川南岸地區及吉野川北岸東部地區ノ事業ヲ縣營トシテ實施スルニ至ラシムルコト

三、設計並工事監督ニ付テハ今後一段ノ周到嚴密ヲ期スルコト

四、組合ノ經營ヲ合理化セシメ事務ノ整備ヲ期シ依テ組合内ノ紛争紛亂等ノ素因ヲ絶ツコト

五、財政ノ許ス限リ更ニ縣ノ獎勵設備ヲ増加スルコト

六、財政ノ都合ヲ以テ農業水利調査ノ設備ヲ新設シ調査未了ノ五大用排水幹線及農業水利基本調査ヲ施行スルコト

七、開墾地移住獎勵規定ヲ制定シ開墾地ニ對シ移住者ヲ招致スルコト

八、經營難地區ノ救済ノタメ資金ノ借替ヲ斡旋シ又組合費徵收ノ徹底ヲ期スルコト

九、事業獎勵ノタメ耕地協會ヲ援助シ特ニ殘務整理ヲ迅速ナラシムル目的ヲ以テ協會委託事務ヲ盛ナ

香川縣

現況並趨勢 本縣耕地ハ總面積五萬八百餘町歩之ヲ農家戸數ニ割當ツルトキハ一戸當五反四畝歩ニ過キス加之剛來年々人口増加ト現下農產物價格下落ノ爲農村經濟ハ益々疲弊シツ、アリ一面近時交通發達都市ノ膨脹ニ依リ耕地ノ潰廢相當多ク之カ對策トシテ耕地擴張改良ニ就テハ縣ニ於テモ夙ニ痛感セルトコロナルモ地形及水利等ノ關係上實行容易ナラス近時耕地面積ノ稍々増加ノ狀況ニアリト雖將來益々之カ擴張改良ヲ必要トスル趨勢ニアリ

一、耕地擴張事業

本縣ニ於ケル耕地擴張事業ハ主トシテ耕地整理法ニ基キ工事ヲ施行スルモノ多ク將來開墾セムトスル面積約千八百町歩ヲ有スルモ之等地區ハ比較的傾斜地ノ小規模ナル開畑事業豫定地ニシテ有利ナリト認ムルモ工事費ニ相當多額ヲ要スルノ止ムヲ得サル狀態ニアリ而シテ之等既開墾地ニハ主トシテ果樹、除蟲菊、桑樹等ノ栽培ヲ爲シ生產物ハ阪神地方ヘノ販路ヲ開拓セラル、ノ現況ニアリテ益々本事業ノ有利ナルヲ認メラル、ニ至リ近年開畑企業者モ頓ニ其ノ數ヲ加ヘ來レリ之ニ鑑ミ縣ニ於テモ設計計畫工事施行ニ付テハ特ニ監督、指導ニ留意シ以テ事業ノ獎勵實施ニ努メツ、アリ

一、耕地改良事業

本縣ニ於ケル耕地改良事業ハ大正十三年ノ旱魃以來耕地整理事業トシテ貯水池ノ新設、増築等ヲナ

シ來リ昭和五年三月縣營田野々池、本年二月滿濃池同年三月三郎池各用排水改良事業ノ竣工ヲ告ク各池共灌溉排水上遺憾ナキヲ期シタリ今後ノ改良事業ニアリテモ亦之等實施ト相俟テ益々耕地ノ改良ニ注意ヲ拂ヒツ、アリ

將來ニ對スル指導獎勵方針

本縣ニ於テハ前述セル如ク農家一戸當耕作面積極メテ僅少ニシテ耕地ノ擴張並改良事業ハ現下ノ急務ナリ而シテ將來山林原野ノ開墾豫定地ハ約一千八百餘町歩アリ其他近時鹽田ノ廢止セラレタルモノ等アリテ尙相當開發ノ餘地アルヲ以テ是等ノ土地利用ニ關シテハ先ツ設計計畫ニ際シ縣技術職員ヲシテ各部別ニ調査ヲ擔當セシメ既墾地經營狀況等ヲ實查シ地味土質等ニ付キ充分考究セシメタル上適當ナル農作物ヲ選擇栽培セシムル様指導獎勵ヲ爲スト共ニ工事監督、事務指導等遺憾ナキヲ期セシメ以テ堅實ナル事業ノ發達ニ努メムトス

耕地改良事業トシテハ地目變換セムトスルモノ一、三〇〇町歩、用排水改良ヲ要スルモノ六、六〇〇町歩アリ本縣ニ於テハ水利關係極メテ複雑ナル爲事業ノ進展ヲ阻止サル、ノ實例不尠縣ニ於テハ大正四年農業水利工事取締規則ヲ制定シ爾來之カ改善ニ努メツ、アリ尙縣營ニシテ用排水改良事業ヲ施行シタルモノ既ニ三箇所アリ現在施行中ノモノ一箇所此ノ外四箇所ノ豫定計畫地アリテ目下實施ニ關シ調査計畫中ナリ

其ノ他設計調査濟ノ地區ニシテ工事ニ着手セス工事ニ着手シタルモ成績不良ナル地區ニ對シテハ實地ニツキ其ノ原因ヲ探究シ之カ施行並救濟ニ努メントス

愛媛縣

現況並趨勢

耕地擴張事業

開墾助成成績 (昭和六年四月末現在)

地區數	助成認可面積		地區數	面積
	開田	開畑		
三六	五八一町	六七町	六四八町	二二三
				二九三町

開墾地移住獎勵金交付成績 (昭和六年四月末現在)

建築戶數

三七戶

補助金交付額

七、五四〇圓

本縣現在耕地面積ハ九〇、〇二三町步ニシテ農家一戸當リ平均耕作反別八反二畝餘步ニ相當シ全國平均ノ其ニ比シ遙ニ尠ク耕地擴張面積ハ最近五箇年平均四四〇町步ニ達スルモ一面土地ノ開發ニ伴ヒ道路、軌道用地或ハ建物敷地等トシテ潰廢ニ歸スルモノ尠カラズ差引耕地ハ年々減少ノ趨勢ニ在リ而モ縣產米ハ未タ自給自足ノ域ニ達セス年々移入超過ヲナシツ、アリ斯ノ如キ情勢ニ在ルヲ以テ耕地擴張事業ハ本縣產業政策上喫緊ノ要務ニ屬ス輒近深刻ナル農村經濟ノ不況ト穀價ノ暴落ハ開墾事業ノ沈滯

ヲ豫想セシメタルモ勞銀ノ低下ト會々失業救濟資金貸與ノ利便ヲ得タル等ノ事情ニ因リ却ツテ事業増加ノ狀態ニシテ現ニ開墾助成ノ出願ヲ爲シタルモノ又ハ出願準備中ノモノ九地區共ノ面積百餘町步ニ達セリ尙本縣ノ氣候風土ハ果樹ノ栽培ニ適シ從來果樹園ノ經營ヲ目的トスル開畑事業盛ニ行ハレ畑地利用ハ到ル所山腹ノ傾斜地ニ及ヘルモ現下一般農業經營難ノ中ニ在リテ比較的經濟上有利ナルヲ認めラレ今尙斯業ノ進展ヲ見ツ、アリ本縣ハ地勢ノ關係上從來施行シ來リタル開墾事業ハ概シテ小規模ノモノニ屬スト雖今後施行見込地中ニハ新居郡西條町地先干拓見込地四〇〇町步又ハ宇摩郡平野開田見込地五二〇町步等相當大集團地ヲ有シ何レモ漸次實現ノ機運ニ向ヒツ、アリテ斯業ノ將來期待スヘキモノアリ

耕地改良事業

耕地整理事業成績 (昭和六年四月末現在)

發起設立施行認可	換地處分認可		事業終了
	地區數	面積	
三五〇	一八、一五五町	一三九	一〇一
	一七九	七、四一六町	三、八八一町

用排水幹線改良事業成績

事業地區名	事業費豫算	受益面積	事業進捗程度
室川渦井川排水改良地區	三八六、九九八 ^円	六三五 ^町	大正十五年十一月工事着手
新谷大洲用排水改良地區	四五一、〇〇〇	六四四	昭和四年三月工事完了
			事業中

本縣ニ於ケル耕地ハ水利ノ改良ヲ要スルモノ極メテ多ク現ニ其ノ見込地八、八〇〇町歩ニ達シ最近連年ノ旱魃被害ノ爲其ノ對策トシテ地下水利用溜池新設等ノ事業頓ニ増加シ殊ニ地下水利用ハ縣下汎ク普及シ既ニ耕地整理事業トシテ施行シタルモノ一六一箇所其ノ面積二、七七〇町歩ニ達ス用排水幹線改良事業ハ別表施行地區ノ外目下企畫中ノ箇所トシテ伊豫郡南伊豫村外三箇町村地區、温泉郡小野村外三箇村地區、宇摩郡川之江町外十一箇町村地區等アリ斯業益々發展ノ趨勢ニアリ水利改良事業ノ盛況ニ反シ區劃整理事業ハ近時不振ノ状態ニアリ蓋シ水利改良事業ノ如キ利潤ノ顯著ナルモノニ非サルヲ以テ農村經濟不況ニ際シ進テ企圖セムトスルモノ無キカ如キモ農業勞力ノ節約ハ經營法改善上極メテ緊要ノ事項ナルカ故ニ經濟界好轉ノ曉ニ於テハ農家ノ自覺ト共ニ再ヒ勃興ノ機運ニ到達スルモノト思惟セラル

將來ニ對スル指導獎勵方針 從來ノ獎勵方針ヲ踏襲スルノ外特ニ左記事項ニ留意シ事業ノ堅實ナル發展ヲ期セムトス

- 一、灌溉用水ノ充實ヲ圖ル爲地下水利用溜池築造等用水源ノ開拓獎勵ニ努ムルコト
- 二、開墾事業ノ企畫ニ方リテハ特ニ調査設計ニ周密ナル注意ヲ拂ヒ事業計畫上遺漏ナカラシムルコト

三、用排水幹線改良事業ノ促進ヲ圖ルコト

四、農業土木用機械貸與ノ利便ヲ圖リ工事費ノ輕減ニ資スルコト

五、開墾事業ノ如キハ成ル可ク夫役ニ依ラシメ努メテ起債ヲ避ケシムルコト

高知縣

現況並趨勢

本縣ノ既耕地總面積ハ六萬七千餘町歩ニシテ内田面積三萬三千九百餘町歩、畑面積三萬三千百餘町歩ナリ而シテ既往其ノ改良ノ要ヲ認メタルモノ二萬五千九百餘町歩數ヘ耕地ノ擴張ニ於テハ民有開墾適地三千八百餘町歩、國有林野開墾適地約一千二百餘町歩、合計裕ニ五千町歩ニ達スルノ情勢ニアリシヲ以テ銳意耕地ノ改良擴張ニ努メタル結果現在普通耕地整理ニ於テハ地區數五六五施行面積一萬四千三百四十八町歩ニ達シ其ノ事業費一千九十四萬四千餘圓之カ財源ヲ起債ニ求メ其ノ借入金額五百四萬八千三百餘圓ノ巨額ヲ示スニ至リタリト雖モ現在ニ於テハ工事未完了ノ組合地區數二五四此ノ面積七千七百餘町歩、償還未済額三百七十萬一千二百餘圓ヲ算スルノ現状ニアリ

○開墾助成事業ニ於テハ地區數五九其ノ助成地區面積一千四百四十餘町歩ニ達シ既ニ事業費二百十八萬一千二百餘圓ヲ支出シ助成金八十八萬六千二百餘圓ノ交付ヲ受ク耕地擴張ノ實績ヲ舉ケタルモノ開田九百四十三町歩、開畑三十一町歩ニ達シタリ

○用排水幹線改良事業ニ就テハ其候補地十一幹線受益面積一萬八百餘町歩ヲ選定シ是レカ獎勵指導ノ結果大正十四年度ニ於テ安藝郡柄ノ木堰用水幹線改良事業ニ着手シ事業費十一萬餘圓ヲ投シ昭和二

年度ニ之カ竣工ヲ見ルニ至リ五百十餘町歩ニ亘ル旱害ノ憂ヲ根絶セシムルヲ得更ニ昭和三年度ニ於テ吾川郡八田堰用水幹線改良事業ニ着手シ事業費四十六萬五千餘圓ヲ以テ昭和五年度ニ之カ完成ヲ告ケ八百六十餘町歩ノ灌溉施設ヲ完備スルニ至レリ尙昭和六年度ニ於テ高岡郡日下加茂排水幹線改良事業ニ着手ノ豫定ニテ目下其準備中ニ屬ス

要之スルニ本縣耕地ノ擴張改良事業ハ政府ノ指導助成ト相俟チ茲ニ相當ノ進捗ヲ示スヲ得タリ而シテ現下財界不況ノ影響ハ農村ニ於ケル著シキ勞力ノ過剩ト工事用材料ノ價格低落トヲ惹起シ各種産業施設畫策ノ衰頹セムトスル傾向アルニ反シ本縣耕地事業ニアリテハ却テ積年ノ懸案タリシ改良擴張事業ヲ一氣ニ解決セムト企畫スルモノ續出スルノ現象ヲ示スニ至レリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣ニ於ケル農耕地分布ノ狀況ハ地勢ノ關係上廣袤大ナルモノハ主トシテ海岸部ニ集團シ或ハ灌溉ノ不利或ハ排水ノ不良何レモ改良ヲ要スルノ現狀ニアルヲ以テ用排水幹線改良事業地十一箇所ヲ選定シ之カ進捗ニ努メタルモ現在ニ於テハ二幹線事業ヲ完了セシニ過キス將來益々此種事業ノ促進ヲ期スルハ既定ノ方針ナルモ現況趨勢ニ於テ述ヘタルカ如キ縣下ノ實情ニ鑑ミ農村ニ於ケル過剩勞力ヲ利用シ政府ノ助成ト相俟チ開墾事業ノ指導獎勵ニ努メムトス

福岡縣

耕地擴張改良事業ノ現況趨勢並將來ニ對スル指導獎勵方針

一、福岡縣ニ於ケル耕地整理事業ハ年ト共ニ進展シツ、アリ最近ノ狀勢ハ企業地區數千二百二十一其ノ

面積三萬九千四百餘町歩ニ達シ内工事完了シタルモノ地區數九百四十九其ノ面積二萬六千二百餘町

歩ニシテ事業ヲ完了シ又ハ組合ヲ解散シタルモノ地區數五百十九面積一萬四百餘町歩ナリ

是等ノ企業ハ大體ニ於テ秩序的進捗ヲ爲シツ、アリ而シテ工事完了シタルモノニ比シ事業ヲ完了解散シタルモノ比較的少キハ債務ノ償還未済ノモノ多キニ依ル

近年電氣ヲ動力トスル灌溉事業及ヒ筑後川改修工事ニ伴ヒ沿岸耕地内ニ介在スル堀ヲ埋立ツル事業ヲ企畫セラル、モノアリ又最近地下水ヲ利用シテ開田又ハ用水補給ヲ行フ事業頻リニ企圖セラレツ

ツアリシカ偶々稀有ノ早魃ニ遭遇シ灌溉水補給ノ爲地下水ヲ利用スル企圖起リ宗像、糸島、朝倉、築上各郡ニ亘リ企業續出シ成績亦頗ル良好ナリ最近米價暴落シ農家ノ經濟頗ル窮迫シ延テハ耕地整

理事業ニ及ヒ事業資金ノ償還不能ニ陥レルモノ續出セリ

此ノ事象ニ對シテハ縣ハ勸銀其ノ他ノ資金融通者ト事業者トノ間ニ斡旋大ニ努メツ、アルモ未タ以テ兩者ノ協調ヲ全フスルニ至ラス政府ハ速ニ借替事業資金融通供給又ハ融通資金中間据置等ノ方策ヲ講シ此ノ窮況ヲ匡救セラレムコトヲ望ムヤ切ナリ

二、大正八年開墾助成法施行セラレテ以來本縣ニ於ケル助成事業ハ逐年増加シ現在企業數二百八助成承認面積四千三百餘町歩ニ達シ内工事竣成シタルモノ面積二千二百餘町歩交付セラレタル助成金額

百四十五萬餘圓ニ上リ事業ノ成績概シテ良好ナリ而シテ此種開墾助成事業ハ郷土ノ農業勞力ノ餘力ヲ以テ經營セムトスルモノ大部分ニシテ從テ其ノ規模ハ比較的小ナルモノナリ

本縣ノ如ク開拓普ク行ハレタル地方ニ在リテハ斯ノ如ク開墾ノ規模ノ漸次狭小トナルハ趨勢トシテ

已ムヲ得サル所ナルヘシ而シテ開墾助成法ノ制限面積ヲ緩ムルヲ得又最近遲延シツ、アル承認指令ヲ早カラシメ得ハ更ニ企業進展シ其ノ實績ヲ大ナラシムルモノアルハ逆塔スルニ難カラス

三、本縣耕地ノ擴張見込地ヲ見ルニ地目變換又ハ開墾ニ適スルモノ二萬二千四百餘町步、新開地八千三百餘町步、計三萬町步又既耕地ノ改良ヲ要スルモノ二萬二千四百餘町步其ノ他鑛業ニ因ル被害ノ耕地六千餘町ニ及ヘリ是ノ被害地對策ハ別ニ案ヲ具シテ國庫ノ助成ヲ申請シタリ

本縣ノ農耕地ハ總面積約十六萬餘町步農家戸數約十五萬ニシテ一戸ノ平均耕作地田畑計約一町步ニ過キヌ又近年耕地ノ擴張ハ潰廢ヲ補フニ足ラス過去十二箇年平均ハ年々約四百餘町步ノ減少ヲ見更ニ人口ト食糧トノ關係ニ付考察スルニ本縣ニ於ケル現住人口二百四十八萬二千餘人米ノ生産高二百四十六萬五千餘石ナリ之ヲ現況ニ照スニ米穀ハ年々多少ノ輸移出ヲ見ツ、アリト雖モ最近一箇年ノ人口増加三萬餘人ナル大勢ニ鑑ミルトキハ將來主要食糧ノ消費ハ遙ニ生産ヲ凌駕スルモノアルヘシ斯クノ如ク彼此考察スルトキハ食糧増殖ヲ計ルコトノ要愈々急ニシテ從テ耕地ノ改良擴張ヲ策スルハ益々喫緊ナリトセサルヘカラス折柄小作爭議經濟界不振等ノ影響ニ依リ企業豫期ニ反スルモノアリト雖近時農村合理化運動失業救濟策等ノ畫策セラル、アリ是等ノ社會運動ノ衝動ト相俟テ世況轉換ノ機ニ至ラハ更ニ企業ノ進展ヲ見ルニ至ルヘシ故ニ本縣ニ於ケル斯業ノ前途ハ更ニ發展スヘキ趨勢ニアルモノト見ルヲ得ヘシ

四、本縣ニ於ケル開墾事業中ニハ移住者ノ招致ヲ要スルモノアリ依テ開墾地移住ヲ獎勵スル一端トシテ移住家屋ノ建築ヲ獎勵シ獎勵金ヲ交付シツ、アリ大正十四年以來獎勵金ヲ交付シタルモノ八十一

戸ニシテ毎年平均十三戸ノ移住家屋ノ建設ヲ見ツ、アリ

五、本縣ニ於テハ農業水利ノ改善ヲ行ヒ以テ土地農業上ノ利用増進ヲ計ルヘキ箇所尠カラズ本年度ニ於テハ三井郡北野町外五箇村約九百町步ノ排水幹線タル陣屋川ノ水利改良事業ノ實施ヲ見ムトス其ノ他筑後川筋ニ於テハ其ノ改修工事ノ進捗ニ伴ヒ農業水利ノ變更ヲ要スルモノ尠カラズ當面是等水利上ノ措置ヲ要スルモノニ付之ヲ善處スル爲昭和二年度ヨリ調査ヲ行ヒツ、アリ又曩ニ調査開始シタル鞍手、遠賀二郡ニ跨ル西川ノ流域西川村外六箇町村ニ亘ル廣袤七千餘町步中千五百町步ノ排水不良並鑛毒水被害地及三瀨郡城島町外八箇町村ニ亘ル山ノ井川沿岸耕地八千町ノ排水不良及鞍手郡木屋瀬町外二箇町村ニ亘ル笹尾川沿岸七百五十町步ノ浸水被害地ニ對シ其ノ水利改良及被害除却ノ目的ヲ以テ前年ノ調査ヲ續行シ新ニ本年度ハ築上郡黒土村外四箇村約六百町ノ水利改良調査ヲ行ハムトス

六、以上ノ實況ニ對シ昭和六年度ニ於テ縣費二十九萬餘圓ヲ計上シ調査並指導監督ニ從事スル職員ヲ設置シ或ハ工事費補助及獎勵金交付等ヲ行ヒツ、アリ

七、而シテ將來ニ於テモ是等ノ獎勵指導助成ヲ行フハ勿論特ニ農業水利調査並鑛害耕地調査ニ關シテハ專任職員ノ施設ヲ爲シ以テ事業ノ進展ヲ促スノ外企業ノ趨勢ニ伴ヒ機宜ノ施設ヲ爲サムトス

佐賀縣

現況 本縣ニ於ケル昭和五年末耕地面積ハ田五萬四千八百九十六町六反步畑一萬六千二百五十二町

歩合計七萬一千四百四十八町六反歩ニシテ土地總面積ノ三割七分八厘ニ當リ農家一戸當耕地面積一町四畝歩ニ當レトモ尙地方別ニ之ヲ見ルトキハ農家一戸當耕地面積僅々七反歩ニ足ラサルモノアリ而シテ明治三十三年耕地整理法實施以來本年三月末日迄ニ耕地整理施行認可ヲ爲シタルモノ四百四十四地區此ノ面積一萬四千九百一町歩ニシテ内既ニ工事完了セルモノ二百十六地區面積四千七百三十七町歩ニ及ヒ又大正八年開墾助成法實施以來之カ適用ヲ受ケタル地區百十七地區此ノ面積三千四百二十三町歩ニ達シ其ノ成績見ルヘキモノアリ

尙農業水利ノ改善ヲ要スル地帯ニシテ耕地五百町歩以上ヲ支配スル地域ニ對シテハ用排水幹線改良事業補助要項ニ基キ用排水幹線ノ改良計畫ヲ樹テ既ニ一地區(第一期計畫ノ分)ハ昭和五年三月ヲ以テ完成シ二地區ハ本年度迄ニ完成スヘク一地區ハ目下計畫進捗中ニ屬ス

其ノ外溜池集水率ノ正鵠ヲ期シ溜池ノ設計計畫ニ過誤ナカラシムル爲昭和四年度ヨリ繼續溜池集水歩合ヲ調査シ又耕地ノ擴張改良計畫ノ基礎トナルヘキ農業水利ノ調査ヲ爲シツ、アリ

開墾地ノ經營ヲ容易ナラシムル爲縣ハ大正十一年度以降開墾地移住者ノ爲ニ建築スル移住家屋ニ對シ毎年度相當ノ補助金ヲ交付シ來リシカ昭和五年度迄ニ其ノ補助金ヲ交付シタル戸數百七十八戸ニ達セリ

然リト雖縣下耕地ノ狀況ヲ精査セハ田區狹少ニ失シ且不整而モ水利ニ乏シク道路粗惡ニシテ農耕上不便ナル地區尠ナカラス或ハ却テ排水ノ便ナク濕田介在シテ立體的生產増加ヲ阻止シ將來改良ノ必要アル見込面積一萬二千餘町歩ヲ算シ又山間部ニ於テハ未利用ノ原野若ハ比較的利利尠ナキ林野ニシテ開

墾可能見込面積一萬三千餘町歩ニ達ス

轉シテ有明海方面ノ干拓事業ハ耕地整理法ニ依リ施行認可ヲ爲シタルモノ約一千四百町歩ニ及ヒ目下計畫中ノモノ二千五百八十餘町歩ニ達セリト雖尙干拓可能見込面積數千町歩ヲ存スルノ状態ニ在リ工事完了後ノ事務ノ進捗ハ土地所有權ノ確保上、耕作上、管理上至大ノ關係アルヲ以テ縣ハ不斷之カ指導ニ努メ其ノ促進ヲ計ルト共ニ縣耕地協會ニ對シ相當ノ補助金ヲ交付シテ事務ヲ幫助セシメツ、アル結果本年三月末日迄ニ換地處分濟ノモノ二百九地區此ノ面積四千六百六町歩ニ達シ事業終了セルモノ百十一地區、面積二千二百二十二町歩ニ及ヘリ

以上ノ外耕地整理及土地改良事業ニ對シテハ縣ハ毎年度補助金ヲ交付シ事業ノ進展ヲ促カシツ、アリ
趨勢 由來本縣ハ農業ヲ本位トシ耕地拓ケ所謂筑紫平野ヲ控ヘ米ノ產地トシテ名アリ從テ耕地ノ擴張改良ニ關シテハ古ヨリ其ノ事績ノ見ルヘキモノ尠ナカラス明治三十二年耕地整理法公布セラレ延テ大正八年開墾助成法ノ實施セラレテヨリ斯ノ種ノ事業大ニ勃興シ殊ニ逐年農業ノ改善發達ニ伴ヒ耕地ノ擴張改良ノ急務ナルヲ自覺シ企業者漸次増加シ着々其ノ實績ヲ舉ケツ、アリ而シテ近時世界的經濟界ノ不況ハ農產物價格ノ低落トナリ比較的當經費多額ヲ要スル事業ハ多少企業ヲ躊躇スルノ恨ナキニ非ラサルモ地方ニ依リテハ却テ多角的農業經營ノ必要ニ迫マラレ養蠶、製茶、果樹、蔬菜栽培等季節的本業ヲ加味スルノ必要上林野ノ開墾事業續出シ或ハ却テ勞銀物價ノ低落ハ斯業ノ遂行ヲ容易ナラシムル關係上有產者間ニ於テハ失業救濟、農村振興ノ一助トシテ企業スル者出テ順調ニ進展ノ狀態ニ在リ

將來ニ對スル指導獎勵方針 前述ノ如ク本縣ハ適當ナル水源ヲ求メテ開墾、地目變換並埋立、干拓事業ノ獎勵、水害ノ防除メハ旱害除去ノ設備計畫ヲ樹立スルヲ急務トスルカ故ニ從來獎勵施設タル調査設計工事ノ指導監督、工事費補助及開墾地移住家屋並共同建造物建築費ノ補助等既定方針ニ基キ縣財政ノ許ス限リ一層内容ノ充實ヲ期シ尙近時ノ實狀ニ鑑ミ特ニ左ノ事項ニ付テハ其ノ實行又ハ指導獎勵ノ徹底ヲ期セムトス

一、前年度ヨリ計畫實施中ノ乾田式稻作用水調査ノ完成ヲ期シ用水ニ乏シキ地區ニ於ケル開田ノ促進ヲ計ルコト

二、有明海方面干拓地ノ用水源ヲ確立スル爲之カ水利ノ基本調査ヲ實施スルコト

三、現時世界的經濟界ノ不況ニ鑑ミ當分農業水利有望且施行後ノ效果著シク而モ自給勞力ノ利用ニ依リ實施シ得ル事業ニシテ其ノ成功確實ナルモノヲ先ニ獎勵實行セシムルコト

四、難工事又ハ比較的多額ノ經費ヲ要スル等實施容易ナラサルモノニ對シテハ特ニ周到細密ナル調査ヲ遂ケ前以テ充分ノ準備ヲ整ヘ以テ事業ノ遂行ヲ圓滑ナラシムルノ方策ヲ講スルコト

五、事業ニ伴フ財務計畫ノ適正ヲ期シ就中事業費ト其ノ財源タルヘキ徵收金、借入金及工事年度割トノ調和ヲ圖リ多額ノ負債ヲ將來ニ殘スカ如キコトナク圓滑ニ事業ノ遂行ヲ期スルノ計畫ヲ樹ツルコト

六、農家其ノ他各種產業團體ト連絡ヲ保チ整理地區ノ利用増進ニ努メ一面道路水路其ノ他工作物ノ維持管理ヲ完全ニシ整理ノ目的ヲ達成セシムルコト

七、工事完了後ノ事務ハ縣耕地協會ト連絡ヲ保チ其ノ活動ヲ助成シ之カ完結ノ促進ヲ期スルコト

八、高利債ノ存スル耕地整理組合ニ對シテハ可成低利債ニ借替ヘシメ償還困難ナル組合ニ對シテハ中間措置、償還期限延長ノ方策ヲ講シ目下農産物ノ價格低落ニ依ル組合員ノ經濟逼迫ヲ緩和スルコト

九、組合財務ノ監督ヲ嚴シシ一面工事ヲ督勵シ既定計畫ニ基キ其ノ遂行ヲ促カシ一時的些細ナル障礙ノ爲ニ工事期間ヲ延長シテ事務費等ノ費用ヲ嵩ミ關係者ノ負擔ヲ増加スルカ如キコトナキヲ期スルコト

長崎縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地擴張事業ハ現下經濟界不況ノ影響ヲ受ケ遅々トシテ進マス本年三月末現在ニ於ケル開墾助成事業地ハ九十五箇所其ノ地積千六百六十六町歩ナリ

本縣ハ水利ニ關シ先天的不遇ノ地ニシテ河川ノ恩惠少ナク從テ用水源設備ノ大部分ハ溜池ニ據ルノ外ナク事業施行ニ關シテハ多額ノ費用ヲ要スト雖モ耕地ノ現勢ヲ見ルニ農家一戸當リ平均田ノ耕作反別僅カニ三反一畝歩ニ過キス縣産米ハ常ニ不足シ年二十萬石内外ノ移入ヲ餘儀無クシツ、アルノミナラス市街地ノ膨脹ト交通ノ整備ニ伴ヒ潰廢サル、耕地ハ増加シツツアリ此儘推移スルニ於テハ益々主要食糧ノ需給ノ均衡ヲ失スヘク耕地ノ擴張ニ對シ一層意ヲ強フスルニ至リ尙輓近本縣主要産物タル柑橘、枇杷、綠茶等ノ海外進出ニヨリ園藝作物副業ノ發達ニ伴ヒ畑地ノ利用向上シ開畑事業益々増加ノ趨勢ナリ

改良事業ニ於テハ昭和四年度ニ於ケル大旱害ノ悲惨事ニ遭遇シタル爲自覺スル所アリ用水ノ絶對安全ヲ期シ二百有餘ノ耕地整理組合ヲ設立シ三百餘ノ溜池増築及新設竝井堰ノ改良ヲ圖リ既ニ本年ニ於テハ其ノ央完成シ本年ノ用水ニ缺如セル憂ナキニ至レリ

因ニ縣ハ本事業ニ對シテハ特ニ規程ニヨリ工事費ニ對スル補助ヲ爲シツ、アリ尙今回政府カ新ニ制定サレタル農漁山村失業救濟臨時對策低利資金ノ運用ニ付テハ小開墾及改良事業ヲ企畫スルモノ百六十餘地區此地積八百町餘歩ニ及フヲ以テ之カ調査指導監督ノ爲向フ三箇年ニ完成セシムヘク縣ハ臨時職員ノ増置ヲ爲シ之カ運用ニ遺漏ナキヲ期シツ、アリ

本年三月末現在ニ於ケル耕地事業地區數及地積ヲ示セハ次ノ如シ

認		可		中		工		事		完		了	
地區數	地積	地區數	地積	地區數	地積	地區數	地積	地區數	地積	地區數	地積	地區數	地積
五九〇	九、四八二・五三一五、〇六	三三〇	六、三〇二・四九二二、一九	一七六	二、五五九・五一二六、九七								
換	地	換	地	換	地	換	地	換	地	換	地	換	地
地區數	地積	地區數	地積	地區數	地積	地區數	地積	地區數	地積	地區數	地積	地區數	地積
一四四		一、三九〇・五九〇六、〇七		七三		七六三・六九一〇、〇四							

以上ノ如ク完了事務ノ成績舉カラサルハ不測ノ障害及農産物價暴落等ノ影響ニ支配サルモノ大ナル

以テ之ヲカ回復ト共ニ促進シ得ヘシ

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣ニ於ケル耕地事業見込地積ハ尙二萬四千二百五十餘町歩ニシテ其中排水整理ヲ要スルモノ九千四百五十餘町歩、用水補給ヲ要スルモノ五千三百六十餘町歩、地目變換開墾、水面埋立ニ依ル開田豫定地六千九百九十餘町歩、開墾豫定地三千二百五十餘町歩ノ多キニ達スルヲ以テ國ノ施設及縣民ノ自覺ト相俟テ事業ノ周到ナル調査、設計、監督、補助ノ方途ヲ講セムトス從來頓座ヲ來セル地區ノ中財務計畫ノ不徹底ニ因ルモノアルヲ以テ之等ニ鑑ミ將來ニ於テハ當初ノ設計ニ於テ年次財務計畫ノ徹底ヲ期シ事業經營上遺憾ナキ様指導監督ノ徹底ヲ期セムトス
耕地整理工完了後ノ事務促進ト事業副利増進ニ努メンカ爲縣耕地協會ト連絡協調講習、講話會等ヲ開催シ事業ノ指導獎勵ニ資セムトス
鑛業被害地ノ調査ヲ實行シ救濟方策ヲ確立セムトス

大分縣

現況 本縣耕地面積ハ昭和五年末調査ノ結果ニ依ルニ九萬二千三十九町九反内田面積五萬八千五百七十九町七反、畑三萬三千四百六十町二反ニシテ農家一戸當耕作面積ハ田四反五畝十五歩、畑二反五畝十六歩、合計七反一畝一步ニ相當シ全國平均反別ヲ遙ニ降リ何レモ過少經營ニ墮シツ、アル狀況ニアルヲ以テ耕地ノ改良擴張ヲ計リ農業經營ノ基礎ヲ確立スルハ本縣各種施設中最モ緊急ノ要務ナリトス

而シテ本縣耕地擴張見込地ハ三萬一千七百十五町普通整理見込地ハ一萬七千四百四十九町、合計四萬九千六百六十四町ヲ算スルモノナルカ本縣耕地整理開設以來ノ成績ハ

昭和六年一月一日現在

發起設立施行認可		工事完了		換地處分		事業終了	
地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
三三三	一三、六二〇、九六六	二二	五、五五〇、三三三	三三三	五、一五三、八〇三	三九	六、四四、八三二

從來本縣ハ開田事業ニ對スル企業熱強ク毎年事業發起面積モ相當多ク最近二三箇年ハ數年連續早魃ノ後ヲ受ケテ早害相續キ事業發起ヲナスモノ多ク當面事業關係トシテハ一萬町以上ノ多キニ達スル盛況ニアリ

地區數 面積

- 一、工事中ノ地區 四四 六、〇三一町
- 二、本年新ニ工事着手スヘキモノ 一五 五七五町
- 三、測量設計ヲナシ組合設立ニ從事中ノモノ 一二 七、二四三町
- 四、調査設計中ノモノ及申請中ノモノ 四八 四、五二四町
- 五、用排水幹線改良事業 二 二、〇〇〇町

趨勢 本縣ニ於ケル事業ノ傾向ハ開墾事業ハ河川水源ノ枯渴ト水利關係極メテ複雑ナルトニ依リテ

河川ヲ水源トスルモノニアリテハ一二從來資金及技術ノ關係ヨリ不可能トシテ殘サレタル大事業以外ハ其ノ餘地少ク此後ハ一面本縣地形ノ關係モアリテ小面積ノ開田事業ニ溜池水源ニ依リ開田事業ノ勃興ヲ見ル狀況ニアリ

普通整理事業最近古田整理補助ノ道開カレテ以來農家ノ注意ヲ喚起シ來リ縣北下毛、宇佐ノ平坦部ニ於テ漸次發達ノ氣運ニアリ水利改良事業ハ最近ノ連續セル早魃ニヨリ各水利系統共ニ其ノ缺陷ヲ暴露スルコト、ナリ之カ改善補水ノタメ事業ヲ發起スルモノ愈々多ク此後トモ此種ノ事業ノ充分發達スル見込ナリ

排水關係トシテハ大面積ノ排水問題ハ比較的少キモ局部的排水暗渠排水ノ問題ハ山間部ノ濕田多キ本縣トシテ其ノ餘地極メテ多キモ之カ助成施設不十分ニシテ目下停頓ノ狀況ニアリ

將來ニ對スル指導獎勵方針

- 一、開墾事業ハ貯水地水源ニ依ル開田及小面積ノ開墾ハ各地方農家ノ適切ナル要求ニ基クモノナルヲ以テ其ノ希望ヲ達成セシムルタメ充分ナル助成ニ努力ヲナスコト
- 二、普通整理事業ニ就キテハ水田ノ大集團地タル縣北平坦部ノ農業經營改善ノ見地ヨリ特ニ獎勵ノ必要ヲ認ムルモノニシテ縣財政ノ都合ヲ見テ古田整理補助ヲ増加シ充分注意ト自覺ヲ喚起セムトス
- 三、本縣ニ於ケル河川水利關係ハ漸ク急迫シ各地ニ於テ種々ナル紛爭ヲ來ヌヲ以テ昭和二年度ヨリ豫算ノ新設ヲナシ各水利系統ヲ調査シ水利權ノ整理調和ヲ圖ルト共ニ新水源ノ捻出ニ資シタルカ此後ハ進ンテ各水利系統ノ内部的調査ヲナシ一般的ニ水利改良事業ノ基礎ヲ確定シ水利組合同種團體ノ

活動ヲ助長シ縣下全般的水利改良ノ歩ヲ進ムルニ於テハ勞費ヲ要スル事少クシテ最も有效ニ水田狀態改善ノ一半ノ目的ヲ達シ得ルモノニシテ此後此點ニ特ニ力ヲ致シ五百町以上ノ大面積ニ關係アルモノニ於テハ國庫補助ノ下ニ縣營ニテ施行シ小面積ニツキテハ縣財政ノ狀況ヲ見テ相當助成ノ施設ヲナシ逐次改善ノ歩ヲ進メムトス

四、經營困難ノ地區ノ救済ハ夫レ自體ニシテモ緊急ヲ要スル事項タルハ勿論之カ放任ハ耕地整理事業獎勵上少カラサル障害トナルヲ以テ其ノ救済ノ餘地アルモノニツキテ急速ニ立案シ之カ解決ヲ計ルト共ニ此後充分地區ノ選擇設計計畫ニ留意スルト共ニ組合ヲシテ過ナカラシムル爲工事監督特ニ組合經理ノ指導ニ遺憾ナキヲ期セムトス

五、縣下旱害地被害ノ狀況ハ農家ノ自覺以上ニ甚大ニシテ廣汎ナルモノアリ之カ救済ハ農村振興上最も緊急ノ事ニ屬シ前項水利改良事業ノ進行ヲ計ルト共ニ簡易ナル手續組織ニ依リ溜池补水ノ目的ヲ達成セシメムトス

熊 本 縣

現況並趨勢

一、一般耕地整理事業

縣下耕地改良施行見込面積ハ五萬町歩ヲ算シ明治三十四年飽託郡内田村ニ其ノ端緒ヲ開キシ以來本年三月末現在トシテ實施セラレシモノ地區數五百二十一、面積一萬八千二百十七町歩ヲ計上セリ今

其ノ實績ヲ通覽スルニ實施當初ニ於テハ増歩ヲ目的トスルモノ多カリシモ時勢ノ推移ニ伴ヒ勞力節約、生産力ノ増加等ノ見地ヨリシテ用惡水路ノ改善、區劃ノ整理、道路組織ノ完備等ヲ期スル目的ノ下ニ施行セラル、モノ多キヲ加ヘ近年ニ於テハ特ニ其ノ著シキヲ見ルニ至レリ然リト雖モ由來本縣耕地ニ關スル水利ノ系統ハ最も不完全ニシテ舊藩時代ヨリ其ノ改良ヲ行ヒタルモノ少ク何レモ用惡兼用ノ水路ニシテ灌溉排水共ニ年々紛争ノ絶エ間ナキ狀況ナルヲ以テ數百町ニ亘リ統一のニ整理セラレタルモノ少ク其ノ必要痛感セラル、地方ニ於テモ何等基本調査的ニヨル分割施行ニ依ラスシテ獨自ノ計畫設計ニヨリ施行シ得ル地方ハ個々別々ニ整理セラレ山間部地方ハ之ヲ別トスルモ平坦部ニ於テハ最早根本的農業水利改良ノ實施ニ俟タサレハ其ノ施行容易ナラサル地方ノミ殘存セル狀況ナリ故ニ現在ニ於テハ小規模ノ耕地整理ヲ希望スルモノ續出シ特ニ近年ノ旱魃ヲ痛感シ小溜池地下水利用ニヨル用水補給ヲ目的トスルモノ多キヲ加ヘツ、アリ依ツテ將來全縣下ニ亘リ水利ノ根本的改良實施ト相俟テ本事業ノ亦隆盛ヲ來スハ論ヲ俟タサル可シ

二、耕地擴張事業

耕地擴張事業ハ開墾助成法發布以來頓ニ事業發展シ施行面積二千八百町歩ニ達セリ而モ本縣下開墾豫定地ハ開田見込地一萬三千町歩、内干拓七千町歩、開墾、地目變換六千町歩、開畑見込地一萬七千町歩、計三萬町歩ヲ有シ將來大ニ發展ノ餘裕ヲ存セリ由來本縣ノ田畑面積ハ相半ハシ開畑見込地多キ山間部ハ現在ニ於テ殆ト畑地過剩ノ狀況ニアルヲ以テ是種ノ事業ヲ企畫スルモノ從來殆ト無ク尙普通畑作ヲ以テシテハ到底農家經濟樹立セサルノ現狀ナルヲ以テ畑地利用ノ獎勵ニ努メ生産價値

多キ特種作物ノ栽培ヲ目的トシテ之カ開發ニ努メナハ將來大ニ企畫セラル、ニ充分ナル可能性アリト思ハル

近時は種ノ事業出願稍々多キヲ加ヘツ、アルハ機運ノ醸成セラレツ、アルヲ知り得可シ

次ニ開田事業ハ開墾干拓共ニ現下甚タ不振ニシテ勿論其ノ原因農村ノ不況、米藪價ノ下落、金融逼迫等ニ依ルモノナシトセスモ其ノ障害トナル點ハ主トシテ次ノ二項目トス

イ、開墾、地目變換ニアリテハ水利問題ニ牽制セラル、コト

即チ本縣ハ水利關係極メテ複雑ニシテ水利權者ノ多キ事他府縣ニ比類ナク紛争年ト共ニ甚シク一地區ノ事業ヲ企畫セムトスルヤ何等理由ナクシテ四隣雷同之カ阻止ニ專念シ爲ニ折角ノ有利事業モ是カ達成ニハ幾多ノ困難ト長年月ノ時日ヲ要スルヲ以テ其ノ繁ニ耐エ得ス斷念又ハ中止スル狀況ナリ故ニ是亦農業水利ノ根本的改良ニ依リ水利系統ノ確立ヲナシ水利問題ノ緩和セラル、ニ於テハ見込面積ノ大部分ハ易々トシテ開發セラル、モノト信ス

ロ、干拓ニアリテハ築造費多額ニ上リ舊干拓地ニ於ケル既往再三ノ潮害ニヨリ企業價值ニ疑惑ヲ抱カシムルコト

本縣ノ海岸ハ有明、不知火兩海ニ面シテ干満ノ差實ニ十五六尺ニ及ヒ異常ナル天恩ヲ有シ古來干拓事業盛ニ施行セラレ海岸平坦部ハ殆ト干拓地ナリト云ヒ得ルモ之ヲ擁護スル海岸堤防ノ構造貧弱ナリシヲ以テ築造以來再三ノ缺潰ヲ見サルモノナリ爲ニ其ノ復舊每ニ徒ニ堤防ノ高サヲ増シ工法モ亦堅牢ヲ事トセシ爲築造費殆ト在來ノ美田ヲ購フヨリ更ニ高價ナル奇現象ヲ呈スルニ到レリ

依リテ新ニ之カ施行ヲ企畫センカ事業費多額ニ上リ到底採算償ハサルヲ以テ危險事業トシテ當分
之カ計畫ヲナスモノ無カル可シ

然レトモ將來金融狀況好調ニ向ヒ比較的安易ナル堤防ニテ良ク最高潮時ノ暴風雨等ニ耐エ得セシムル何等カノ方法考究セラル、ニ於テハ縣内外ヨリ希望者亦漸増スル様認メラル

三、用排水幹線改良事業

本縣下ノ農業水利ノ根幹ハ主トシテ菊池川、白川、綠川、球磨川ノ四大水系ニ屬スルモノニシテ平坦部全般ニ亘リ之カ改良ヲ必要トセサルモノハナシ故ニ農業水利ノ現狀ヲ調査シ根本的改良計畫ヲ樹立シ農業水利ノ基礎ヲ確固タラシムルハ最モ現下ノ急務ナリト信ス依リテ縣ニ於テハ昭和三年度ヨリ新ニ之カ調査ノ豫算ヲ年々計上シ用排水幹線改良事業ノ施行ヲ計畫シ既ニ其ノ調査ヲ完了セシモノ五地區是ノ面積五千町歩主務省調査ニ助成完了セシモノ二地區是ノ面積七千九百町歩ニ達セリ而モ尙目下繼續調査中ニシテ數年後ニ於テハ全部ノ調査ヲ完結セシムル見込ナリ然シテ調査ノミニ止マラス是カ實施ヘ亦本縣ノ緊急事項ナルヲ以テ第一着手トシテ昭和三年度ヨリ坪井川、井芹川排水改良事業ヲ計畫シ已ニ各省關係ノ認可許可等ノ完結ヲ遂ケ事業開始中ニシテ尙昭和五年度ヨリハ白川下流掛用水幹線改良、流藻川排水幹線改良ノ二事業ノ實施ヲ見農林省ノ補助指令ニ接シ内務大藏兩省關係ノ認可事項到達ヲ俟チ直ニ之カ工事ニ着手セムトスル狀況ナリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 之ヲ要スルニ本縣ニ於ケル耕地擴張改良事業ノ促進ハ一ニ農業水利ノ根本的改良ニ俟タサル可カラサル狀勢ニアルヲ以テ從來ノ調査費ヲ繼續計上シ急速ニ徹底的調査ヲ終了

シ以テ縣營事業トシテ其ノ實施ヲ計ラムトスル方針ニシテ之カ完結ノ曉ハ耕地改良並擴張ノ機運ヲ醸成シ引テハ水利關係ノ緩和ヲ圖ル等其ノ益スル所甚大ナリト信ス目下實施ニ着手中ノ三用排水幹線改良事業ト既ニ調査完了セシ八代下益城ニ亘ル四千餘町歩ノ用水補給ヲ目的トスル球磨川引水事業、玉名郡平坦地一千町歩ノ用悪水路改善ヲ目的トスル境川用排水幹線改良事業ノ完成ニヨリテ海岸部平坦地ノ大部分ハ其ノ目的ヲ達スルヲ以テ漸次是ヲ山間部集團豫定地ニ及シ從來ノ指導獎勵施設ノ徹底ヲ圖リ斯業ノ堅實ナル發達ヲ期シ尙縣經濟ノ許ス範圍ニ於テ將來本事業ニ關スル各種調査機關ヲ設置シ斯業ノ普及發達ヲ期セムトスル希望ヲ有セリ

宮崎縣

現況

一、耕地整理事業

本縣ニ於テ明治三十五年ヨリ昭和六年四月末日迄ニ認可シタル耕地整理事業ノ進捗狀況左ノ如シ

事業進捗ノ狀況	地區數	整理前面積	整理後面積	整理費用
組合設立及施行認可	六八七	二二、二八一町	一、一八、六二七町	一一、一一八、六二七町
工事完了	三三三	一一、〇四三	一三、八四七	一、八八四、〇二八
換地處分認可	二八七	九、七二二	一〇、〇八六	一、一四八、九〇八
事業完了	一二四	四、〇六八	四、三八三	九〇八、九一〇

二、開墾助成事業

大正八年以降本年四月末日迄開墾助成ヲ出願シ指令ヲ得タルモノ左ノ如シ

種目	地區數	面積	事業費總豫算額	助成金交付見込金額	同上交付済金額
開田	九四	三、一五〇、〇四町	五、二七、一六、三〇〇	一、九四、八六、八七〇	一、〇六、三三、五九〇
開畑	二九	六、七〇、三二町	三、六、四、元、八〇	一、三、七、三、八〇	四、四、八、〇〇
荒地復舊	二九	六、三、八、四、〇〇	八、〇、三、三、六〇	二、四、八、九、〇、二〇	一、五、九、九、五、五〇
灌漑工事	一〇	一、	三、〇〇、六、八、二〇〇	六、七、六、六、八、〇〇	六、四、三、四、七、四〇
計	一六二	四、五、五、一、七、四	六、六、八、四、五、一、九〇	二、二、四、七、八、六、六〇	一、二、三、二、九、八、八、〇〇

助成出願中ニシテ未指令ノモノ左ノ如シ

種目	地區數	面積	事業費豫算額	助成金交付見込額
開田	一三	四、七、九、三、三、一〇	一、〇、七、六、四、九、〇、七、三〇	四、四、九、四、九、九、二、七〇
開畑	一九	一、八、四、九、七、二、八	一、八、七、六、八、四、三、七〇	七、一、八、一、二、七、五〇
計	三二	六、六、四、三、一〇、八	一、二、六、四、一、七、五、一、〇〇	五、二、一、三、一、二、〇、二〇

三、用排水幹線改良事業

昭和三年度ヨリ事業ヲ開始セル岩熊井堰用水改良事業第一期工事ハ既ニ用水取入口ノ改修ヲ終ヘ

七、失業救済事業

失業救済農山漁村臨時對策ノ一トシテ耕地事業ニ對シ政府ヨリ低利資金供給ノ計畫發表セラル、ヤ本縣内ニ於テ資金借入ノ申込金額百五十餘萬圓ニ及ヒタルカ之ニ對シ三十八萬六千圓ノ配當アリタルヲ以テ縣内一市五十七箇町村ニ於ケル百四十地區其ノ面積二千六百六十七町步所要經費百十五萬九千圓ノ事業ニ對シ左ノ如ク割當タリ

種別	地區數	面積	所要經費	資金供給額
小開墾	三五	一六九町	二二二、〇〇〇	七一、〇〇〇
水害復舊	二二	三八四	九〇、〇〇〇	五三、〇〇〇
小設備改良新設	一二	二七五	四四、〇〇〇	一四、〇〇〇
暗渠排水	四	二一	一五、〇〇〇	一二、〇〇〇
小用排水改良事業	一九	八〇〇	一五六、〇〇〇	五〇、〇〇〇
普通耕地整理	四八	九一八	六四二、〇〇〇	一八六、〇〇〇
計	一四〇	二、六六七	一、一五九、〇〇〇	三八六、〇〇〇

右ノ内縣及町村經由ノ轉貸資金二十萬圓ニ對シテハ縣ハ既ニ起債認可ヲ受ケ更ニ町村ノ起債ヲ認可シタルモノ二十一ニ及ヒ本月中ニハ殘餘ノ各町村ヲ認可シ七月中ニハ貸付ヲ了スル見込ナリ
農工及勸業銀行經由ノ十八萬六千圓モ之ヲ配當スヘキ組合ハ既ニ設立セラレ目下起債ノ手續中ナル

ヲ以テ六月上旬マテニハ關係銀行ニ協議ヲ了スル見込ナリ

趨勢 耕地擴張事業ハ農村不況ノ時期ニ係ラス開墾助成法ノ改正ニ促サレ起業スルモノ最較的多ク特ニ小規模ニシテ工費ノ少額ナル畑地開墾ノ如キ著シク増加セルヲ見ルト雖トモ開墾助成指令ノ遲延スル爲折角計畫セラレタル事業モ工事着手ニ至ラスシテ消滅セントスル傾向アリ小開墾又ハ二、三急ヲ要スル開墾事業ハ失業救済事業トシテ着工スルニ至リタルモ規模稍々大ナルモノハ開墾助成ノ恩典ニ浴セサレハ經營困難ナルヘキヲ以テ助成指令ヲ待ツコト切ナルモノアリ大規模開墾事業ハ財界不況ノ今日資金調達困難ナルカ爲國營施行ノ實現ヲ切望シツ、アリ
耕地改良事業ハ灌溉排水並道路組織ノ改善整備ニ重キヲ置キ區劃整理ヲ主トスルモノハ漸次其ノ數ヲ減シツツアリ用排水幹線改良事業ハ之ヲ希望スルモノ頗ル多ク既ニ數個所ノ豫定地アリ其ノ他之カ必要ヲ認ムル個所少ナカラアルモ何レモ五百町步以下ニシテ國庫補助ノ恩典ニ浴スル能ハサルヲ以テ其ノ改善ノ要ヲ認メナカラ實現ノ運ニ至ラサルモノ多シ
開墾地移住ハ縣外ヨリ移住スル者益々増加スルモ農村不況ノ爲カ資力アル者尠ナク土地購入出來アル爲小作農タルニ甘シ住家ノ如キモ不取敢堀立小屋ニテ満足スル者多シ開墾地ニ於ケル自作農創設資金ノ特別配當ノ必要ヲ痛感セラル

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣ニ於ケル指導獎勵ノ方針左ノ如シ

一、調査設計及工事監督ハ從來ト同様能フ限り之ヲ助成シ當業者ノ便ヲ圖ラントス尙本年度ヨリ特ニ水利調査ヲ開始シ農林省ト連絡ヲトリ耕地擴張並改良見込地ヲ調査シ基本計畫ヲ樹立シ事業獎勵

- ノ指針トシ以テ當業者ヲ指導セントス
- 二、組合ノ會計其ノ他ノ事務ノ監督指導ハ嚴密周到ニ之ヲ施行シ當業者ヲシテ誤ナカラシメンコトヲ期シ事務ノ助成ハ專ラ本縣耕地協會ヲシテ之ニ當ラシメ其進捗ヲ圖ラントス
 - 三、開墾整地用機械器具ハ農林省貸與品ノ外ニ縣ニ於テ牽曳機並附屬農具輕便軌條及車輪等ヲ購入完備シ本縣耕地協會ヲ經由シテ之ヲ當業者ニ貸與シ其ノ利便ヲ圖ラントス
 - 四、工事施行後ノ土地ノ利用經營並水利ノ使用管理ニ就テハ縣農事試驗場農會及產業關係各課ト連絡ヲトリ試驗地又ハ模範地ヲ設ケテ農業經營ノ合理化ヲ圖リ移住家屋並共同建造物ニ對スル獎勵金ノ交付ハ其ノ數ヲ増シ低利資金ノ特別配當ヲ仰キテ自作農創設ニ努メントス

鹿兒島縣

- 一、本縣ニ於ケル耕地改良事業ハ耕地整理法實施以來四月末迄其ノ認可ヲ受ケタルモノ左ノ如シ
- | | | | |
|-----------|---------|-----|-----|
| 事業開設以來認可済 | 三七、三二〇町 | 地區數 | 九四一 |
| 工事完了 | 一七、〇五〇町 | 地區數 | 七三四 |
| 換地處分済 | 一七、三四〇町 | 地區數 | 六九八 |
| 地價配賦済 | 一六、三七〇町 | 地區數 | 六七〇 |
| 登記済 | 一六、二五〇町 | 地區數 | 六五九 |
| 事業完了 | 一一、三二〇町 | 地區數 | 四五四 |
- 備考 工事完了面積ヨリ換地處分面積多キハ換地處分ハ確定面積ヲ計記セシニヨル

大正八年開墾助成法發布以來其ノ承認ヲ受ケタルモノ及出願中ノモノ左ノ如シ

認可ヲ受ケタルモノ	四、三五〇町	地區數	六六
出願中ノモノ	四五五町	地區數	一四

縣營事業

- 一、事業施行中ノモノ
 - 牛根村二川開墾事業 一一町八反 助成年限 自昭和二年度至昭和五年度
 - 但シ二川開墾事業ハ九分通竣成中昭和四年七月一日ノ大洪水ノ爲河川堤塘破損シ地區内六町ヲ除ク外全部土砂堆積シ或ハ耕土流失シ目下之カ復舊考究中ナリ
- 二、事業トシテ工事完了ノモノ
 - 東園分村荒地復舊事業 四九町九反 助成年限 自大正十四年度至昭和四年度
 - 小新田荒地復舊事業 六〇町八反 助成年限 自大正十二年度至昭和五年度
 - 谷山町和田干拓事業 〇〇町〇反 助成年限 自大正十二年度至昭和五年度
 - 米ノ津町埋立事業 三二町四反 助成年限 自大正十二年度至昭和四年度
 - 今後耕地整理法ニ依リ整理ヲ要スルモノ左ノ如シ
 - 一、古田改良見込地 二四、七五〇町

内譯

- イ、用水不足地 九、〇〇〇町
- ロ、平時排水不良地 六、二〇〇町

- ハ、一時排水不良地 二、八〇〇町
- ニ、普通整理地 四、〇〇〇町
- ホ、土管排水ニ仕換 二、七五〇町
- 二、開墾及地目變換見込地 一九、〇〇〇町

内 譯

- イ、埋立干拓 九〇〇町
- ロ、開墾地目變換 一八、一〇〇町
- 三、畑地整理見込地 三九、八〇〇町
- 四、用排水幹線改良見込地 三、四〇〇町

伊佐郡湯之尾堰外五箇所

從來ハ主トシテ土地改良事業多カリシカ米價ノ低落竝一般財界不況ト一面事業ニ對スル補助ノ施設薄キ爲一般ニ事業ノ利益顯著ナルハ認メ居ルモ是等ノ事情ニヨリ近年事業ノ進捗幾分遅々タルノ感アリ然レトモ開墾事業ハ改正助成法四割助成ニ刺戟サレ事業ハ逐次勃興スルノ傾向アリ其ノ他近年水害ニ加フルニ水害ヲ受ケ溜池ノ復舊又ハ増設、揚水機ノ設置、災害救濟事業等續出セルヲ以テ普通補助以外特別ニ夫々災害補助ヲナシ尙水利組合給水組合等ノ活動ヲ促スハ勿論昭和三年度ヨリ特ニ水利調査費ヲ設ケ縣下河川中急施ヲ要スルモノヨリ選定シ各水系毎ニ調査項目ニヨリ調査ヲナシ本年度ハ經費減少セルモ相當繼續調査中ナリ

沖繩縣

現況並趨勢

一、耕地擴張事業

本縣ニ於ケル開墾適地ハ大正七年末調査ニ依リ現今農營上有利ト認ムヘキ面積ハ田トナルモノ七千十町歩畑トナルモノ二萬二千三百四十二町歩合計二萬九千三百五十二町歩ニシテ土地總面積ノ一割二分強ヲ占メ將來開拓ノ曉ハ現在耕地利用面積約六萬町歩ニ對比シ四割九分強ヲ擴張シ得ル見込ニシテ尙將來開墾シ得ヘキ見込地九千五百五十町歩餘アリ

古來甘藷、甘蔗ヲ主要農作物ト爲シ畑地利用ニ重キヲ置キタル結果全耕地ノ八割九分ハ畑地ナル現況ニシテ開墾事業モ亦開畑ヲ目的トスルモノ多ク從來小團地ノ開墾ハ地租條例ニ依リ施行セラレ今ヤ殆ント餘地ナキニ至リシモ本島山間部及各離島ニ於ケル集團地ハ開墾助成法實施以來逐年事業勃興シ大正十年縣令開墾地移住獎勵規程ノ公布後ハ移殖民ニ據リ開墾企業ヲ容易ナラシムル爲昭和五年度迄ニ移住家屋百十三戸ヲ建築シタルヲ以テ一層順調ノ發達ヲ見ツ、アリ左ニ現在出願並成功面積ヲ掲グヘシ

開墾助成事業狀況調（昭和六年三月末現在）

地區數	出願狀況			地區數	成功狀況		
	開田	開畑	計		開田	開畑	計
三四	六七町	二、五九四町	二、六六一町	三一	三〇町	二、〇七三町	二、一〇三町

然ルニ明治三十六年本縣ニ地租條例ヲ施行セラル、迄ハ農民一般ニ土地ヲ私有セス且ツ耕作ノ自由ナキ制度ノ缺陷ニ依リ自ラ掠奪農業ニ傾キ自給自足ニ甘シタルヲ以テ耕地ノ擴張ヲ阻碍セラレタルモ爾來時代ノ推移ニ伴ヒ開墾ヲ行フ者漸ク多キヲ加フルニ至リ各離島ニ大部分ヲ占ムル林野ノ開墾ト沖繩本島ニ介任セル公有水面ノ干拓事業ハ最モ有望ニシテ就中先島群島ニハ廣袤二萬町步餘ノ沃野連リ南島ノ寶庫ト稱セラル、モ往時「マラリヤ」病ノ爲移住困難ノ地アリシカ排水工事ヲ施行シ且ツ縣衛生事業トシ防遏ニ専念シタル結果撲滅シ得タル事例ニ乏シカラサルヲ以テ企業著シク増加シ公有地ノ開放ト相俟テ本地方開發ノ曙光ヲ見ルニ至リシモ人口稀薄ニシテ資金乏シク加フルニ近時一般經濟界不況ノ爲沈滯ヲ來シタルハ最モ遺憾ナリトシ將來該地方ニ於ケル積極的開發ハ大規模開墾事業トシテ拓殖實現ヲ熱望スルノ聲日ニ喧シキ趨勢ニ在リ目今概シテ事業不振ノ狀勢ニアルモ本年度ニ於ケル開墾助成事業及移住家屋建築出願見込左ノ如シ

開墾助成事業並移住家屋建築出願見込調 (昭和六年度)

地區數	開墾助成出願見込			移住家屋建築見込戸數
	開田	開畑	計	
八	一町	二八四町	二八四町	四〇戸

二、耕地改良事業

(一) 耕地整理事業

本縣ノ耕地面積ハ昭和四年九月農業調査ノ結果田六千三百七十五町步畑五萬三千五百二十一町步合計五萬九千八百九十六町步ニシテ土地總面積ノ二割五分ヲ利用シ土地臺帳面積ニ比シ四千九百六十八町步ヲ減シタリ
由來本縣ハ海内屈指ノ多雨地ニシテ夏秋ノ候ヲ除キ降雨ノ分布佳良ナルモ山川ニ乏シク後年水源涵養ヲ怠タリシ結果水田ニ於テハ常時災害ヲ受クル危險性段別二千七百餘町步ヲ算シ畑ハ隨所ニ早害ヲ蒙ル等累年早水害ノ爲農村現時ノ疲弊ヲ招來シ前記土地制度ノ缺陷ト共ニ耕地改良事業不振ノ主因ヲ成セリ
然ルニ縣ハ曩ニ耕地整理獎勵規程及同補助規程ヲ公布シ大正五年耕地改良事業創始以來之カ勸奨ニ努メタルニ其ノ間隆退アリト雖縣民自覺ト特別補助施設ニ依リ近年改良事業著シク進展シ左ノ成績及事業施行豫定ヲ見ルニ至レリ

耕地整理事業施行狀況調(昭和六年三月末現在)

認可	面積		事業費	地區數	面積		地區數	面積	地區數
	地區數	面積			地區數	面積			
六八	三、八三四町	一、九五二、三二〇町	二四	四八一町	一五	三五七町	七	一三三町	

耕地整理事業施行豫定(昭和六年度)

種別	地區數	施行豫定面積	備考
調査設計	九	六一六町	灌溉排水事業及災害耕地復舊事業ニ關スル施行面積ヲ含マス(以下同シ)
工事監督	九	三二六	
事務指導	一五	四三八	

(二) 灌溉排水事業

本縣唯一ノ換金農産物タル産糖ノ消長ハ財政經濟ニ直接至大ノ影響ヲ及シ之カ增收ヲ企圖スルハ農村振興上緊喫ノ要務ナルニ鑑ミ昭和三年度ヨリ特ニ糖業改良ノ目的ヲ以テ多額ノ國庫補助金ヲ交付セラルルニ至リ昭和三年十月該補助規程ヲ公布シ耕地整理法ニ基キ灌溉排水事業ヲ勸奨シタルニ斯業ノ有利ナルヲ認識セラレタル結果各地ヨリ申請續出シ目下事業施行申請中ニ屬スルモノ二十三地區其ノ面積約一萬町歩ヲ算スル盛況ニシテ現在事業施行狀況及昭和六年度事業施行豫定

ハ左ニ掲クルカ如シ

灌溉排水事業施行狀況調(昭和六年三月末現在)

認可済ニシテ工事中ノモノ		同上ノ内工事ヲ終了シタルモノ		認可申請準備中ノモノ	
地區數	灌溉排水豫定面積	地區數	灌溉排水面積	地區數	灌溉排水豫定面積
一二	一、〇二八町	一二	八二〇町	二	三一一町
	四八〇、五七六町				

灌溉排水事業施行豫定(昭和六年度)

種別	地區數	施行豫定面積	種別	地區數	施行豫定面積
六	三	四一〇町	九	一五	二三〇町
		一八二			八一〇

(三) 災害耕地復舊事業

昭和五年七月二回ニ亘リ襲來セル颱風ハ風速四十一米突ニ達シ縣下各地ニ未曾有ノ慘害ヲ現出セシメ沖繩本島海岸一帶ノ潮害防備林延長約二十五里ヲ崩壞シ耕地ノ流失埋没及潮水浸入ニ因リ荒廢ニ歸シタルモノノ内被害激甚ヲ極メタル耕地面積千餘町歩之ニ關連スル防潮保安林ヲ控除シタル防潮堤三千百間餘ノ復舊費六十萬五千圓餘ヲ要スル見込ニシテ罹災民ノ經濟生活ニ一大脅威ヲ招來シ本縣財政經濟ヲ以テ自力ニ依ル匡救ハ負擔過重ナルニ顧ミ特別國庫補助金ノ交付ヲ仰キ

二十箇町村ニ亘リ昭和五年度ヨリ五箇年ニ完成シ連年ノ風潮害ヲ芥除セムトス
昭和五年度ニ於テハ四組合總面積三百七十餘町歩ノ設立ヲ見耕地百三十餘町歩ノ復舊工事ヲ終了
セリ

這般ノ災害ハ其ノ程度深刻ナルニ鑑ミ之カ復舊ハ古來風旱害相踵キ疲弊困憊セル本縣救済上極メ
テ重大性ヲ帶ヒ縣民齊シク復舊ノ一日モ早カラムコトヲ切望シ官民一致銳意之カ完成ニ努メツツ
アリ

將來ニ對スル指導獎勵方針

本條耕地ノ擴張改良事業ハ近年著シク隆盛ニ赴キタルモ更ニ幾多ノ天惠

ヲ利導シ圓滿ナル發達ヲ助長促進スルトキハ萎微衰頹セル本縣農業ヲ振興シ救済ノ實績ヲ齎ス所多キ
ヲ以テ之カ根本方策ハ近ク産業調査會ノ設置ト共ニ將來ノ方針及施設方法ヲ確定セラルヘキモ將來ニ
對スル指導獎勵ハ從來執リツツアル方針ヲ踏襲スルハ勿論進ムテ大要左ノ方針ニ據ラムトス

一、耕地擴張事業ニシテ大規模開墾ハ國縣營又ハ有力者ノ投資ニ俟ツヘク集團未墾地ノ基本調査計畫
ヲ速成シ國有又ハ公有土地ヲ拂下ケ開墾地經營ニ必要ナル移殖民ノ誘致斡旋及經營法ノ指導誘掖ニ
努メ事業資金ノ供給ト特別補助金ノ交付ヲ計リ事業遂行上遺憾ナカメラシムトス

二、耕地改良事業中最モ急施ヲ要スルハ灌溉排水設備ト風潮害防備施設ニシテ之カ普及促進ヲ計ラム
カ爲工事及財務ノ計畫ヲ確立セシメ夫役現品ヲ賦課シ得サル費用ニ對シテハ低利資金ノ融通ト特別
補助金ヲ交付シ以テ事業ノ完成ヲ計リ尙工事終了後ノ經營並管理方法ニ關シテハ充分ナル指導ヲ爲
シ豫期ノ成果ヲ收メシメムトス

三、耕地擴張改良事業ノ圓滿ナル發達ヲ圖リ事務ノ正確敏速ヲ期スル爲民間團體ノ耕地協會ヲ設立セ
シメムトス

本省提出協議事項

第一 改正耕地整理法ノ運用ニ關スル事項

改正耕地整理法ニ關スル説明並運用上ノ注意ヲ爲シ之カ質疑應答アリタリ改正ノ要點左ノ如シ

整理施行地ノ賃貸價格ハ大體左ノ趣旨ニ依リ之ヲ定ムルコト(昭和五年一月十八日地租委員會ニ於テ決定)

甲 將來ノ整理施行地ニ關スルモノ(地租法施行迄ニ地價配賦ヲ終ラサルモノヲ含ム)

一 整理施行前ノ地區土地ノ賃貸價格總額ヲ整理後ノ土地每筆相當ニ配賦スルコト(現行法第十

三條第一項ノ趣旨ニ同シ)

二 毎期ノ改訂期ニ於テハ一般的ニ調査シタル賃貸價格ヨリ耕地整理ニ因リ生シタル利益ニ相當
スル額ヲ減シタルモノヲ以テ改訂賃貸價格トスルコト

一般的賃貸價格ノ調査ハ賃貸價格配賦前ノ土ニ付テハ原地ノ狀況ニ依リ賃貸價格配賦濟ノ土
地ニ付テハ整理施行地ヲ以テ獨立ノ調査區域ヲ定メ之ヲ行フコト

乙 大正十五年四月一日以後地租法施行前ニ地價配賦ヲ終リタル整理施行地ニ關スルモノ

本省提出協議事項

一 大正十五年四月一日現在調査ニ係ル貸賃價格(整理施行前ノ現況ニ於ケルモノ)ヲ甲第一號ニ準シテ配賦スルコト

二 毎期ノ改訂期ニ於テハ甲第二號ニ準スルコト

丙 大正十五年四月一日前ニ地價配賦ヲ終リタル整理施行地ニ關スルモノ

一 道府縣内相當地域毎ニ未整理地ノ地目別ノ地價總額ヲ以テ貸賃價格總額ヲ除シタル比率ヲ毎筆ノ地價ニ乗シタル額ヲ以テ其ノ貸賃トスルコト但シ大正十五年四月一日現在調査ノ貸賃價格カ右ノ貸賃價格ヨリ少キトキハ前者ニ依ルコト

二 毎期ノ改訂期ニ於テハ大正十五年四月一日現在調査ノ貸賃價格總額ヲ以テ前項ノ貸賃價格總額ヲ除シタル比率ヲ一般的ニ調査シタル毎筆ノ貸賃價格ニ乗シタル額ヲ以テ改訂貸賃價格トスルコト

丁 宅地ニ關スル事項

一 將來ノ整理施行地區内ノ宅地ニ關シテハ左ノ趣旨ニ依ルコト(地租法施行迄ニ認可シタルモノヲ含マス)

市ノ區域及農林大臣ノ指定スル地域内ノ土地ハ整理施行地區ニ編入セシメサルコト但シ農林大臣ノ認可ヲ得タル部分ハ此ノ限ニ在ラサルコト

二 大正十五年四月一日迄ニ地價配賦ヲ終リタル整理施行地區内ノ宅地ニシテ市ノ區域及命令ノ定ムル市附近ノ地域内ニ存スルモノニ對シテハ耕地整理ニ依ル貸賃價格ノ控除ヲ適用セサルコト

ト但シ市ノ區域内ニ於テモ控除スヘキ地域ヲ命令ヲ以テ指定スルコトヲ得ルコト(其ノ區域ニ付テハ大藏、農林兩省協議スルモノトス)

三 地租法施行迄ニ認可ヲ得タル整理施行地區ニシテ大正十五年四月一日迄ニ地價配賦ヲ終ラサルモノノ宅地ニ關シテハ貸賃價格配賦後ノ改訂期ニ於テ前號ニ準スルコト

戊 整理施行地ノ地租ニ關スル特例ハ工事着手ノ年及其ノ翌年ヨリ七十年ノ年期トシテ之ヲ認ムルコト(特ニ年期ノ定メアルモノハ此ノ限ニ在ラサルコト)

己 前各項以外ノ事項ハ大體現行法ノ趣旨ニ依ルコト

尙今期議會ニ於テ事業者多年ノ要望ナリシ耕地整理組合費ヲ組合長ニ於テ強制徴收シ得ルノ改正法ヲ可決シタルヲ以テ遠カラス發布セラルヘシ

第二 耕地整理事業資金ニ關スル事項

現下耕地整理事業資金ノ償還ニ困難ヲ來セルモノ尠カラサル處大體左記ノ方法ニヨリ之カ緩和ヲ講スルコトトナレルヲ以テ其ノ實施ニ當リテハ十分ナル指導監督ヲ行ヒ今後ノ償還ニ支障ヲ來ササル様十分督勵セラレタキコトヲ注意セリ當日ハ特ニ大藏省預金部監理課長ノ出席アリテ其ノ説明竝質疑應答アリタリ

(一) 農產物價格ノ下落ノ爲特ニ負擔過重ト認メラルルモノニ付テハ其ノ一箇年分ノ年賦償還金中ノ利子分丈ヲ支拂ハシメ其ノ元金分ハ別ニ預金部資金ヲ貸付ケ(二十箇年以内ノ年賦償還トシ其ノ利

率ハ四分八厘、銀行經由五分四厘)之ニ依リ年賦金ヲ完納セシムルノ大體方針ニ依ルモノトス但シ償還ノ餘力アルモノハ其ノ貸付ヲ元金分ノ一部ニ止ムルコト

本項ノ取扱ハ差當リ一箇年限リトシ次年度以後ハ必要ニ應ジ詮議スルモノタルコト

(二) 不測ノ障害其ノ他不得止事由ニ依リ經營困難ナル上農産物價格下落ノ爲一層困難ニ陥レルモノニ付テハ三十箇年以内(五箇年以内ノ据置期間ヲ含ム)ノ償還期限ヲ以テ其ノ未償還殘元金ノ借替ヲナサシメ償還年限延長ノ大體方針ニ依ルコト本項借替資金ノ利率ハ年四分八厘(銀行經由五分四厘)トスルコト

本項ニ該當スルモノニ付テハ嚴密ナル審査ヲ行ヒタル上之ヲ實施スル豫定ナルコト

(三) 耕地整理事業資金中預金部資金以外ノ高利債ニ對シテハ特ニ本年度ニ於テハ預金部ヨリ相當多額ノ借替資金ヲ供給セラルル見込ナルコト

第三 開墾助成ニ關スル事項

本事項ニ關シテハ主トシテ指令前工事開始ノ件ニ付慎重ニ協議スル所アリシモ之カ根本解決ハ十分ナル豫算ヲ計上スルニ非ラサレハ困難ナル旨説明アリタリ

第四 其ノ他耕地擴張改良事業ノ獎勵監督ニ關スル事項

本事項ニ關シテハ各般ニ亘リ協議シ地方ヨリノ希望意見等アリタリ其ノ希望ノ重ナルモノハ農業水利

ノ統一ニ關スル件、農道改修ニ關スル國庫補助ノ件、耕地整理財務官等ノ設置ニ關スル件、地方職員ニ關スル件等ニシテ之ニ對シ本省ノ説明等アリタリ

地方提出事項及決議

決議

本項ハ整理委員ニ附託シ審議セシメタル結果ヲ本會議ニ附シ可決シタルモノナリ

協議事項中特ニ要望スル事項

甲 農村不況竝ニ失業對策ニ關スル件

農村振興失業救濟方策多々アリト雖モ現下ノ實情ニ鑑ミ耕地擴張改良事業ノ促進ヲ圖ルヲ以テ最も緊切ナリト認ム仍テ政府ハ豫算緊縮ノ場合ナレトモ特ニ財源ヲ求メ已ヲ得サル場合ハ公債ヲ發行シテモ左記事項ヲ速ニ實施セラフムコトヲ望ム

- 一、開墾助成金ノ豫算ヲ増額セラレ且ツ指令前工事着手ヲ認メラレ度キコト
- 二、大規模開墾事業ヲ國營ニテ施行セラレ度キコト
- 三、用排水幹線改良事業ノ豫算ヲ増額セラレ度キコト

乙 水利統制ニ關スル件

地方提出事項及決議

我邦水利ニ關スル行政監督ハ多岐ニ分レ徒ニ事務ノ煩瑣ヲ來シ事業ノ進捗ヲ妨ケ惹テ經費ヲ徒費シ企業者ノ被ル損失尠カラズ殊ニ最近行政整理事務簡捷ノ唱導セラル、時期ニ際シ最モ不合理ナルモノト認ム仍テ政府ハ速ニ適當ノ調査ヲ遂ケ左記事項ヲ實行セラレムコトヲ望ム

- 一、農業水利法ヲ制定シ農業水利ニ關スル事務ヲ農林省ニ統一スルコト
- 二、河川法中認可、許可事項ニシテ法制上知事限リ處理シ得ラル、モノ、中訓令等ニヨリ内務大臣ノ許可又ハ承認ノ手續ヲ要スル事項及水利組合ノ起債認可ハ其ノ權限ヲ全部地方長官ニ委セラレ度キコト

第一 耕地整理ニ關スル件

- 一、貸賃價格配賦ニ關スル規定ハ稅務當局ト法ノ解釋上見解ヲ異ニスル場合往々生スル事ナレハ各稅務監督局管内一定ノ個處ニ集合監督局員ノ臨席ヲ乞ヒ打合ヲ行ヒ意見ノ一致ヲ計ルコト但シ此場合ハ本省ヨリモ臨席セラレタキコト
(青森縣提出一)
- 二、貸賃價格配賦上ニ就キ時々本省員ノ出張ヲ得テ實務ニ就キ指導監督セラレタキコト
(青森縣提出二)
- 三、明年度ニ於テモ貸賃價格配賦ニ關スル打合會ヲ本省ニ於テ開催セラレタキコト
(青森縣提出三)
- 四、改正法第七十九條ノ運用ハ重大ナル條項ナレハ改正公布ト共ニ同條ノ運用ニ就キ詳細ナル規定ヲ

設ケ指導監督上遺憾ナキ様指導セラレタキコト

(青森縣提出四)

- 五、市街地附近ノ耕地整理ニ關シ法第三條ノ二ノ事項ヲ本省ニ於テ調査シ豫メ判明セシメラレタキコト
(青森縣提出五)

- 六、改正耕地整理法運用ノ主旨ヲ徹底セシムル爲各稅務署ニモ事務ノ統一ヲセラル、様本省ニ於テハ大藏省ト協議セラレタシ
(栃木縣提出)

- 七、農林大臣内訓報告第十一項中特殊工事費五千圓ヲ一萬圓ニ變更セラレタシ
(福井縣提出)

- 八、國有財産法ニ依ル雜種財産ヲ耕地整理法及開墾助成法ニ依リ開拓スル場合ニ於テ埋立ニ等シキ勞費ヲ要スルモノニ在リテハ無償ニテ拂下ヲ爲シ得ル様ニセラレタシ

- 理由 公有水面埋立法ニヨリ埋立ハ同法施行令第十七條ニ依リ土地ノ農業上ノ利用ヲ増進スル目的ヲ以テ爲ス場合ハ免許料ヲ徵セサルノミナラス同法第二十四條ニヨリ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ其ノ竣功認可ノ日ニ於テ埋立地ノ所有權ヲ取得スル規定アリ彼是對比シ有償ヲ以テスルハ不徹底ト認ムルニ由ル
(静岡縣提出)

- 九、稅務監督局及稅務署ニ於テ耕地整理事務專屬ノ官吏ヲ増置スルコトヲ農林省ヨリ大藏省ニ對シ交渉セラレタシ
(奈良縣提出一)

- 一〇、貸賃價格配賦案ノ様式ヲ全國統一スル爲ニ農林省ニ於テ全國ノ様式ヲ調査セラレ之ヲ指示セラレタシ
(奈良縣提出二)

- 一一、耕地整理及土地改良費豫算ニ對スル國庫補助率ヲ増加シ地方ノ設備ノ擴張補助豫算ノ増額ニ努

メラレタシ

(奈良縣提出三)

一二、開墾及耕地整理監督旅費配當額ヲ増額スル外各監督官ヲ増置シ監督ノ徹底ヲ期セラレタシ

(奈良縣提出四)

一三、區裁判所及稅務署ニ耕地整理事務專任者ヲ設置スルコトヲ關係官廳ニ交渉セラレタシ

理由 從來ノ實績ニ徵スルニ地價配賦並登記事務複雜ナル爲動モスレハ事務澁滞ノ傾向アルニ付相當經驗ヲ有スル專任官ヲ配置シテ圓滿ナル事務ノ遂行ヲ期セントスルニアリ

(鳥取縣提出一)

一四、耕地整理及土地改良獎勵規則ニ依ル國庫補助金ハ可成増加シ府縣ノ財政關係ヲ斟酌考慮ノ上交付セラレタシ

理由 該規則ニ依ル補助金ノ交付ニ際シテハ府縣ノ財政ヲ斟酌セラレ財政窮乏ノモノニ對シテハ其ノ補助率ヲ引上ケ以テ斯業獎勵上ノ萬全ヲ期セントスルニアリ (鳥取縣提出二)

一五、改正耕地整理法第七十九條ヲ至急實施セラレタシ

理由 費用徵收ハ經濟不況ノ折柄動モスレハ之ニ藉口シテ延納スルモノアリテ整理困難ノ狀況ニアリ故ニ改正法ノ實施ニヨリ之カ整理ヲ期セントスルニアリ (鳥取縣提出三)

一六、耕地整理及土地改良獎勵費規則ニ依リ道廳府縣ニ對シ交付セラル、國庫補助金ハ其ノ交付額過少ナル様被認ヲ以テ將來相當増加交付スルノ途ヲ講セラレタシ (鳥根縣提出)

一七、耕地整理高級事務員ノ養成ニ付政府ニ於テ適當ナル方法ヲ講セラレタシ

理由 耕地整理事業ノ成績ハ技術ニ關スル所至大ナルハ勿論ナリト雖亦事務ニ關シ成績ヲ左右セラ
ル、コト頗ル多シ特ニ近時大規模ノ事業漸ク起リ之カ經營ハ事務的技術ニ俟ツモノ愈多ク事業ノ
成敗モ之ニ依テ決セラル、場合少カラス然ルニ從來組合ノ經營並事務ハ殆ト全ク其ノ知識ヲ有セ
サル農業營業者ニ任シ府縣ニ於テハ僅ニ規定書類ノ作製方ヲ指導スルニ過キサル觀アリ斯ル狀態
ニ在リテハ組合ハ偶經營難ニ陥リ或ハ内部ノ紛糾ヲ招キ紊亂ヲ致ス等終ニ拾收ノ途ナキニ至ルモ
ノヲ生スヘシ依テ將來事業ノ經營指導ヲ全カラシムルタメ地方廳並民間ニ高級事務員ヲ普及スル
目的ヲ以テ政府ニ於テ專門學校程度ノ耕地整理事務教育施設ヲ置ク要アルニ由ル

(德島縣提出)

一八、耕地整理法第三條ノ二本文ノ指定ハ特別ノ事情ナキ限り都市計畫區域ノ土地ハ原則トシテ之ヲ
指定シ同區域外ノ土地ハ之ヲ指定セサル様取扱ヒ又同條但書ノ指定ハ市ノ區域内ノ土地ハ原則トシ
テ之ヲ指定セス且同法附則第十六條ノ宅地ノ指定區域ト一致セシムル様スルコトノ可否ヲ考究セラ
レタシ (福岡縣提出一)

一九、改正耕地整理法ハ條文複雜多岐ニ涉リ整理施行者ノ申請ヲ要スル事項十數條ヲ有シ整理施行者
ニ於テ周知困難ナルヲ以テ各般ノ耕地整理施行者ノ場合ニ區分シタル實施手續様式ヲ作成頒布セラ
レタシ (福岡縣提出二)

二〇、改正耕地整理法ハ條文複雜多岐ニ涉リ之カ普及徹底ノ爲講習講話ヲ要スルト且改正法ニ基ク諸
般ノ調査指導ヲ必要トスルモ地方財政緊縮ノ結果經費不足シ十分ニ其ノ目的ヲ達シ能ハサルヲ以テ